
瀬戸内市 市民まちづくり意識調査

－ 報告書 －

平成30年8月
岡山県 瀬戸内市

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	3
1. 性別	3
2. 年齢	3
3. 居住年数	5
4. 職業	6
5. 現住所への居住のきっかけ	7
6. 家族構成	8
7. 普段の主な移動手段	11
III 調査結果	13
【1】瀬戸内市のめざす姿に対する実感度と重要度について	13
1. 現在の実感度	13
2. 現在の重要度	19
3. 実感度と重要度の相関図による分析	27
【2】行動や考えについて	33
1. 瀬戸内市への愛着の有無	33
2. 瀬戸内市での永住意向	35
3. 市役所が行うまちづくりの取り組みへの満足感	37
4. 人権が守られていることについて	39
5. 慣習やしきたりにおける男女平等意識	41
6. 「なやみごと相談」窓口認知状況	43
7. 近所の子どもの会ったときのあいさつや声かけについて	45
8. 芸術文化活動状況	47
9. 生涯学習講座などへの参加状況	49
10. 地域に貢献する活動状況	52
11. 運動継続状況	54
12. 子育て情報の有益度について	56
13. 「バリアフリー化」進行状況について	58
14. 日常生活に不自由を感じる事	60
15. 経済的な理由による日常生活の困難さについて	62
16. 計画的な土地利用について	64
17. 道路の快適性について	66
18. 公共交通機関の利用しやすさについて	68
19. インターネットの活用状況	70
20. ごみのリサイクル実践状況	72

21. 省エネの実践状況	74
22. 瀬戸内市の景観への満足度	76
23. 瀬戸内市の川や海がきれいだと思うこと	78
24. 災害時の非常持出品準備状況	80
25. 災害時の避難場所認知状況	82
26. 自身や親の老後について	84
27. 「消費生活」に関する相談窓口認知状況	86
28. 農産物購入時の地元産意識	88
29. 水産物購入時の地元産意識	90
30. 日常生活品の買い物のしやすさについて	92
31. 「広報せとうち」 閲読状況	94
32. 「広報せとうち」の情報の有益度について	96
33. 本市ホームページ閲覧状況	98
34. 本市ホームページの情報の有益度	100
35. 広報紙やホームページにより市の情報を入手すること	102
36. 市政への関心度	104
37. 市の財政改善状況について	106
38. 地域コミュニティ活動参加状況	108
39. ボランティア・NPO活動参加経験	110
40. 市内図書館の利用状況	112
【3】瀬戸内市の暮らしについて	114
1. 瀬戸内市の暮らしに関する評価	114
【4】自由意見	117
資料/調査票	119

I 調査の概要

【調査の目的】

瀬戸内市がめざす将来（2040年）の姿を、市民の皆様が現在どの程度実感し、どのようなまちの姿を重要視しているかについて把握するとともに、第2次瀬戸内市総合計画の数値目標に対する現状値を把握することを目的として実施した。

【調査対象】

18歳以上の市民2,000人

【対象者抽出方法】

住民基本台帳による無作為抽出

【調査方法】

郵送配布、郵送回収

【調査期間】

平成30年（2018年）5月

【回収結果】

配布数 ----- 2,000件

有効回収数 ----- 815件

有効回収率 ----- 40.8%

◆地区別回収結果（上段：回答件数、下段：構成比％）◆

	牛窓地域			長船地域				
	牛窓	鹿忍	長浜	美和	国府	行幸		
815	143	62	47	34	275	30	89	156
100.0	17.5	7.6	5.8	4.2	33.7	3.7	10.9	19.1

邑久地域										無回答
	邑久	福田	今城	豊原	本庄	笠加	玉津	裳掛		
387	117	60	61	43	36	20	16	34	10	
47.5	14.4	7.4	7.5	5.3	4.4	2.5	2.0	4.2	1.2	

※「問4. (3)居住地」の回答結果より

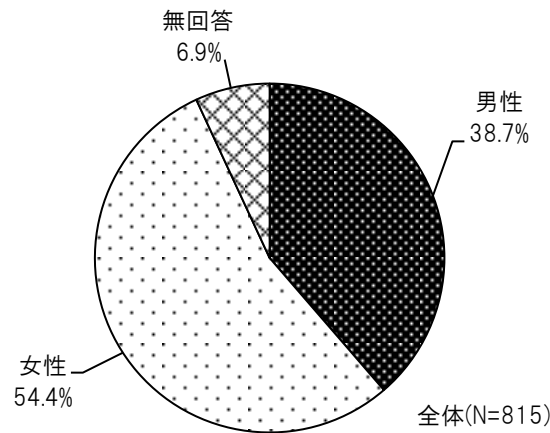
【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。従って、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、該当数を「n」で表記している。
- (4) 図表中における年齢層別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、年齢層別でクロス集計する場合における年齢の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) 図表中、クロス集計の項目軸については、長文を省略している場合がある。
- (7) 設問によっては、平成28年度に実施した同調査(「前回調査」と表記)との比較をおこなっている。
- (8) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載している。

Ⅱ 回答者の属性

1. 性別

性別構成比は、「男性」が38.7%、「女性」が54.4%となっている。

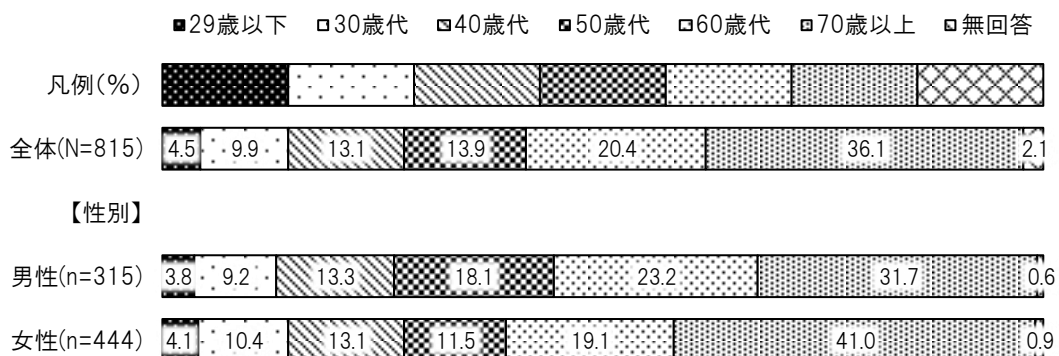


注：調査票では「男」「女」という選択肢表記であるが、本報告書では「男性」「女性」と表記している(以下同様)。

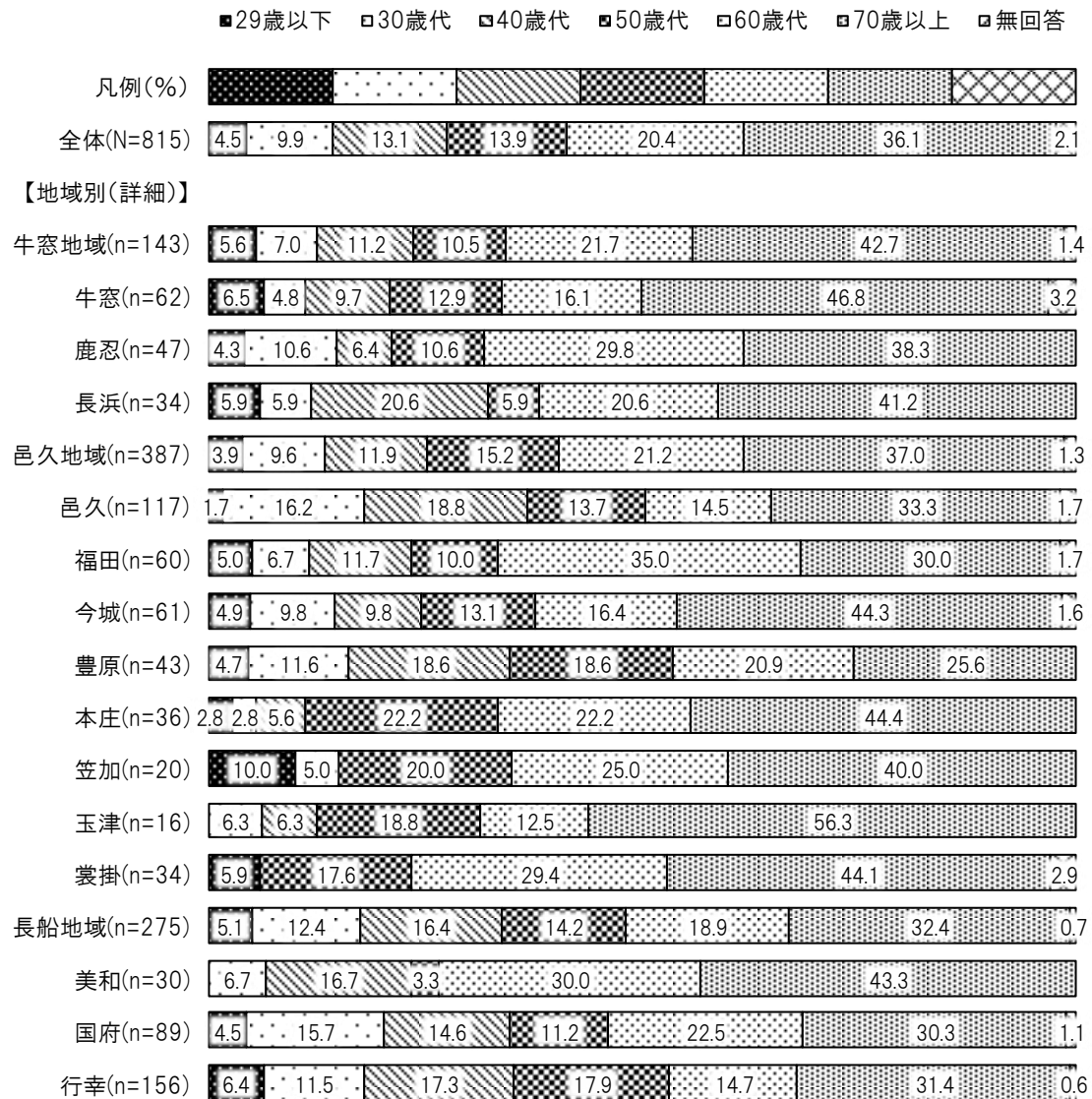
2. 年齢

年齢別構成比は、「70歳以上」が36.1%と最も高く、次いで「60歳代」(20.4%)、「50歳代」(13.9%)の順となっており、「50歳以上(合計)」で全体の約7割(70.4%)を占めている。

性別では、男性は女性に比べ「50歳代」「60歳代」の割合が高く、女性は「70歳以上」の割合が男性を大きく上回っている。



さらに、年齢別構成を地域別でみると、長浜、邑久、豊原、国府、行幸で40歳代以下の占める割合が他の地域に比べて高く、相対的に長船地域で若い年齢層が多くみられる。一方、玉津では「70歳以上」が過半数を占めている。

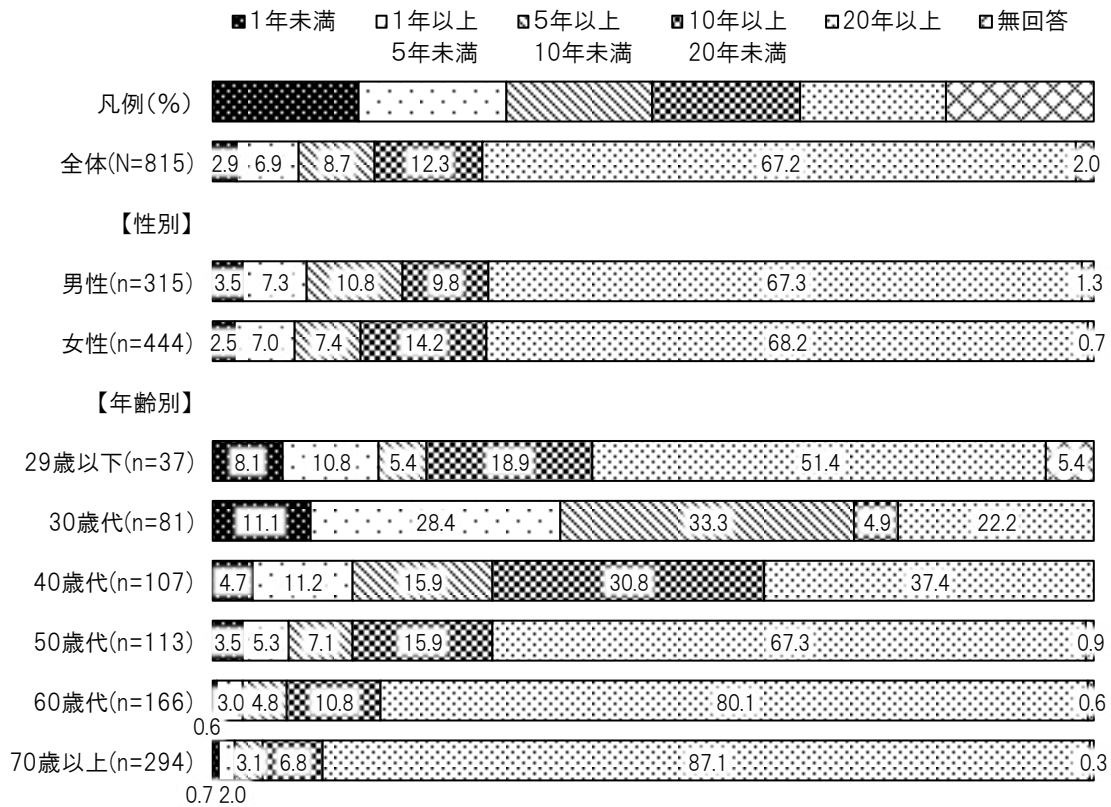


3. 居住年数

居住年数は、「20年以上」が全体の7割近く（67.2%）を占め最も高く、次いで「10年以上20年未満」が12.3%となっている。

性別では、女性は男性に比べ「10年以上20年未満」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「20年以上」、30歳代で「1年以上5年未満」「5年以上10年未満」、40歳代で「10年以上20年未満」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。また、おおむね年齢が上がるほど「20年以上」の割合が増える傾向にある。

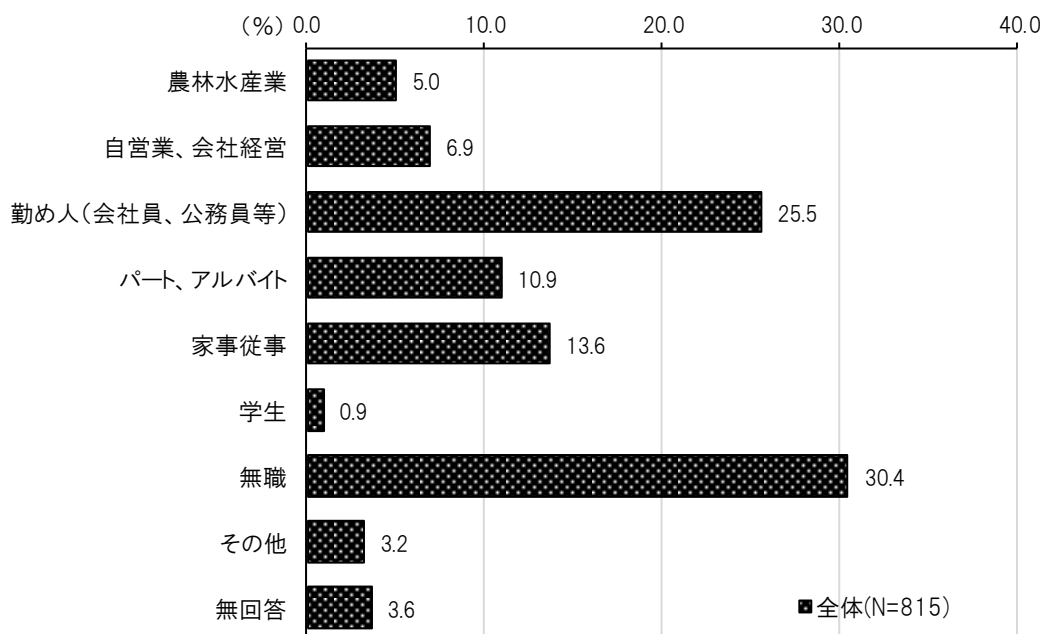


4. 職業

職業は、全体では「無職」が30.4%と最も高く、次いで「勤め人（会社員、公務員等）」（25.5%）、「家事従事」（13.6%）、「パート、アルバイト」（10.9%）の順となっている。

性別では、男性で「自営業、会社経営」「勤め人（会社員、公務員等）」「無職」、女性で「パート、アルバイト」「家事従事」の割合がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「学生」、40～50歳代で「パート、アルバイト」、60歳以上で「無職」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



単位 (%)	農林水産業	自営業、会社経営	勤め人(会社員、公務員等)	パート、アルバイト	家事従事	学生	無職	その他
全体(N=815)	5.0	6.9	25.5	10.9	13.6	0.9	30.4	3.2
【性別】								
男性(n=315)	6.7	10.2	37.5	4.8	0.6	0.6	34.0	3.2
女性(n=444)	4.1	4.7	16.0	15.5	23.6	0.7	29.3	3.4
【年齢別】								
29歳以下(n=37)	2.7	2.7	51.4	13.5	5.4	18.9	2.7	2.7
30歳代(n=81)	0.0	2.5	59.3	13.6	14.8	0.0	7.4	1.2
40歳代(n=107)	0.9	7.5	57.9	20.6	6.5	0.0	1.9	3.7
50歳代(n=113)	0.9	11.5	47.8	20.4	7.1	0.0	6.2	4.4
60歳代(n=166)	6.0	9.6	11.4	12.7	19.3	0.0	36.7	1.8
70歳以上(n=294)	9.2	5.4	1.7	2.0	16.7	0.0	57.1	3.7

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計(性別・年齢別など)において最も高い割合を示している。

(例/性別の場合、男性と女性を比べて高い方に、年齢別の場合、最も割合が高い年齢層に網掛け。)

但し、回答割合が10%未満の項目、n数が10未満の項目、「その他」については、網掛けは省略している。

また「無回答」は表記から省略している(本報告書においては、以下同様)。

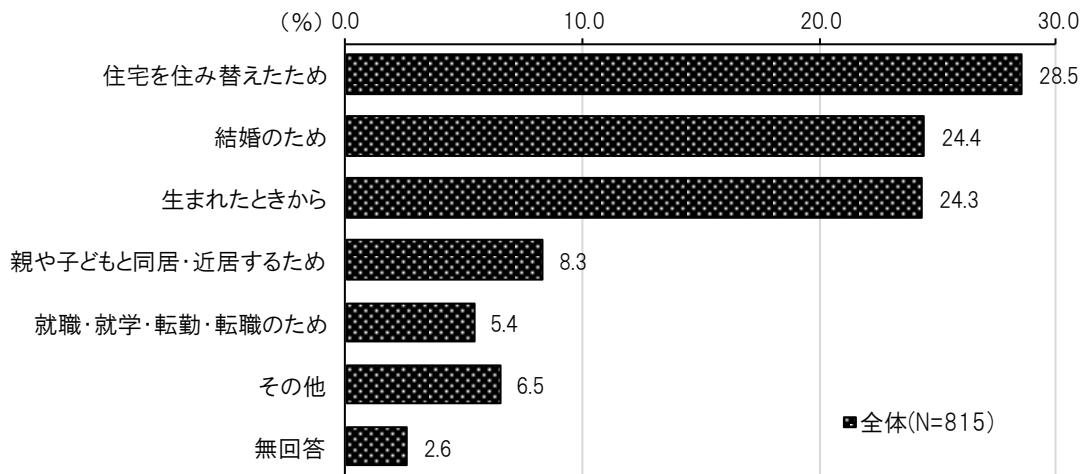
5. 現住所への居住のきっかけ

現住所への居住のきっかけについては、全体では「住宅を住み替えたため」が28.5%と最も高く、次いで「結婚のため」(24.4%)、「生まれたときから」が24.3%の順となっている。

性別では、男性で「住宅を住み替えたため」「生まれたときから」、女性で「結婚のため」の割合がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「生まれたときから」「就職・就学・転勤・転職のため」、30歳代と70歳以上で「結婚のため」、50歳代で「住宅を住み替えたため」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べ高くなっている。

地域別でみると、牛窓地域で「生まれたときから」、長船地域で「住宅を住み替えたため」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。



単位 (%)	住宅を住み替えたため	結婚のため	生まれたときから	近親や子どもと同居・近居するため	就職・就学・転勤・転職のため	その他
全体(N=815)	28.5	24.4	24.3	8.3	5.4	6.5
【性別】						
男性(n=315)	32.4	10.5	35.9	7.9	4.8	7.0
女性(n=444)	26.4	35.6	15.5	9.0	5.9	6.5
【年齢別】						
29歳以下(n=37)	21.6	5.4	48.6	8.1	13.5	0.0
30歳代(n=81)	33.3	29.6	7.4	11.1	7.4	9.9
40歳代(n=107)	34.6	20.6	20.6	12.1	5.6	5.6
50歳代(n=113)	38.9	16.8	24.8	7.1	5.3	6.2
60歳代(n=166)	30.7	24.7	25.3	9.0	3.6	5.4
70歳以上(n=294)	21.8	31.0	26.2	6.5	5.1	7.8
【地域別】						
牛窓地域(n=143)	14.7	19.6	33.6	7.7	7.0	14.7
邑久地域(n=387)	29.7	25.3	28.7	8.5	2.8	3.4
長船地域(n=275)	34.9	26.2	14.2	8.7	8.4	6.9

6. 家族構成

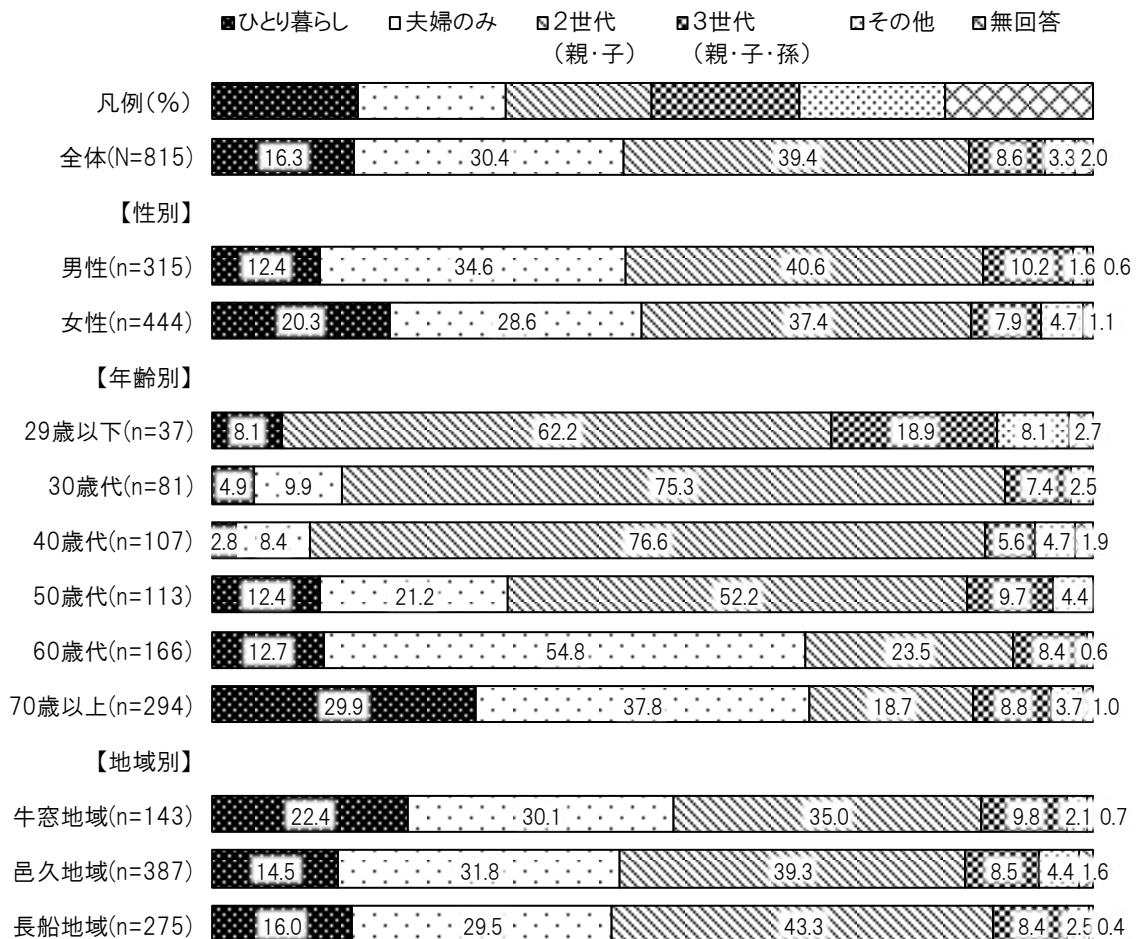
(1) 世帯構成

世帯構成については、全体では「2世代（親・子）」が39.4%と最も高く、次いで「夫婦のみ」（30.4%）、「ひとり暮らし」（16.3%）の順となっている。

性別では、男性で「夫婦のみ」、女性で「ひとり暮らし」の割合がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「3世代（親・子・孫）」、30～40歳代で「2世代（親・子）」、60歳代で「夫婦のみ」、70歳以上で「ひとり暮らし」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

地域別でみると、牛窓地域で「ひとり暮らし」の割合が他の地域に比べて高くなっている。

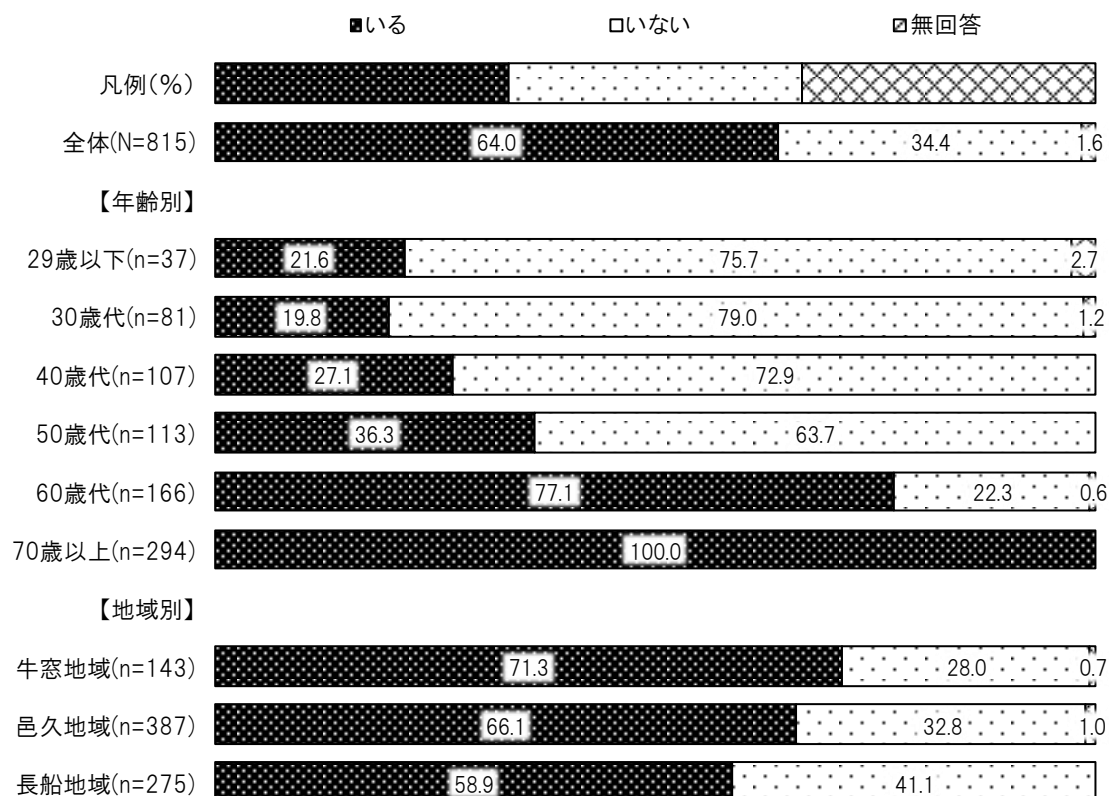


(2) 65歳以上の方の同居有無（自身を含む）

65歳以上の方の同居有無については、全体では「いる」が64.0%、「いない」が34.4%となっている。

年齢別では、自身を含むため60歳以上において「いる」が多くなっており、おおむね年齢が上がるほど「いる」の割合が増える傾向にある。

地域別では、牛窓地域で「いる」が約7割を占め、他の地域に比べて高くなっている。

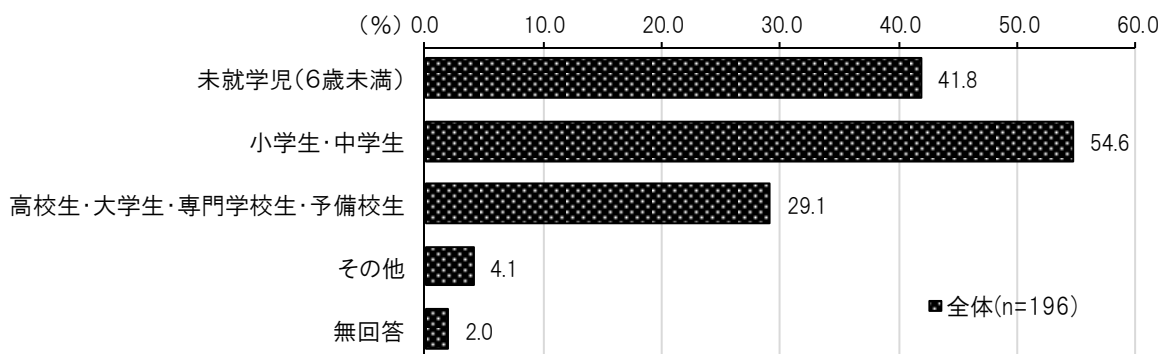
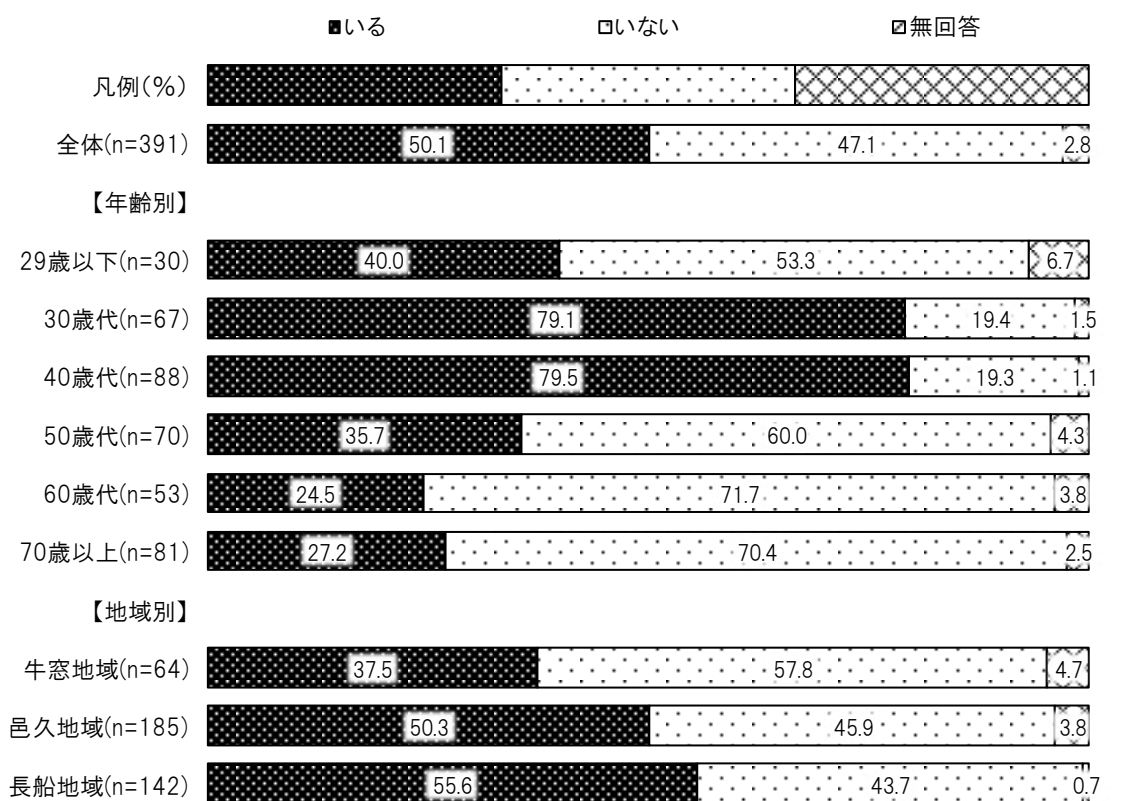


(3) 20歳以下の子どもの同居有無

2世代（親・子）または3世代（親・子・孫）の世帯について20歳以下の子どもの同居有無を尋ねたところ、「いる」が50.1%、「いない」が47.1%となっている。

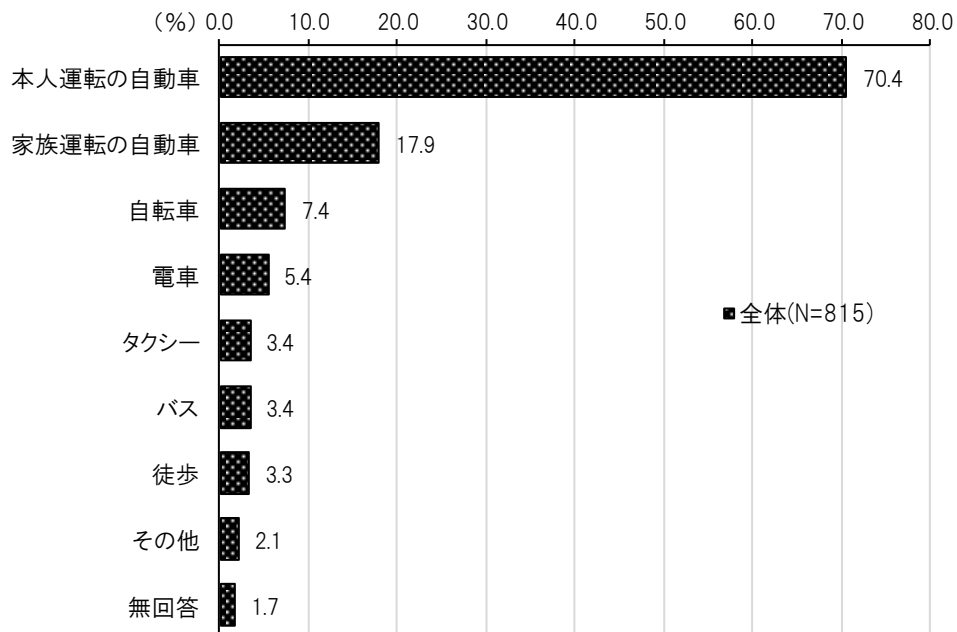
年齢別では、30～40歳代で「いる」が約8割を占めており、地域別では牛窓地域で「いない」が他の地域に比べて高くなっている。

同居している20歳以下の子どもは、「小学生・中学生」が54.6%と最も高く、次いで「未就学児（6歳未満）」（41.8%）、「高校生・大学生・専門学校生・予備校生」（29.1%）の順となっている。



7. 普段の主な移動手段

普段の主な移動手段については、全体では「本人運転の自動車」が70.4%と最も高く突出している。次いで「家族運転の自動車」(17.9%)、「自転車」(7.4%)の順となっている。



性別では、男性で「本人運転の自動車」、女性で「家族運転の自動車」「自転車」の割合がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「自転車」、30歳代で「本人運転の自動車」、70歳以上で「家族運転の自動車」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

地域別でみると、美和で「本人運転の自動車」、裳掛で「家族運転の自動車」、笠加で「タクシー」の割合がそれぞれ高くなっている。

単位 (%)	本人運転の自動車	家族運転の自動車	自転車	電車	タクシー	バス	徒歩	その他
全体(N=815)	70.4	17.9	7.4	5.4	3.4	3.4	3.3	2.1
【性別】								
男性(n=315)	82.9	10.8	3.5	3.8	1.9	1.0	2.5	1.6
女性(n=444)	62.4	23.6	10.1	6.8	4.7	5.4	4.1	2.5
【年齢別】								
29歳以下(n=37)	64.9	8.1	18.9	2.7	0.0	2.7	0.0	5.4
30歳代(n=81)	90.1	12.3	3.7	7.4	0.0	0.0	1.2	1.2
40歳代(n=107)	85.0	13.1	3.7	5.6	0.0	0.9	2.8	0.9
50歳代(n=113)	85.0	7.1	4.4	4.4	0.9	0.9	2.7	1.8
60歳代(n=166)	85.5	13.9	4.2	1.8	1.2	1.8	1.8	0.0
70歳以上(n=294)	49.0	28.9	10.5	7.1	7.8	7.1	4.8	3.7
【地域別（詳細）】								
牛窓地域(n=143)	67.8	21.7	4.2	0.7	3.5	8.4	4.2	1.4
牛窓(n=62)	64.5	14.5	6.5	1.6	4.8	12.9	8.1	1.6
鹿忍(n=47)	76.6	25.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0
長浜(n=34)	61.8	29.4	5.9	0.0	5.9	11.8	0.0	2.9
邑久地域(n=387)	69.3	18.3	9.0	5.9	3.6	3.4	3.4	2.1
邑久(n=117)	66.7	19.7	12.0	6.0	2.6	2.6	5.1	2.6
福田(n=60)	78.3	10.0	13.3	8.3	1.7	1.7	3.3	0.0
今城(n=61)	70.5	16.4	4.9	8.2	4.9	0.0	0.0	4.9
豊原(n=43)	74.4	18.6	11.6	7.0	0.0	2.3	4.7	0.0
本庄(n=36)	77.8	11.1	2.8	2.8	5.6	2.8	0.0	2.8
笠加(n=20)	60.0	20.0	15.0	0.0	10.0	0.0	5.0	0.0
玉津(n=16)	62.5	25.0	6.3	6.3	6.3	12.5	6.3	0.0
裳掛(n=34)	52.9	35.3	0.0	2.9	5.9	14.7	2.9	2.9
長船地域(n=275)	75.6	16.0	6.9	6.9	3.3	1.1	2.9	2.5
美和(n=30)	83.3	10.0	6.7	0.0	6.7	3.3	0.0	3.3
国府(n=89)	73.0	19.1	9.0	6.7	3.4	2.2	3.4	3.4
行幸(n=156)	75.6	15.4	5.8	8.3	2.6	0.0	3.2	1.9

Ⅲ 調査結果

【1】瀬戸内市のめざす姿に対する実感度と重要度について

問1. 瀬戸内市がめざしている将来（2040年）の姿に対する現在の「実感度」について、1～25の項目ごとに、あなたの考えに一番近いものそれぞれ1つに○印をつけてください。

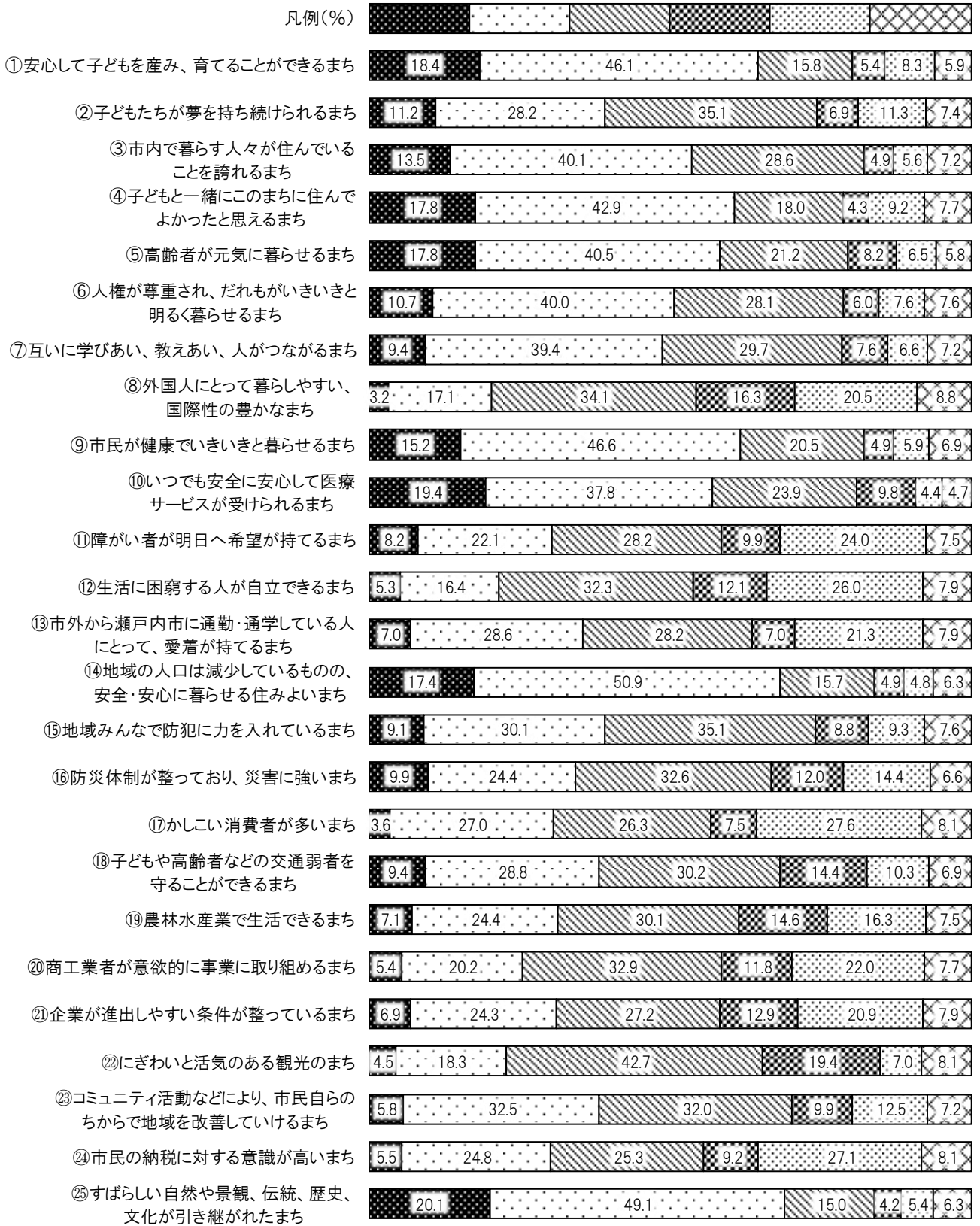
1. 現在の实感度

25の項目について、現在の实感度を5段階評価で質問したところ、「そう思う」への回答が最も高かったのは「㉔すばらしい自然や景観、伝統、歴史、文化が引き継がれたまち」（20.1%）で、以下「⑩いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」（19.4%）、「①安心して子どもを産み、育てることができるまち」（18.4%）、「④子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち」「⑤高齢者が元気に暮らせるまち」（各17.8%）、「⑭地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」（17.4%）などの順となっている。

また、「思わない」への回答が最も高かったのは、「㉔にぎわいと活気のある観光のまち」（19.4%）であり、次いで「⑧外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」（16.3%）、「⑰農林水産業で生活できるまち」（14.6%）、「⑱子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち」（14.4%）の順となっている。

問1①現在の実感度
全体(N=815)

■ そう思う □ まあ そう思う □ あまりそう 思わない □ 思わない □ わからない □ 無回答



【実感度／平均評定値による集計】

実感度は以下に示す平均評定値（加重平均値）を算出する方法で点数化している。

- 「実感度」については「そう思う」「まあそう思う」への回答とともに、「あまりそう思わない」「思わない」「わからない」という選択肢もある。そのため、この「実感度」をよりの確に分析するために、平均評定値（加重平均値）による指標化を行った。
- 平均評定値（加重平均値）は、「そう思う」に＋2点、「まあそう思う」に＋1点、「あまりそう思わない」に－1点、「思わない」に－2点、「わからない」に0点の係数（ウエイト）を設定し、

【（「そう思う」の回答件数）×2（点）＋（「まあそう思う」の回答件数）×1（点）＋（「まあそう思わない」の回答件数）×－1（点）＋（「思わない」の回答件数）×－2（点）＋（「わからない」の回答件数）×0（点）】÷【回答者件数－無回答件数】

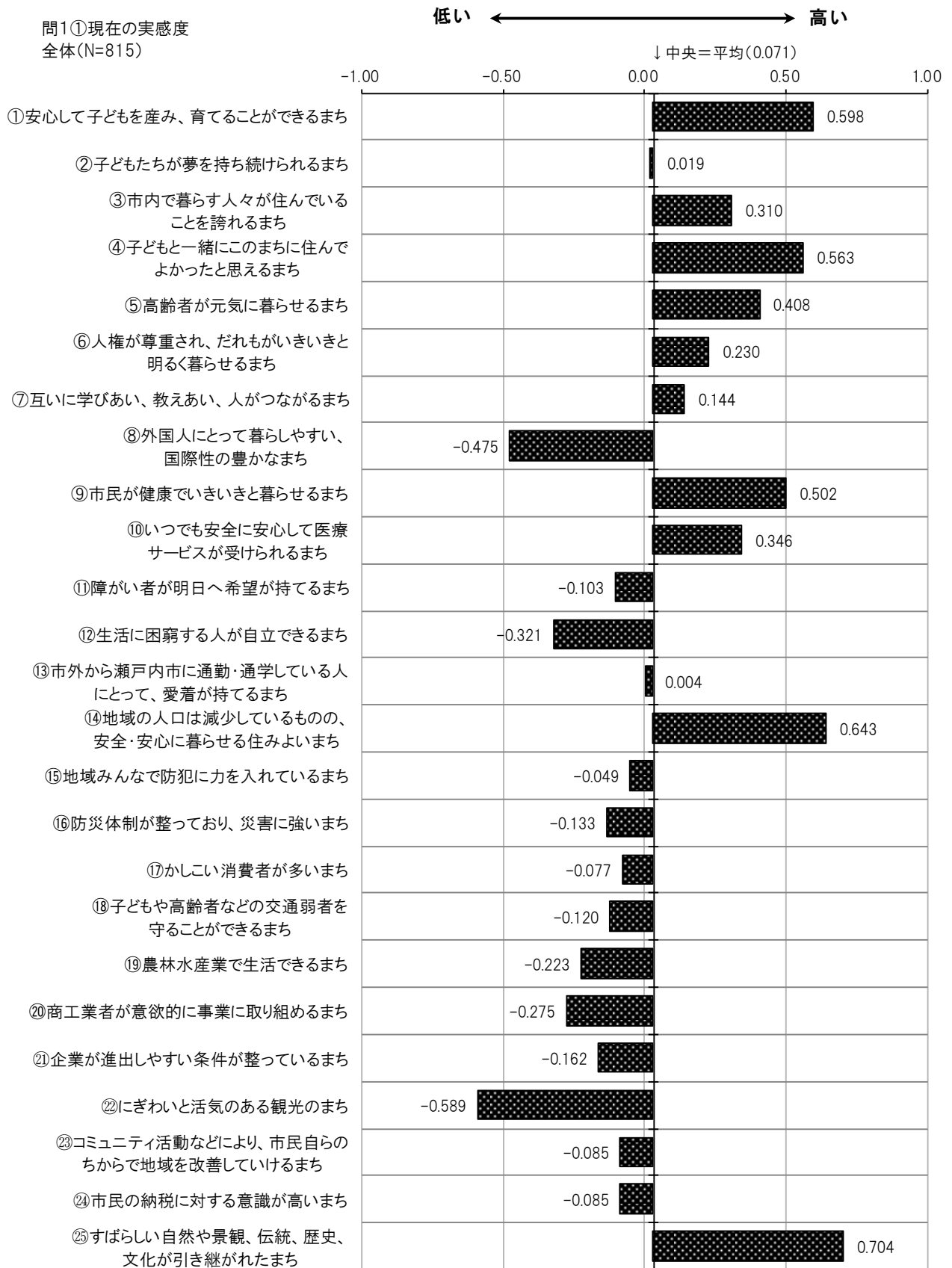
の計算によって算出し、指標としている。

- この指標によって、「実感度」の強弱を、より明確に分析することができる。

この指標による分析結果をみると、実感度評価が最も高い施策は「㉕すばらしい自然や景観、伝統、歴史、文化が引き継がれたまち」（0.704）で、以下「㊦地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」（0.643）、「①安心して子どもを産み、育てることができるまち」（0.598）、「④子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち」（0.563）、「⑨市民が健康でいきいきと暮らせるまち」（0.502）などの順となっている。

一方、相対的に実感度評価が低い施策としては、「㉔にぎわいと活気のある観光のまち」（－0.589）、「⑧外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」（－0.475）、「㊧生活に困窮する人が自立できるまち」（－0.321）、「㉑商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち」（－0.275）、「⑩農林水産業で生活できるまち」（－0.223）などがあげられる。

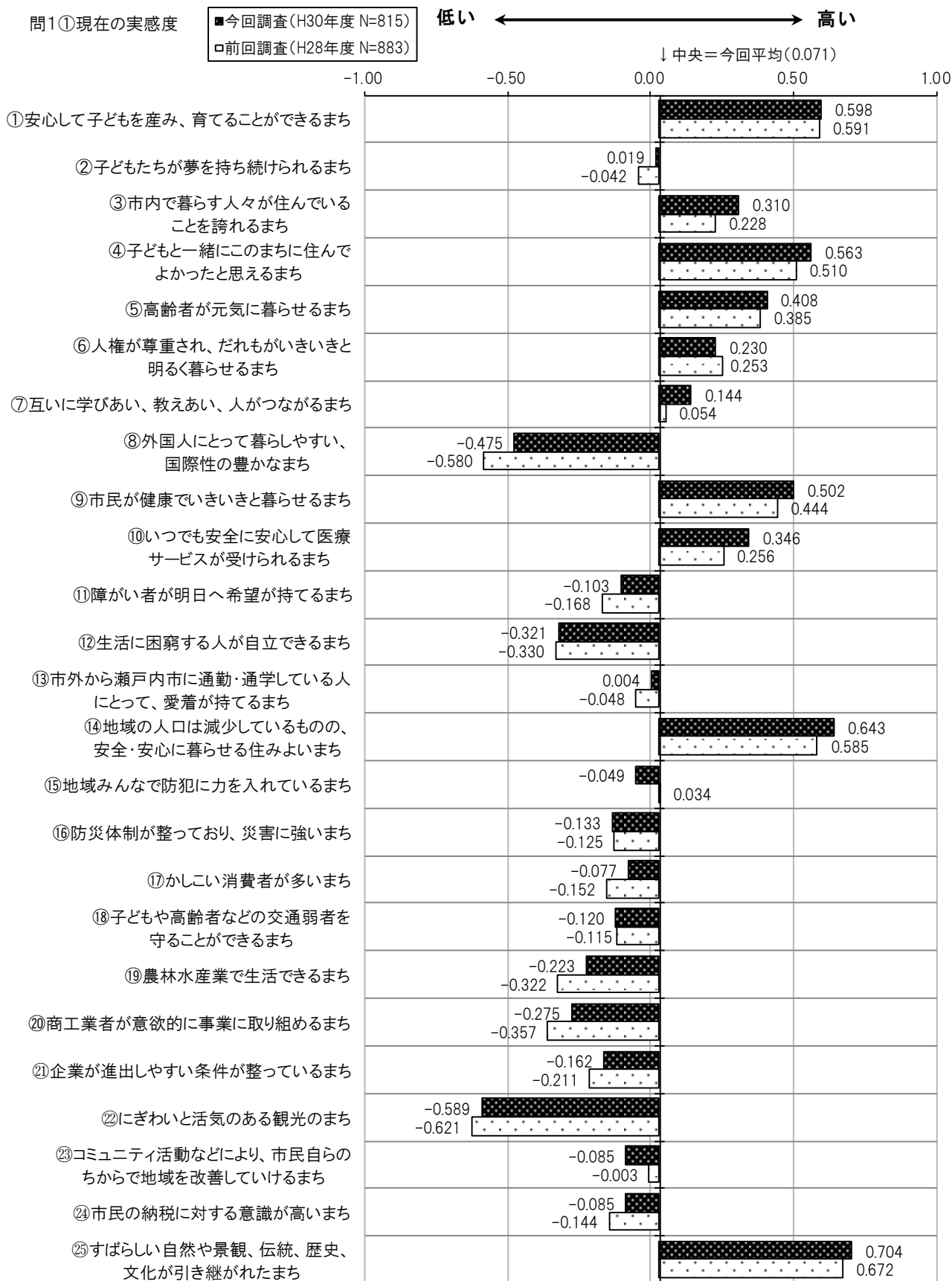
全体的な評価の平均は0.071となっており、25項目中でウエイト値がプラス評価だったのは12項目、マイナス評価だったのは13項目となっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体的に実感度が上昇している項目が多く、今回、実感度が高くなった項目として、「③市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち」「⑦互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち」「⑧外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」「⑩いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」「⑲農林水産業で生活できるまち」などがあげられる。

一方、実感度が低くなった項目としては、「⑮地域みんなで防犯に力を入れているまち」「⑳コミュニティ活動などにより、市民自らのちからで地域を改善していけるまち」などがあげられ、「⑮地域みんなで防犯に力を入れているまち」については、プラス評価からマイナス評価に転じている。



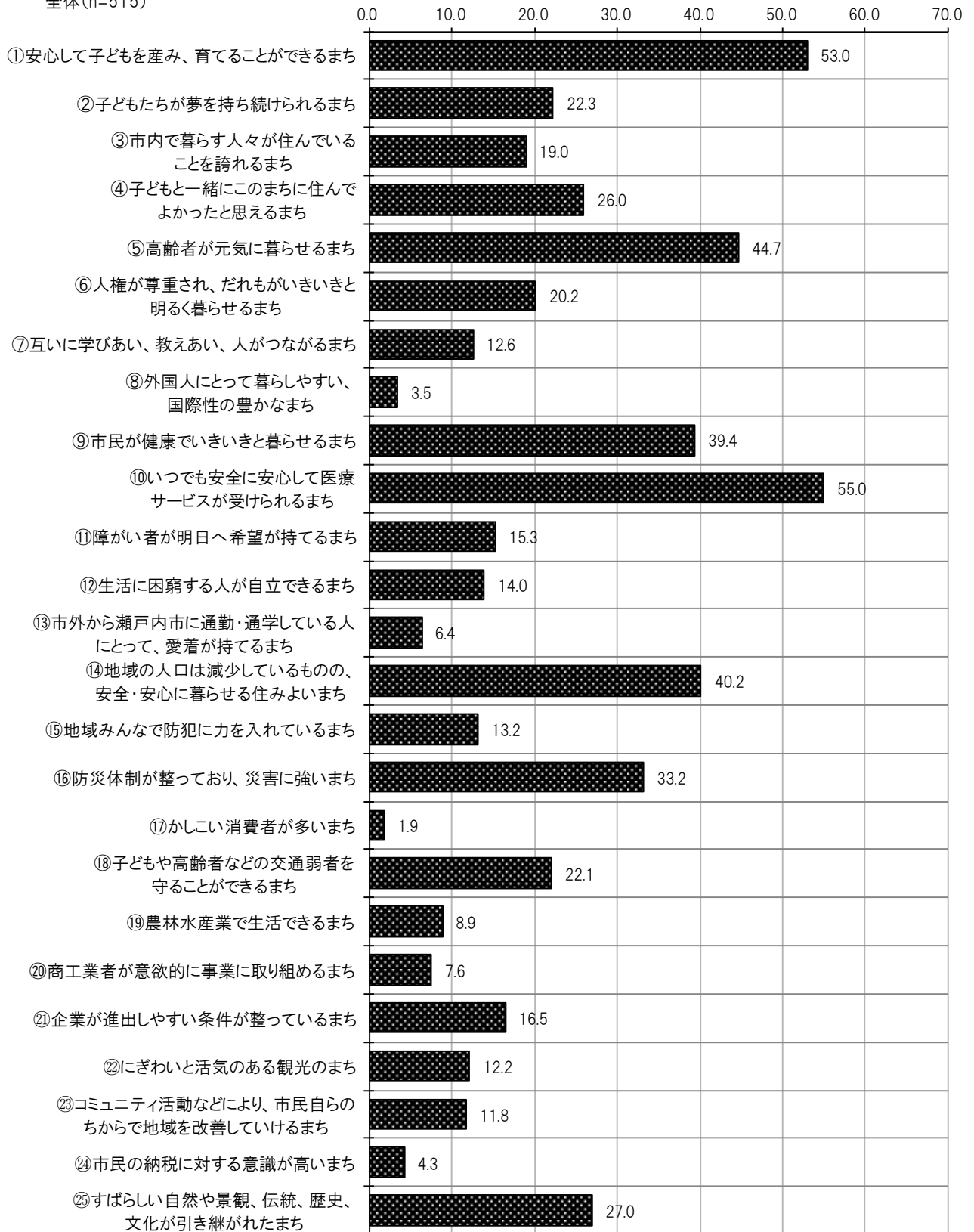
2. 現在の重要度

問1. また、瀬戸内市がめざしている将来（2040年）の姿のうち、あなたが重要だと思うものを、1～25の項目の中から5つまで選んで、「重要度」の欄に○印をつけてください。

25の項目について、重要だと思われる施策を質問したところ、「⑩いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」が55.0%と最も高く、次いで「①安心して子どもを産み、育てることができるまち」（53.0%）、「⑤高齢者が元気に暮らせるまち」（44.7%）、「⑭地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」（40.2%）、「⑨市民が健康でいきいきと暮らせるまち」（39.4%）、「⑯防災体制が整っており、災害に強いまち」（33.2%）などの順になっている。

一方で、相対的に重要度が低い施策は、「⑰かしこい消費者が多いまち」（1.9%）、「⑧外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」（3.5%）、「⑳市民の納税に対する意識が高いまち」（4.3%）、「⑬市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとって、愛着が持てるまち」（6.4%）、「㉑商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち」（7.6%）などがあげられる。

問1②施策の重要度(%)
全体(n=515)



注：集計結果の数値は、「無回答」を除く母数(n=515)で算出している。

性別では、男性で「②子どもたちが夢を持ち続けられるまち」「⑳商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち」、女性で「⑩いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」「⑯防災体制が整っており、災害に強いまち」「⑱子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち」などがそれぞれ高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「⑧外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」「⑬市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとって、愛着が持てるまち」、30歳代で「①安心して子どもを産み、育てることができるまち」「④子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち」、50歳代で「⑨市民が健康でいきいきと暮らせるまち」、60歳以上で「⑤高齢者が元気に暮らせるまち」などが他の年齢層に比べて高くなっている。

地域別でみると、今城で「①安心して子どもを産み、育てることができるまち」、本庄で「③市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち」、笠加で「⑤高齢者が元気に暮らせるまち」「⑯防災体制が整っており、災害に強いまち」、美和で「⑥人権が尊重され、だれもがいきいきと明るく暮らせるまち」「⑭地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」「㉓コミュニティ活動などにより、市民自らのちからで地域を改善していけるまち」、裳掛で「⑨市民が健康でいきいきと暮らせるまち」「⑫生活に困窮する人が自立できるまち」「⑲農林水産業で生活できるまち」、福田で「⑪障がい者が明日へ希望が持てるまち」などがそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。

No.	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
単位 (%)	と安心して子どもを産み、育てることができるまち	子どもたちが夢を持ち続けられるまち	市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち	子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち	高齢者が元気に暮らせるまち	人権が尊重され、だれもがいきいきと明るく暮らせるまち	互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	外国人にとつて暮らしやすい、国際性の豊かなまち	市民が健康でいきいきと暮らせるまち	いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち
全体(n=515)	53.0	22.3	19.0	26.0	44.7	20.2	12.6	3.5	39.4	55.0
【性別】										
男性(n=200)	49.5	26.5	19.0	27.5	44.0	20.5	11.5	3.5	40.5	48.0
女性(n=291)	55.7	19.2	19.6	25.4	46.0	20.6	13.1	3.1	38.5	59.8
【年齢別】										
29歳以下(n=25)	56.0	24.0	20.0	16.0	28.0	12.0	12.0	16.0	36.0	48.0
30歳代(n=58)	75.9	27.6	15.5	43.1	27.6	24.1	10.3	5.2	29.3	50.0
40歳代(n=81)	60.5	23.5	22.2	25.9	43.2	14.8	14.8	3.7	38.3	60.5
50歳代(n=78)	47.4	14.1	15.4	28.2	44.9	20.5	12.8	2.6	48.7	48.7
60歳代(n=121)	50.4	19.8	18.2	24.0	52.9	18.2	9.9	3.3	36.4	57.9
70歳以上(n=146)	45.2	25.3	21.9	20.5	49.3	24.7	14.4	1.4	41.8	55.5
【地域別(詳細)】										
牛窓地域(n=86)	48.8	26.7	17.4	29.1	44.2	20.9	11.6	2.3	37.2	58.1
牛窓(n=30)	43.3	23.3	20.0	30.0	36.7	13.3	10.0	3.3	40.0	53.3
鹿忍(n=26)	50.0	26.9	11.5	26.9	34.6	26.9	19.2	0.0	23.1	50.0
長浜(n=30)	53.3	30.0	20.0	30.0	60.0	23.3	6.7	3.3	46.7	70.0
邑久地域(n=243)	55.1	19.3	21.0	25.5	41.6	16.5	12.8	4.5	39.1	57.6
邑久(n=84)	56.0	16.7	26.2	26.2	33.3	20.2	10.7	7.1	34.5	63.1
福田(n=35)	57.1	31.4	20.0	25.7	34.3	22.9	11.4	8.6	45.7	65.7
今城(n=33)	69.7	30.3	15.2	9.1	39.4	24.2	9.1	6.1	24.2	45.5
豊原(n=30)	56.7	13.3	20.0	33.3	40.0	10.0	20.0	0.0	30.0	60.0
本庄(n=23)	34.8	4.3	34.8	30.4	52.2	8.7	17.4	0.0	47.8	52.2
笠加(n=12)	41.7	25.0	16.7	25.0	75.0	8.3	0.0	0.0	41.7	25.0
玉津(n=8)	50.0	12.5	12.5	25.0	50.0	12.5	12.5	0.0	62.5	50.0
裳掛(n=18)	55.6	16.7	0.0	33.3	61.1	0.0	22.2	0.0	66.7	66.7
長船地域(n=183)	51.9	24.0	17.5	24.6	49.2	25.1	13.1	2.7	41.5	49.7
美和(n=19)	42.1	26.3	31.6	21.1	57.9	36.8	21.1	0.0	42.1	68.4
国府(n=59)	61.0	27.1	16.9	28.8	47.5	25.4	6.8	1.7	45.8	55.9
行幸(n=105)	48.6	21.9	15.2	22.9	48.6	22.9	15.2	3.8	39.0	42.9

注：地域別(詳細)の「玉津」は、該当件数(n)が少ないため参考値とする。

No.	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
単位 (%)	ち障がい者が明日へ希望が持てるま	ち生活に困窮する人が自立できるま	まち外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとつて、愛着が持てる	の、地域の人口は減少しているものよ	る地域みんなで防犯に力を入れている	い防災体制が整っており、災害に強	かしい消費者が多いまち	守ることもや高齢者などの交通弱者を	農林水産業で生活できるまち	める商業者が意欲的に事業に取り組
全体(n=515)	15.3	14.0	6.4	40.2	13.2	33.2	1.9	22.1	8.9	7.6
【性別】										
男性(n=200)	14.5	10.5	6.5	41.0	14.0	27.5	2.0	17.0	11.5	11.0
女性(n=291)	16.5	16.8	5.5	40.9	13.1	36.8	2.1	26.5	6.9	5.2
【年齢別】										
29歳以下(n=25)	8.0	12.0	16.0	24.0	12.0	28.0	4.0	20.0	8.0	12.0
30歳代(n=58)	8.6	15.5	1.7	27.6	17.2	29.3	3.4	22.4	5.2	13.8
40歳代(n=81)	14.8	12.3	7.4	32.1	17.3	33.3	0.0	21.0	4.9	9.9
50歳代(n=78)	16.7	10.3	6.4	47.4	16.7	32.1	1.3	21.8	6.4	7.7
60歳代(n=121)	14.9	15.7	3.3	40.5	9.1	33.1	1.7	24.0	11.6	5.8
70歳以上(n=146)	19.9	15.8	8.2	47.9	11.6	36.3	2.7	21.9	11.0	4.8
【地域別(詳細)】										
牛窓地域(n=86)	10.5	11.6	5.8	44.2	5.8	25.6	1.2	23.3	9.3	8.1
牛窓(n=30)	6.7	6.7	6.7	53.3	13.3	23.3	3.3	20.0	6.7	6.7
鹿忍(n=26)	19.2	11.5	3.8	30.8	3.8	19.2	0.0	26.9	15.4	7.7
長浜(n=30)	6.7	16.7	6.7	46.7	0.0	33.3	0.0	23.3	6.7	10.0
邑久地域(n=243)	16.9	13.6	7.8	39.5	14.4	35.0	2.1	21.8	10.7	8.6
邑久(n=84)	17.9	9.5	8.3	45.2	19.0	38.1	1.2	19.0	4.8	10.7
福田(n=35)	37.1	14.3	5.7	31.4	17.1	34.3	0.0	17.1	8.6	2.9
今城(n=33)	6.1	15.2	6.1	27.3	12.1	36.4	0.0	24.2	15.2	12.1
豊原(n=30)	16.7	20.0	13.3	43.3	16.7	33.3	0.0	23.3	10.0	6.7
本庄(n=23)	17.4	8.7	8.7	43.5	4.3	26.1	8.7	26.1	4.3	4.3
笠加(n=12)	0.0	8.3	0.0	33.3	16.7	66.7	8.3	16.7	16.7	16.7
玉津(n=8)	0.0	12.5	0.0	50.0	12.5	12.5	12.5	50.0	25.0	12.5
裳掛(n=18)	11.1	27.8	11.1	38.9	0.0	22.2	0.0	22.2	33.3	5.6
長船地域(n=183)	15.8	15.3	4.9	39.3	15.3	35.0	2.2	22.4	6.0	6.0
美和(n=19)	15.8	10.5	5.3	57.9	5.3	31.6	0.0	21.1	10.5	5.3
国府(n=59)	8.5	6.8	5.1	42.4	10.2	37.3	1.7	28.8	1.7	5.1
行幸(n=105)	20.0	21.0	4.8	34.3	20.0	34.3	2.9	19.0	7.6	6.7

注:地域別(詳細)の「玉津」は、該当件数(n)が少ないため参考値とする。

No.	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕
単位 (%)	企業が進出しやすい条件が整っているまち	にぎわいと活気のある観光のまち	民自らのちからで地域を改善しているまち	市民の納税に対する意識が高いまち	すばらしい自然や景観、伝統、歴史、文化が引き継がれたまち
全体(n=515)	16.5	12.2	11.8	4.3	27.0
【性別】					
男性(n=200)	19.0	13.5	9.5	4.5	28.0
女性(n=291)	15.1	11.3	13.4	4.5	25.8
【年齢別】					
29歳以下(n=25)	8.0	24.0	8.0	8.0	28.0
30歳代(n=58)	10.3	22.4	3.4	1.7	22.4
40歳代(n=81)	17.3	16.0	6.2	4.9	23.5
50歳代(n=78)	11.5	9.0	15.4	2.6	21.8
60歳代(n=121)	21.5	13.2	14.0	4.1	31.4
70歳以上(n=146)	17.1	4.8	14.4	5.5	28.8
【地域別(詳細)】					
牛窓地域(n=86)	16.3	15.1	9.3	1.2	37.2
牛窓(n=30)	13.3	13.3	10.0	0.0	43.3
鹿忍(n=26)	23.1	19.2	11.5	0.0	38.5
長浜(n=30)	13.3	13.3	6.7	3.3	30.0
邑久地域(n=243)	17.3	13.6	11.5	5.3	23.5
邑久(n=84)	25.0	10.7	6.0	4.8	17.9
福田(n=35)	11.4	17.1	11.4	2.9	25.7
今城(n=33)	15.2	9.1	12.1	6.1	30.3
豊原(n=30)	13.3	20.0	13.3	3.3	20.0
本庄(n=23)	17.4	13.0	17.4	13.0	34.8
笠加(n=12)	16.7	0.0	16.7	8.3	0.0
玉津(n=8)	0.0	37.5	25.0	12.5	50.0
裳掛(n=18)	11.1	16.7	16.7	0.0	27.8
長船地域(n=183)	15.3	8.7	13.1	4.4	26.8
美和(n=19)	26.3	15.8	26.3	10.5	36.8
国府(n=59)	16.9	6.8	8.5	3.4	30.5
行幸(n=105)	12.4	8.6	13.3	3.8	22.9

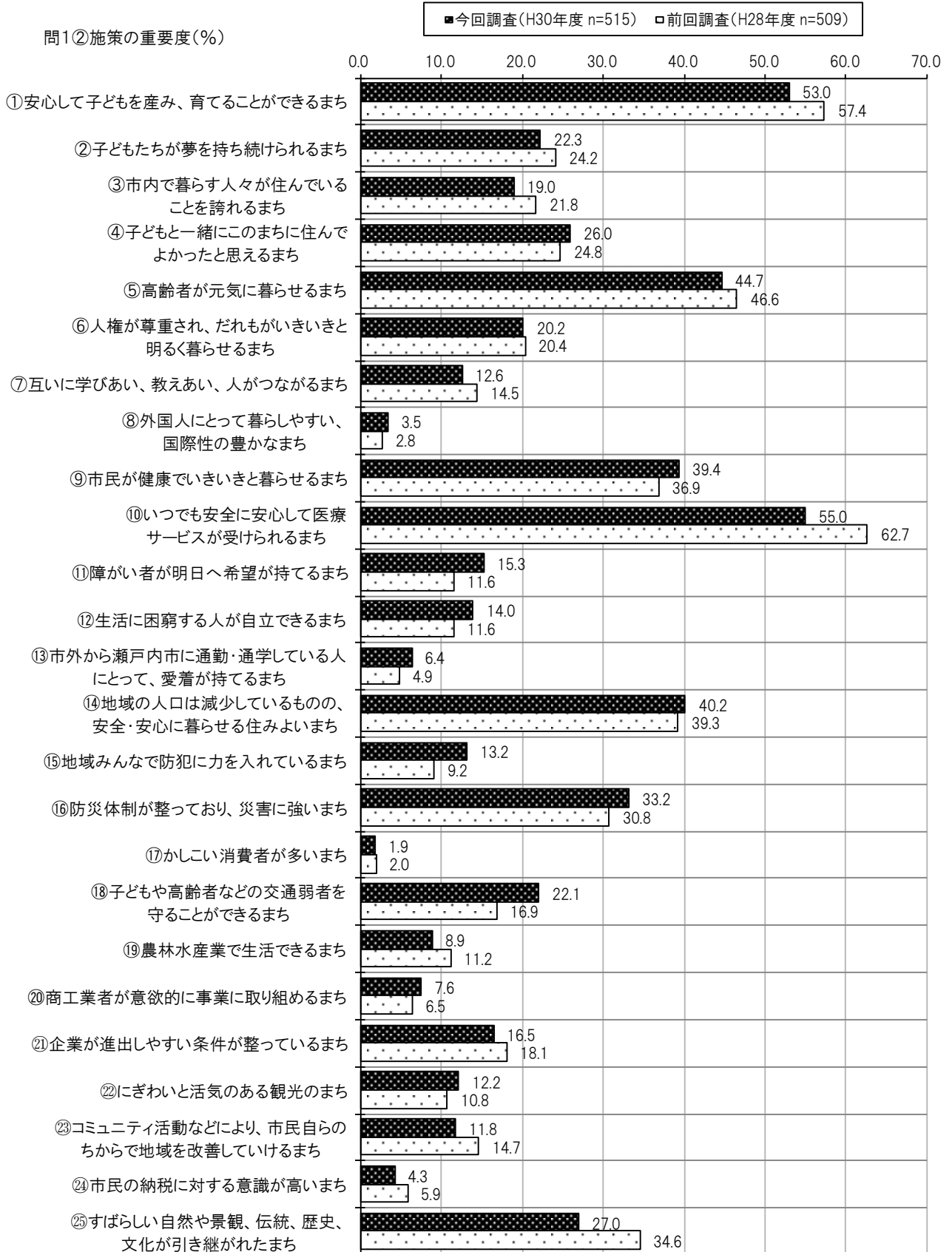
注: 地域別(詳細)の「玉津」は、該当件数(n)が少ないため参考値とする。

【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、重要度が高くなった項目としては、「⑪障がい者が明日へ希望が持てるまち」「⑮地域みんなで防犯に力を入れているまち」「⑱子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち」などがあげられる。

一方、重要度が低くなった項目としては、「①安心して子どもを産み、育てることができるまち」「⑩いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」「⑳すばらしい自然や景観、伝統、歴史、文化が引き継がれたまち」などがあげられる。

問1②施策の重要度(%)



3. 実感度と重要度の相関図による分析

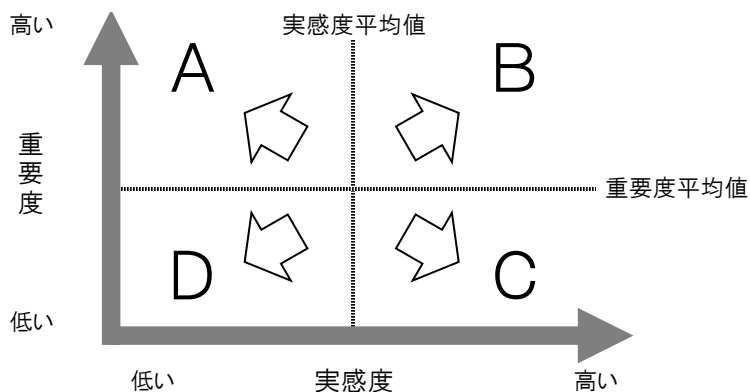
以降の図表等においては、各施策名を次の略表記対応表に従って記載している。

【略表記対応表】

No.	設問項目	略表記
1	安心して子どもを産み、育てることができるまち	安心して子育てできるまち
2	子どもたちが夢を持ち続けられるまち	子どもが夢をもてるまち
3	市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち	住んでいることを誇れるまち
4	子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち	住んでよかったと思えるまち
5	高齢者が元気に暮らせるまち	高齢者が元気に暮らせるまち
6	人権が尊重され、だれもがいきいきと明るく暮らせるまち	人権が尊重されるまち
7	互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	学びあいつながるまち
8	外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち	国際性豊かなまち
9	市民が健康でいきいきと暮らせるまち	健康でいきいきと暮らせるまち
10	いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち	安全安心な医療サービスのまち
11	障がい者が明日へ希望が持てるまち	障がい者が希望をもてるまち
12	生活に困窮する人が自立できるまち	生活困窮者が自立できるまち
13	市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとって、愛着が持てるまち	市外の人も愛着が持てるまち
14	地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち	安全安心に暮らせるまち
15	地域みんなで防犯に力を入れているまち	防犯に力を入れているまち
16	防災体制が整っており、災害に強いまち	災害に強いまち
17	かしこい消費者が多いまち	かしこい消費者が多いまち
18	子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち	交通弱者を守るまち
19	農林水産業で生活できるまち	農林水産業で生活できるまち
20	商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち	商工業者が取り組めるまち
21	企業が進出しやすい条件が整っているまち	企業が進出しやすいまち
22	にぎわいと活気のある観光のまち	にぎわいと活気のあるまち
23	コミュニティ活動などにより、市民自らのちからで地域を改善していけるまち	地域を改善していけるまち
24	市民の納税に対する意識が高いまち	納税意識が高いまち
25	すばらしい自然や景観、伝統、歴史、文化が引き継がれたまち	自然・景観・伝統・文化のまち

【実感度と重要度の相関図による分析】

実感度の加重平均値と重要度（無回答を除く件数を母数とした回答割合）それぞれの値をもとに、縦軸に重要度、横軸に実感度を設定し、25の施策を散布図上に示したものが相関図である。



縦軸に重要度、横軸に実感度をとった相関図では、実感度と重要度をマトリクス上に示すことで、各施策の位置付けを整理する。実感度と重要度の各々の平均値を示す点から左上（A）、右上（B）、右下（C）、左下（D）の4方向に進むにしたいが、以下のような傾向を示している。

A. 重要度が高く、実感度が低い（重点化・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度が高いが、実感度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め、実感度を高める必要のある領域。

B. 重要度、実感度ともに高い（現状維持領域）

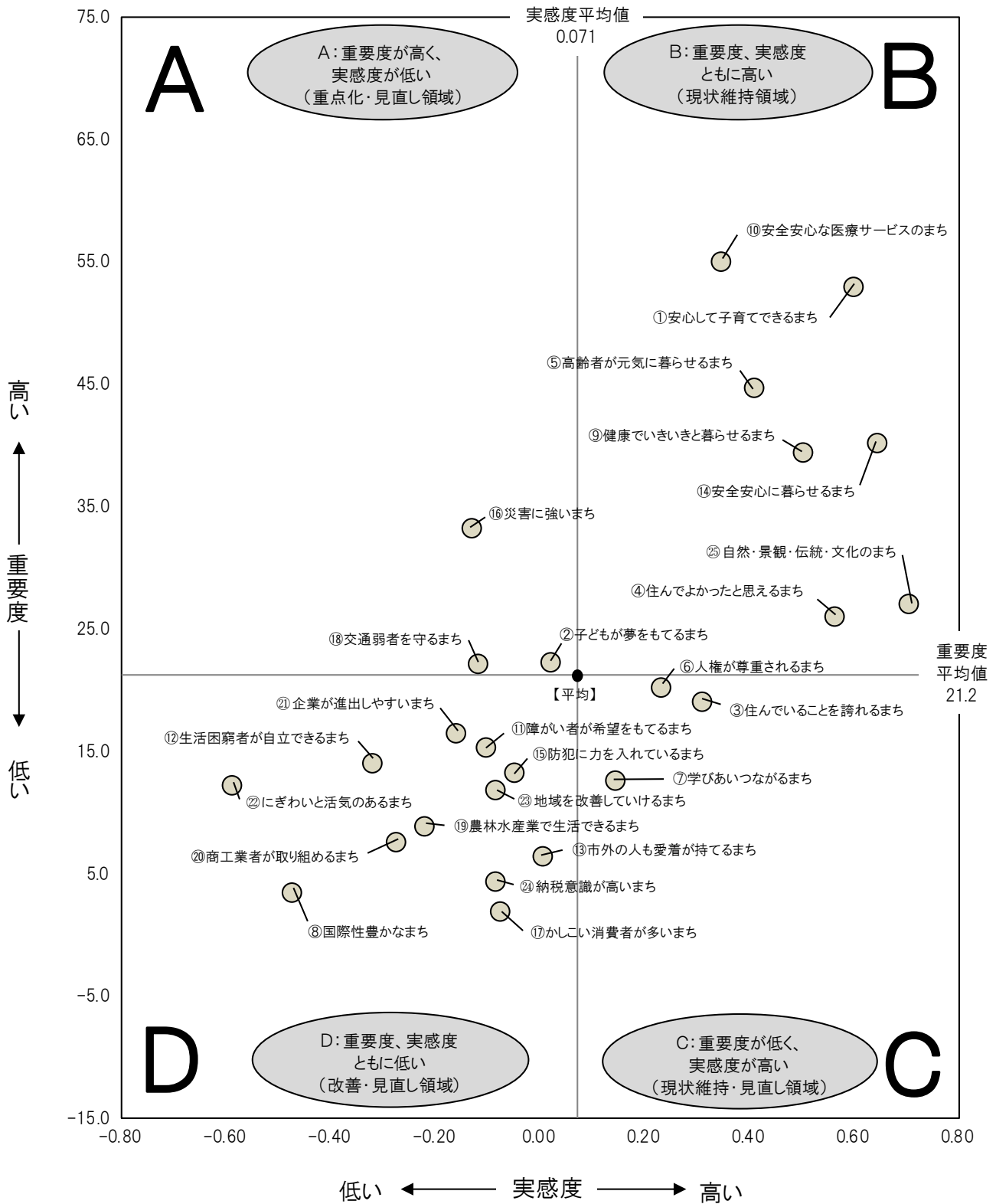
今後のまちづくりにおける重要度も実感度も高く、現時点での実感度の水準を維持していくことが必要な領域。

C. 重要度が低く、実感度が高い（現状維持・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度は低いものの実感度が高く、実感度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて、見直すべき必要のある領域。

D. 重要度、実感度ともに低い（改善・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度も実感度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものを、改めて見直す必要のある領域。



【相関図の元データ】

No.	設問項目	略標記	実感度	重要度
1	安心して子どもを産み、育てることができるまち	安心して子育てできるまち	0.598	53.0
2	子どもたちが夢を持ち続けられるまち	子どもが夢をもてるまち	0.019	22.3
3	市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち	住んでいることを誇れるまち	0.310	19.0
4	子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち	住んでよかったと思えるまち	0.563	26.0
5	高齢者が元気に暮らせるまち	高齢者が元気に暮らせるまち	0.408	44.7
6	人権が尊重され、だれもがいきいきと明るく暮らせるまち	人権が尊重されるまち	0.230	20.2
7	互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	学びあいつながるまち	0.144	12.6
8	外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち	国際性豊かなまち	-0.475	3.5
9	市民が健康でいきいきと暮らせるまち	健康でいきいきと暮らせるまち	0.502	39.4
10	いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち	安全安心な医療サービスのまち	0.346	55.0
11	障がい者が明日へ希望が持てるまち	障がい者が希望をもてるまち	-0.103	15.3
12	生活に困窮する人が自立できるまち	生活困窮者が自立できるまち	-0.321	14.0
13	市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとって、愛着が持てるまち	市外の人も愛着が持てるまち	0.004	6.4
14	地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち	安全安心に暮らせるまち	0.643	40.2
15	地域みんなで防犯に力を入れているまち	防犯に力を入れているまち	-0.049	13.2
16	防災体制が整っており、災害に強いまち	災害に強いまち	-0.133	33.2
17	かしこい消費者が多いまち	かしこい消費者が多いまち	-0.077	1.9
18	子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち	交通弱者を守るまち	-0.120	22.1
19	農林水産業で生活できるまち	農林水産業で生活できるまち	-0.223	8.9
20	商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち	商工業者が取り組めるまち	-0.275	7.6
21	企業が進出しやすい条件が整っているまち	企業が進出しやすいまち	-0.162	16.5
22	にぎわいと活気のある観光のまち	にぎわいと活気のあるまち	-0.589	12.2
23	コミュニティ活動などにより、市民自らのちからで地域を改善していけるまち	地域を改善していけるまち	-0.085	11.8
24	市民の納税に対する意識が高いまち	納税意識が高いまち	-0.085	4.3
25	すばらしい自然や景観、伝統、歴史、文化が引き継がれたまち	自然・景観・伝統・文化のまち	0.704	27.0
		平均→	0.071	21.2

注：実感度はウエイト付けによる加重平均値、重要度は無回答者を除く母数(n=515)に対する回答割合。

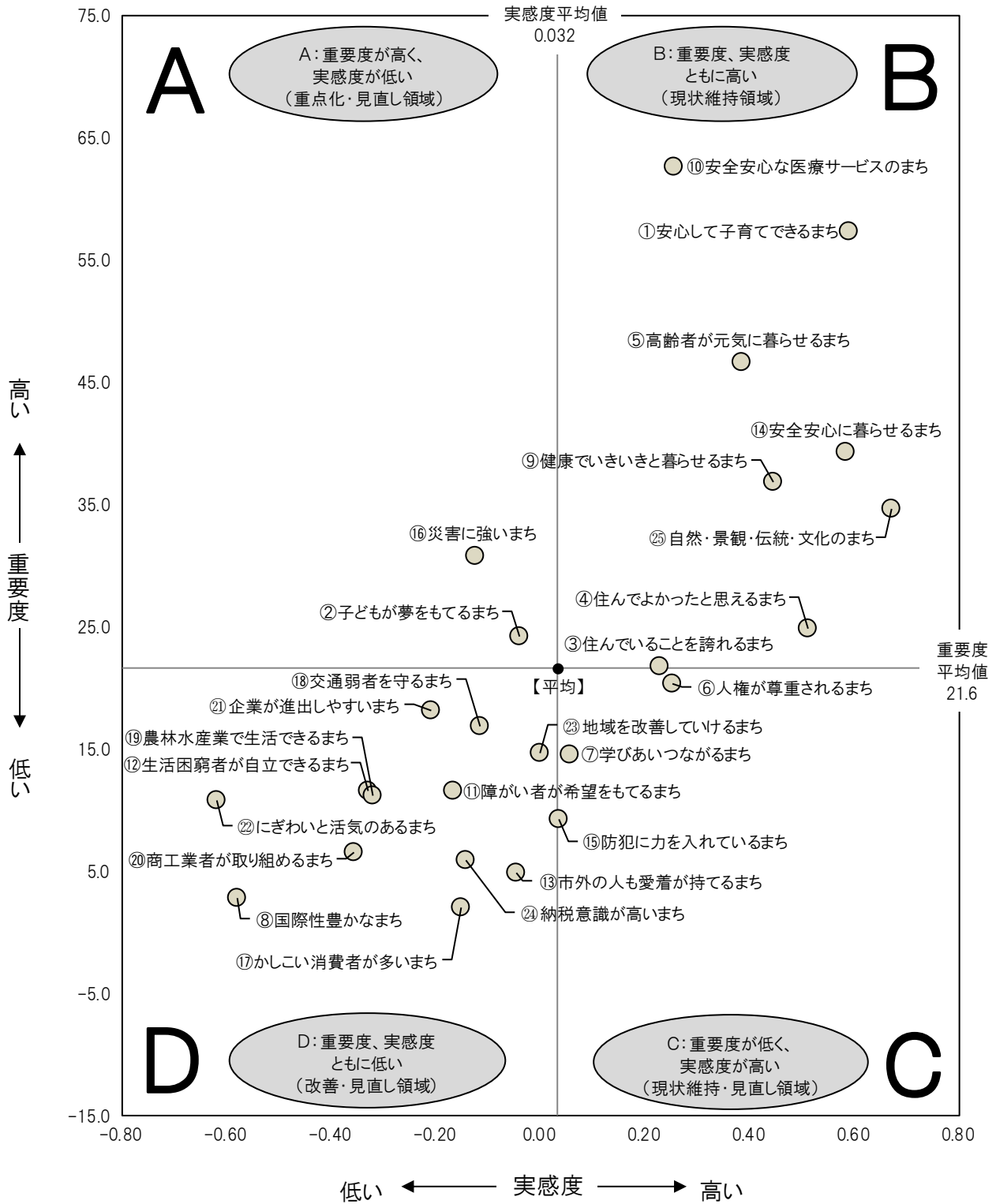
【前回調査との比較】

前回の相関図と比べて大きく変化した項目としては、「③市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち」が（B）から（C）へ、「⑮地域みんなで防犯に力を入れているまち」が（C）から（D）へ、「⑱子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち」が（D）から（A）へそれぞれ移行している。

No.	略標記	前回調査結果		散布図象限	今回調査結果		散布図象限
		実感度	重要度		実感度	重要度	
1	安心して子育てできるまち	0.591	57.4	B	0.598	53.0	B
2	子どもが夢をもてるまち	-0.042	24.2	A	0.019	22.3	A
3	住んでいることを誇れるまち	0.228	21.8	B	0.310	19.0	C
4	住んでよかったと思えるまち	0.510	24.8	B	0.563	26.0	B
5	高齢者が元気に暮らせるまち	0.385	46.6	B	0.408	44.7	B
6	人権が尊重されるまち	0.253	20.4	C	0.230	20.2	C
7	学びあいつながるまち	0.054	14.5	C	0.144	12.6	C
8	国際性豊かなまち	-0.580	2.8	D	-0.475	3.5	D
9	健康でいきいきと暮らせるまち	0.444	36.9	B	0.502	39.4	B
10	安全安心な医療サービスのまち	0.256	62.7	B	0.346	55.0	B
11	障がい者が希望をもてるまち	-0.168	11.6	D	-0.103	15.3	D
12	生活困窮者が自立できるまち	-0.330	11.6	D	-0.321	14.0	D
13	市外の人も愛着が持てるまち	-0.048	4.9	D	0.004	6.4	D
14	安全安心に暮らせるまち	0.585	39.3	B	0.643	40.2	B
15	防犯に力を入れているまち	0.034	9.2	C	-0.049	13.2	D
16	災害に強いまち	-0.125	30.8	A	-0.133	33.2	A
17	かしこい消費者が多いまち	-0.152	2.0	D	-0.077	1.9	D
18	交通弱者を守るまち	-0.115	16.9	D	-0.120	22.1	A
19	農林水産業で生活できるまち	-0.322	11.2	D	-0.223	8.9	D
20	商工業者が取り組めるまち	-0.357	6.5	D	-0.275	7.6	D
21	企業が進出しやすいまち	-0.211	18.1	D	-0.162	16.5	D
22	にぎわいと活気のあるまち	-0.621	10.8	D	-0.589	12.2	D
23	地域を改善していけるまち	-0.003	14.7	D	-0.085	11.8	D
24	納税意識が高いまち	-0.144	5.9	D	-0.085	4.3	D
25	自然・景観・伝統・文化のまち	0.672	34.6	B	0.704	27.0	B
平均		0.032	21.6		0.071	21.2	

注：「網掛け」は前回から今回で散布図象限が変わった項目を示している。

【参考／前回調査における相関図】



【2】行動や考えについて

問2. あなたの日頃の行動や考えについておたずねします。下記の(1)~(40)の質問ごとに、回答欄の2つの選択肢（(19)については4つ）から、あてはまるもの1つを選んで、番号に○印をつけてください。

1. 瀬戸内市への愛着の有無

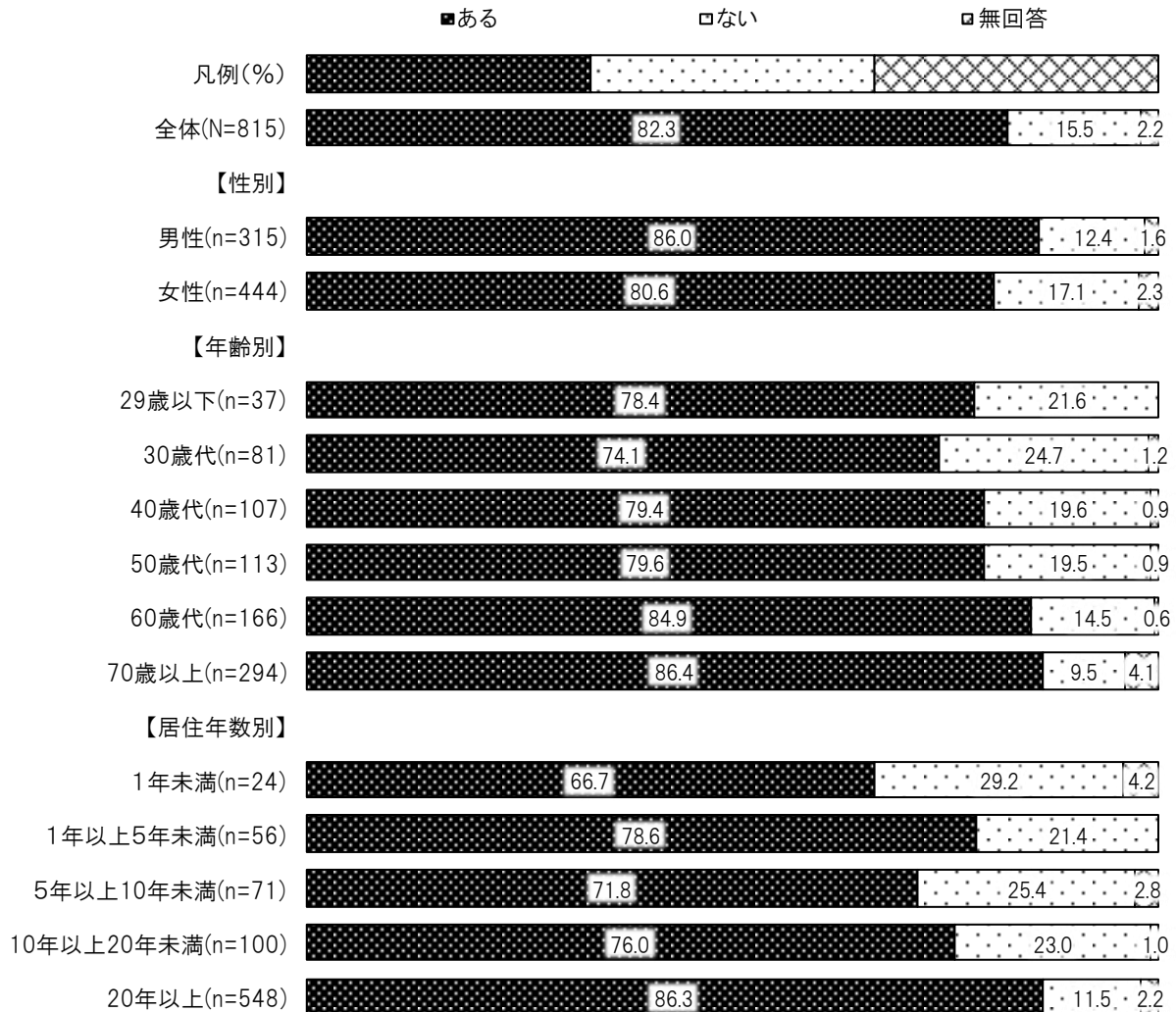
(1) あなたは、瀬戸内市に愛着がありますか

瀬戸内市への愛着については、「ある」が82.3%、「ない」が15.5%であった。

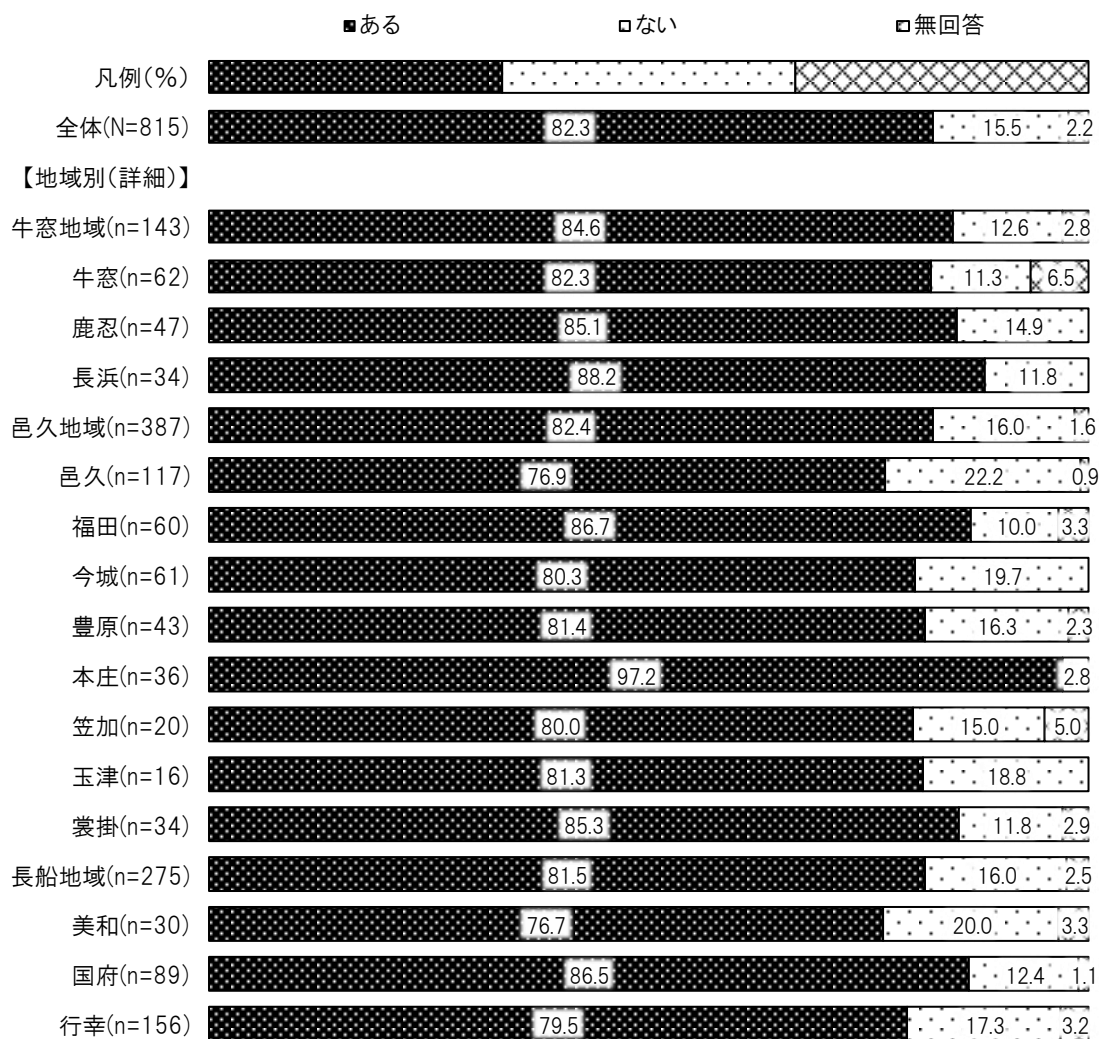
性別では、男性は女性に比べ「ある」の割合が高くなっている。

年齢別では、60歳以上の年齢層で「ある」の割合が高くなっている。

居住年数別では、おおむね年数が長くなるほど「ある」の割合が増える傾向にある。



地域別でみると、本庄で「ある」の割合が他の地域を大きく上回っている。



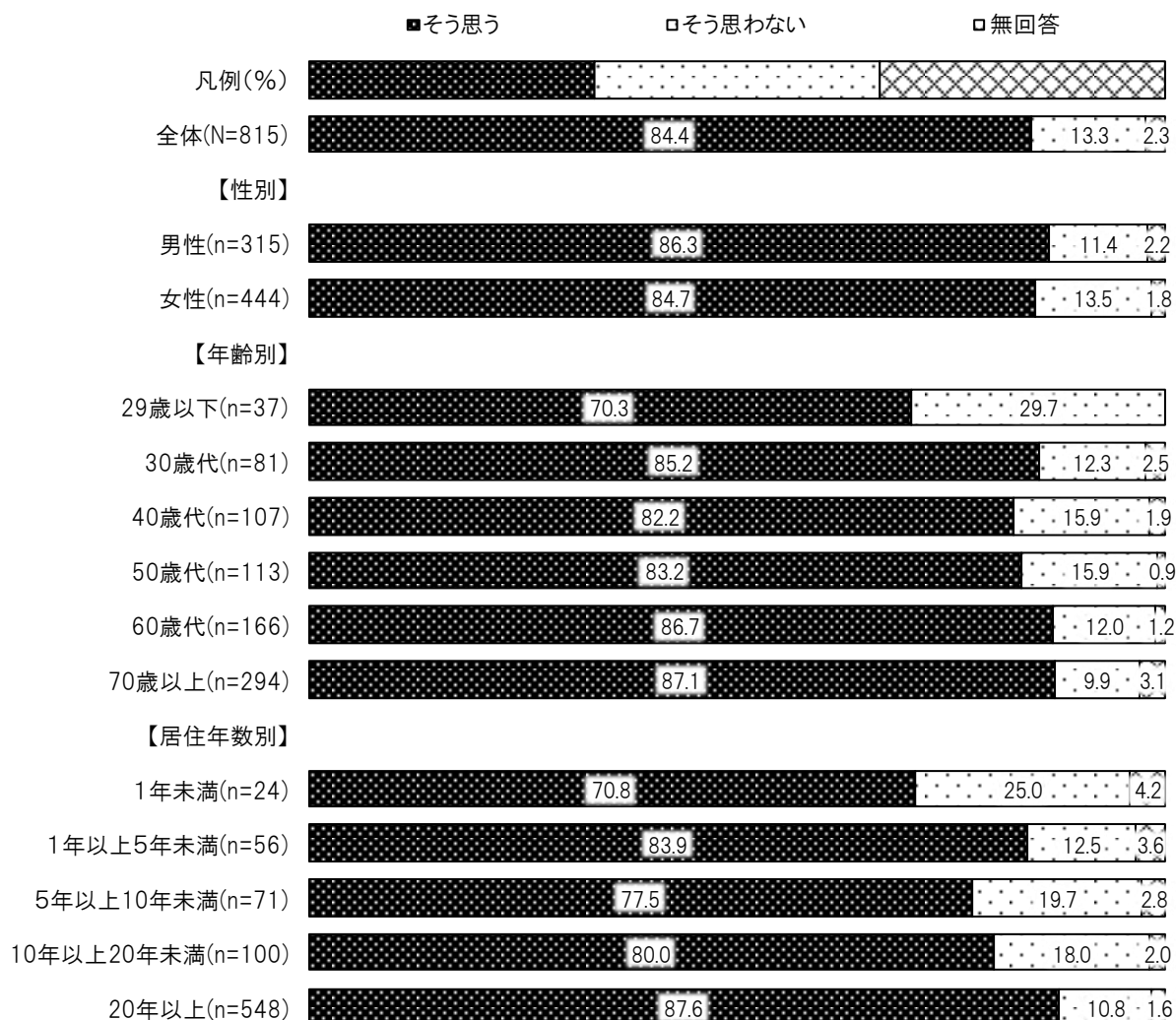
2. 瀬戸内市での永住意向

(2) あなたは、今後も瀬戸内市に住み続けたいと思いますか

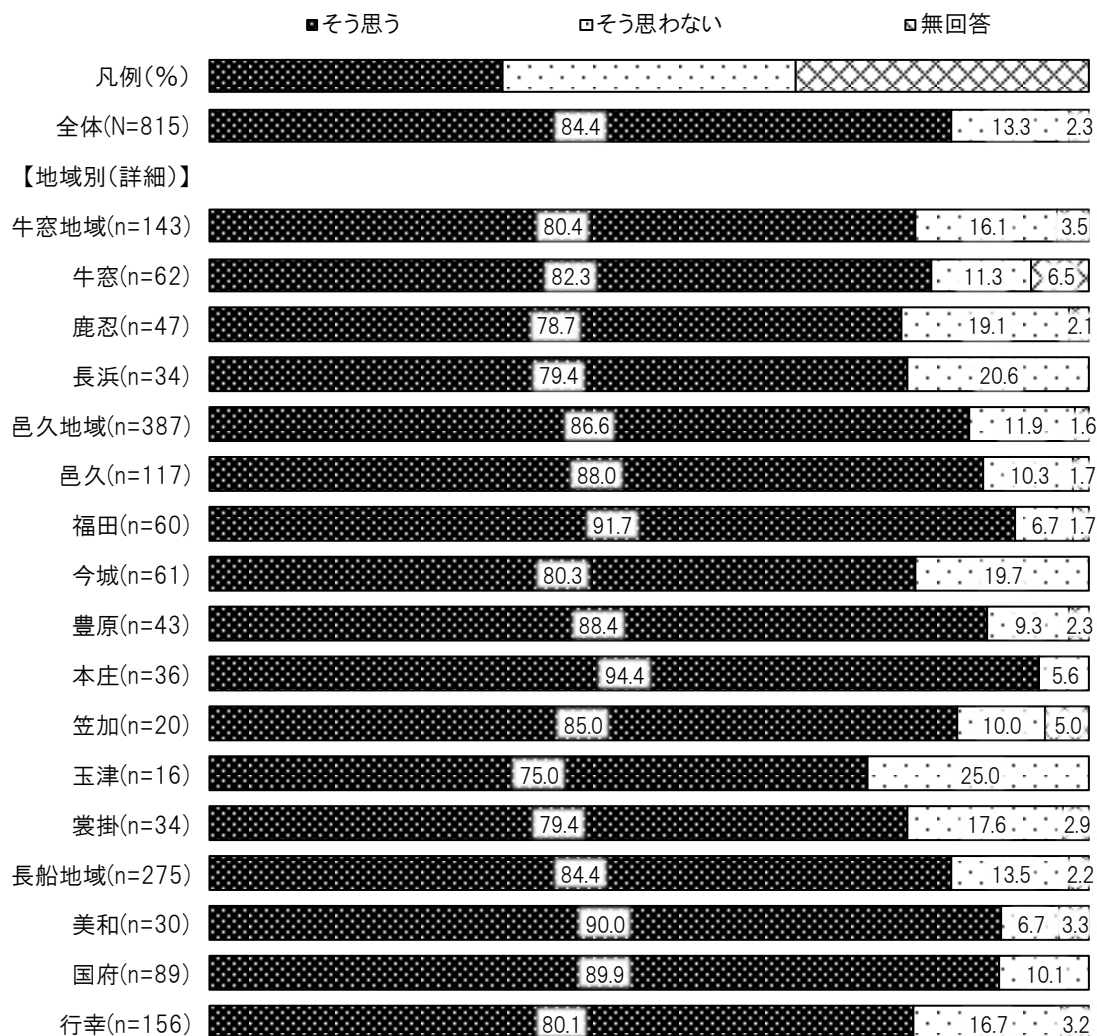
瀬戸内市での永住意向については、「そう思う」が84.4%、「そう思わない」が13.3%であった。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では、29歳以下で「そう思わない」の割合が約3割を占め高くなっている。

居住年数別では、おおむね年数が長くなるほど「そう思う」の割合が増える傾向にある。



地域別でみると、「そう思う」は本庄などで高く、「そう思わない」は玉津などで高くなっている。



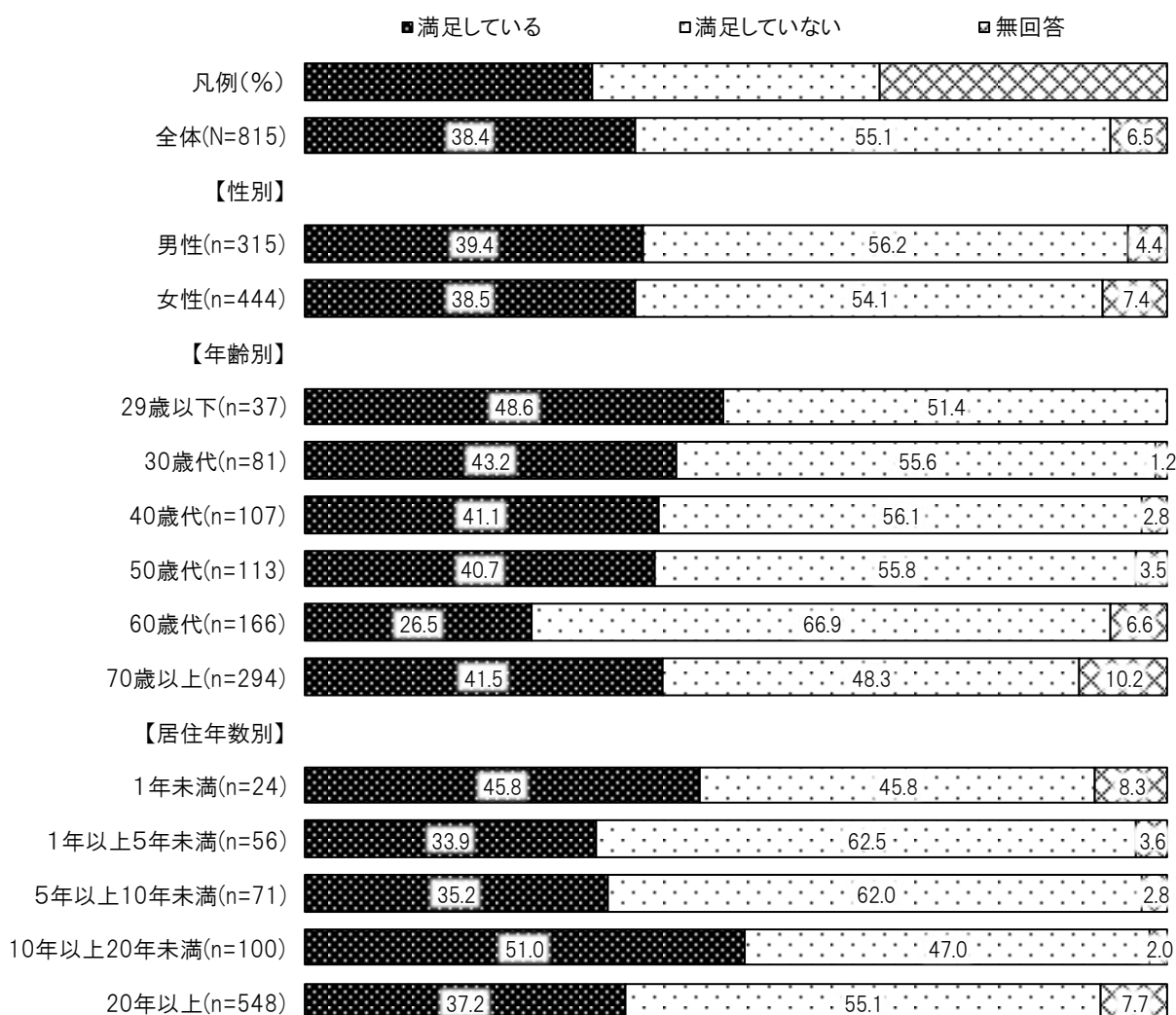
3. 市役所が行うまちづくりの取り組みへの満足感

(3) あなたは、市役所が行うまちづくりの取り組みについて満足していますか

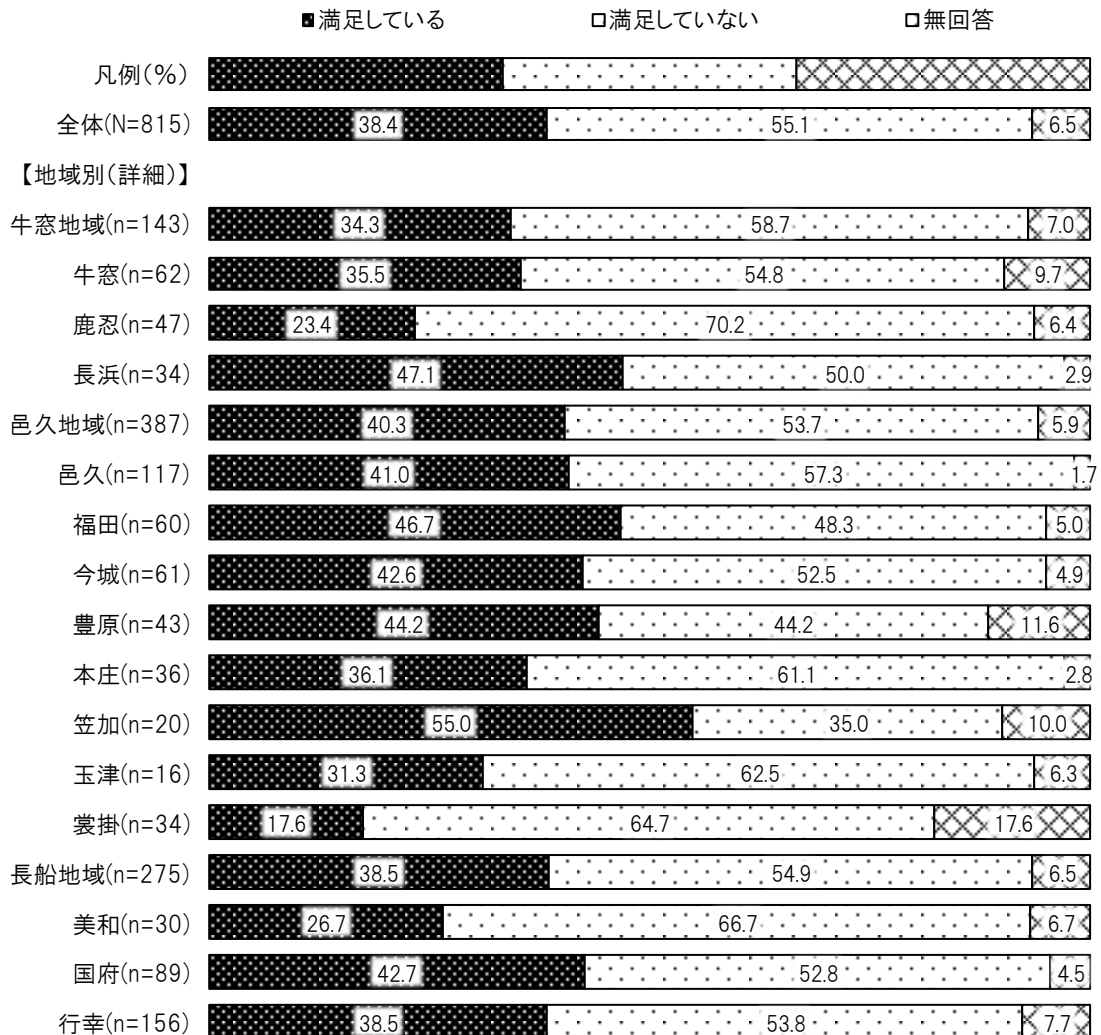
市役所が行うまちづくりの取り組みへの満足感については、「満足している」が38.4%、「満足していない」が55.1%であった。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では、60歳代で「満足していない」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

居住年数別では、1年未満や10年以上20年未満で「満足している」の割合がそれぞれ高くなっている。

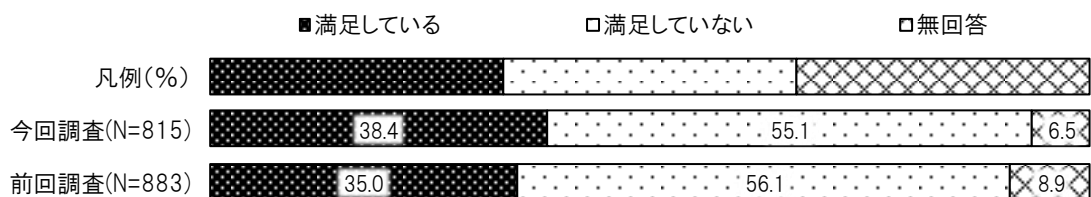


地域別でみると、「満足している」は笠加で高く、「満足していない」は鹿忍、裳掛、美和などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ「満足している」がやや増加した。



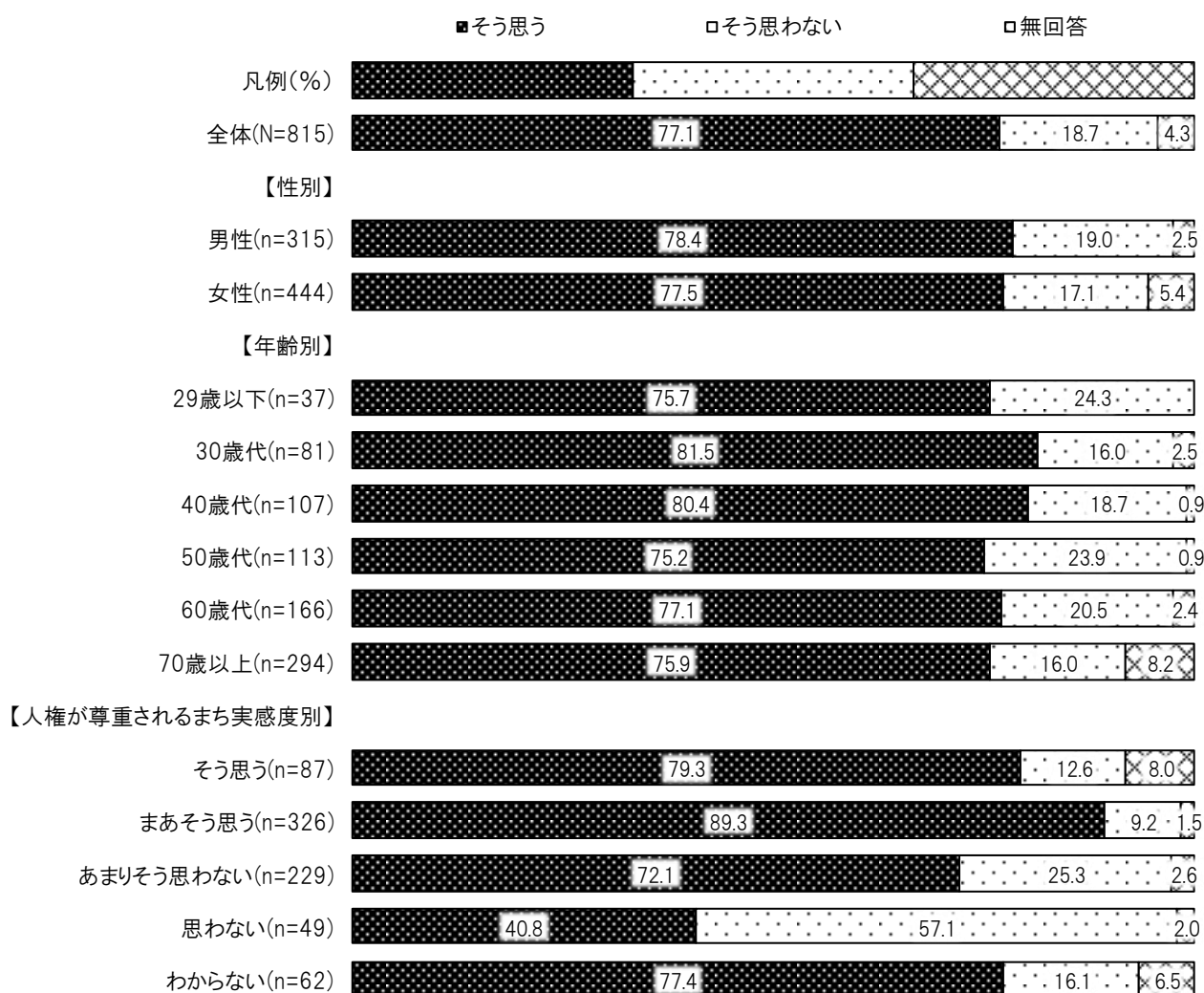
4. 人権が守られていることについて

(4) あなたは、ご自身の人権が守られていると思いますか

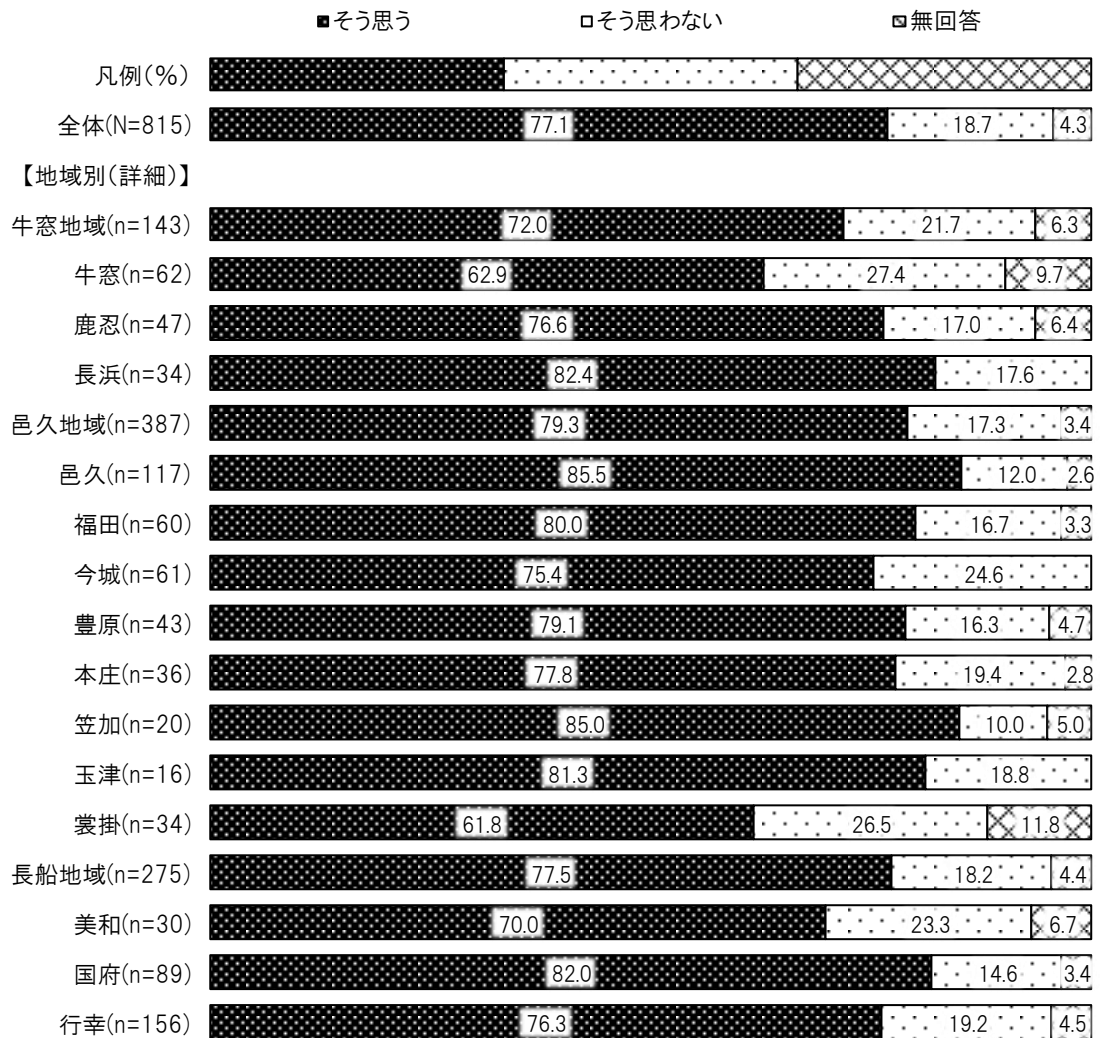
人権が守られていることについては、「そう思う」が77.1%、「そう思わない」が18.7%であった。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では、29歳以下や50歳代で「そう思わない」の割合がやや高くなっている。

人権が尊重されるまち実感度別では、実感がない層で人権擁護意識が約4割と低くなっている。

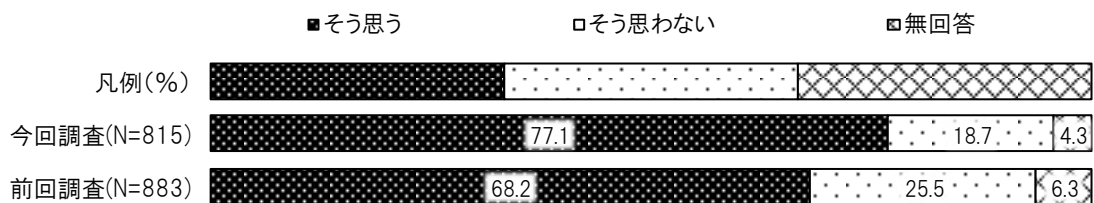


地域別でみると、「そう思う」は邑久、笠加などで高く、「そう思わない」は牛窓、裳掛などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「そう思う」が大きく増加した。



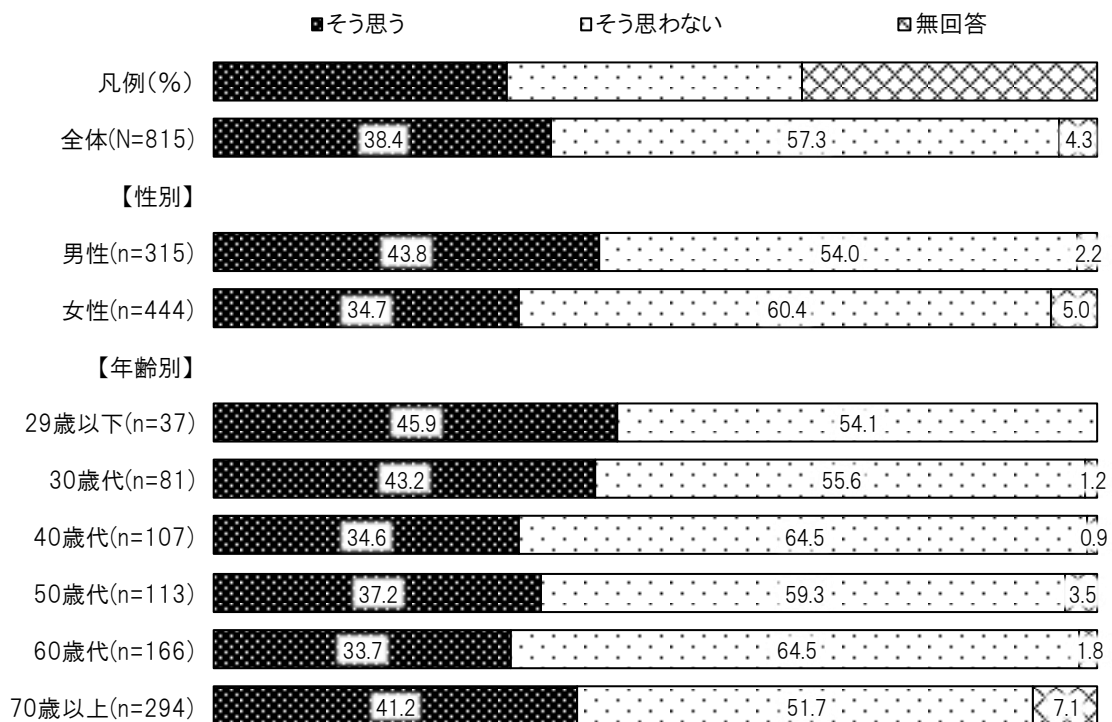
5. 慣習やしきたりにおける男女平等意識

(5) あなたは、慣習やしきたりで男女が平等になっていると思いますか

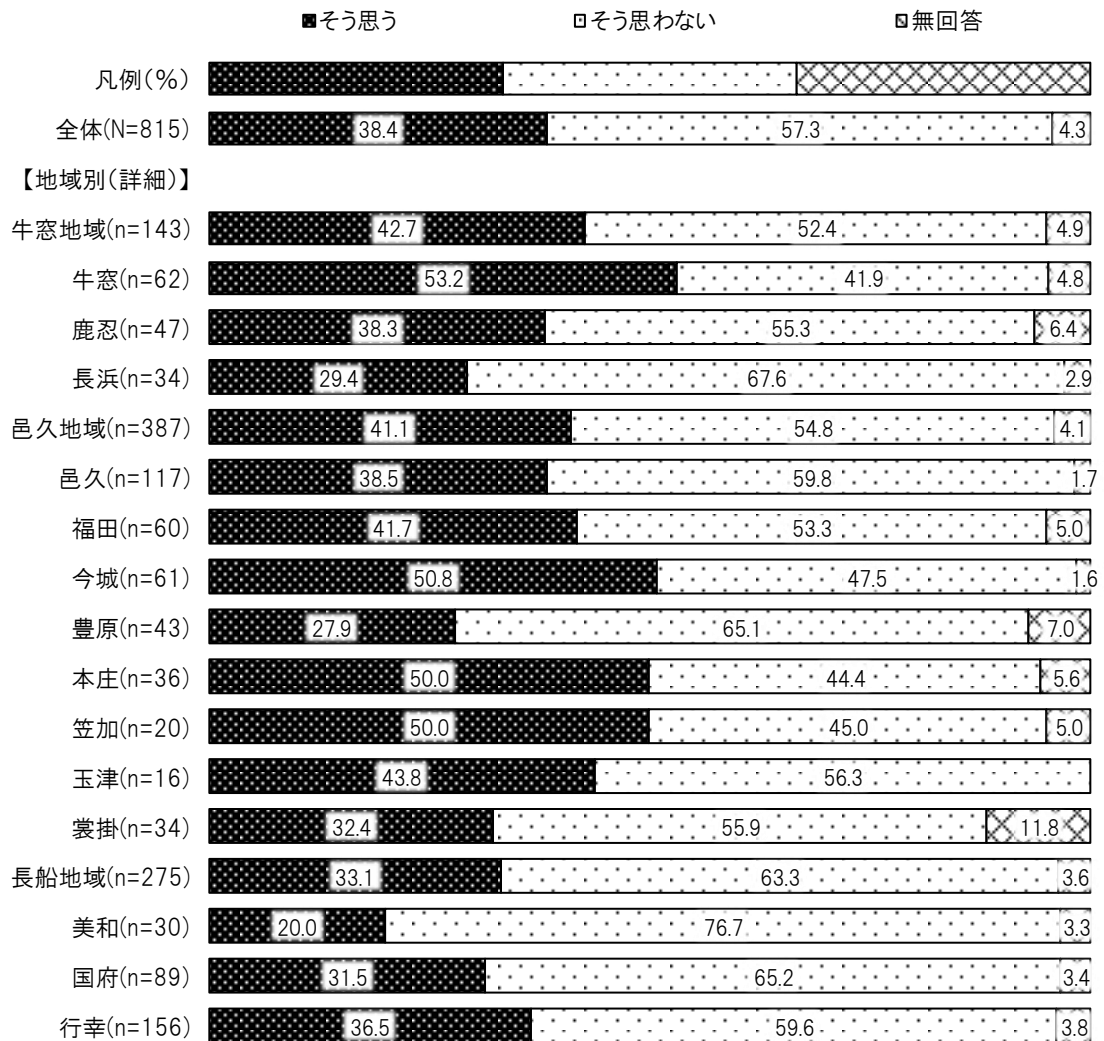
慣習やしきたりにおける男女平等意識については、「そう思う」が38.4%、「そう思わない」が57.3%であった。

性別では、男性は「そう思う」が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「そう思わない」が高くなっている。

年齢別では、40歳代や60歳代で「そう思わない」の割合がそれぞれ高くなっている。



地域別でみると、「そう思う」は牛窓、今城、本庄、笠加などで高く、「そう思わない」は長浜、美和などで高くなっている。



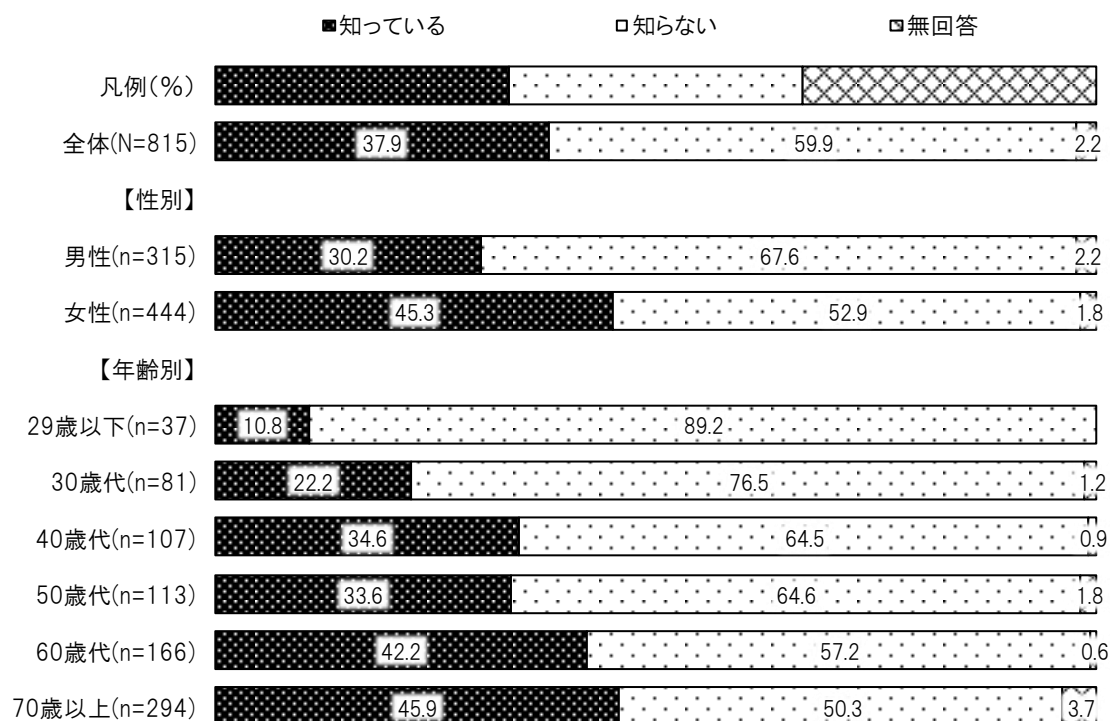
6. 「なやみごと相談」窓口認知状況

(6) あなたは、人権問題について相談できる「なやみごと相談」の窓口を知っていますか

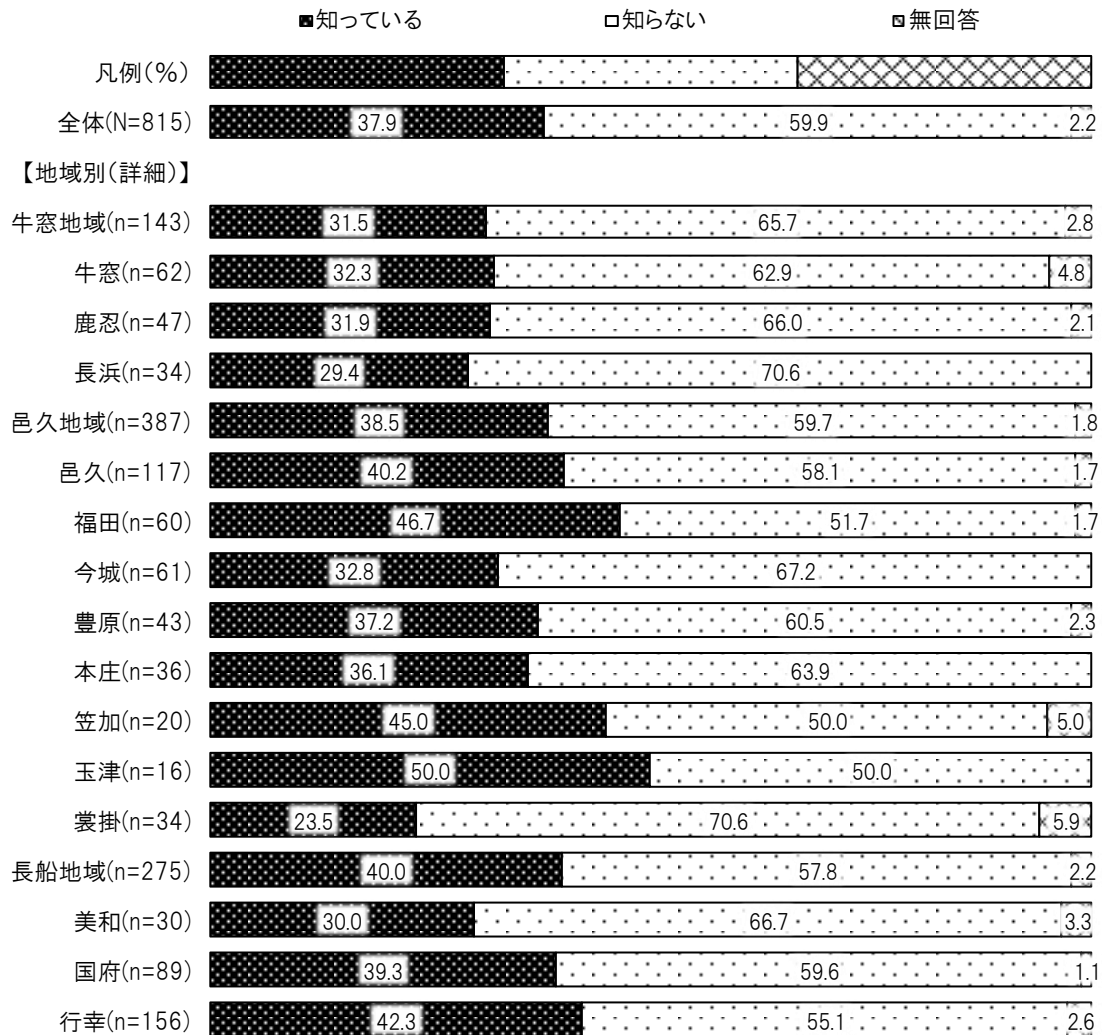
「なやみごと相談」窓口認知状況については、「知っている」が37.9%、「知らない」が59.9%であった。

性別では、女性は「知っている」が男性を大きく上回っており、男性は女性に比べ「知らない」が高くなっている。

年齢別では、おおむね年齢が上がるほど「知っている」の割合が増える傾向にある。一方、29歳以下では「知らない」が約9割を占めている。

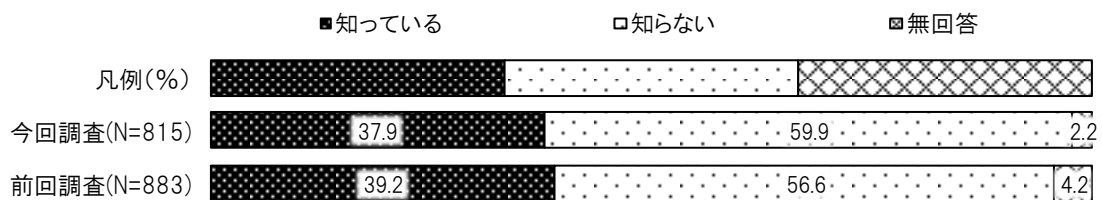


地域別でみると、「知っている」は福田、笠加、玉津などで高く、「知らない」は長浜、裳掛などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「知らない」がやや増加した。



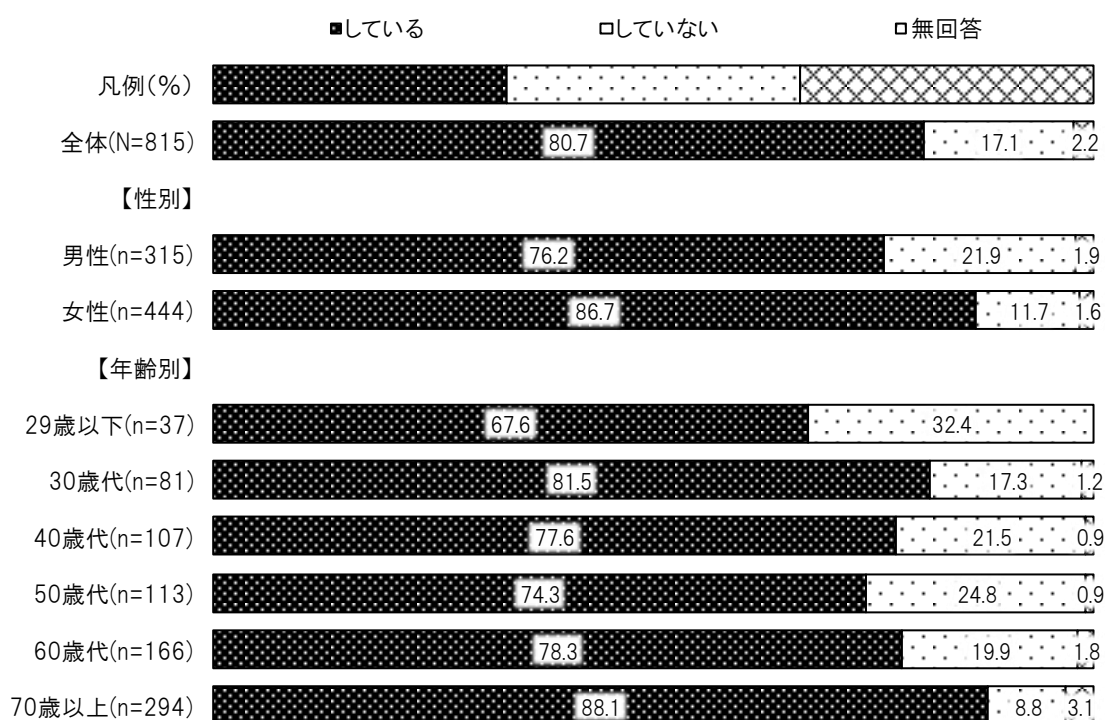
7. 近所の子どもに会ったときのあいさつや声かけについて

(7) あなたは、近所の子どもに会ったときに、あいさつや声かけをしていますか

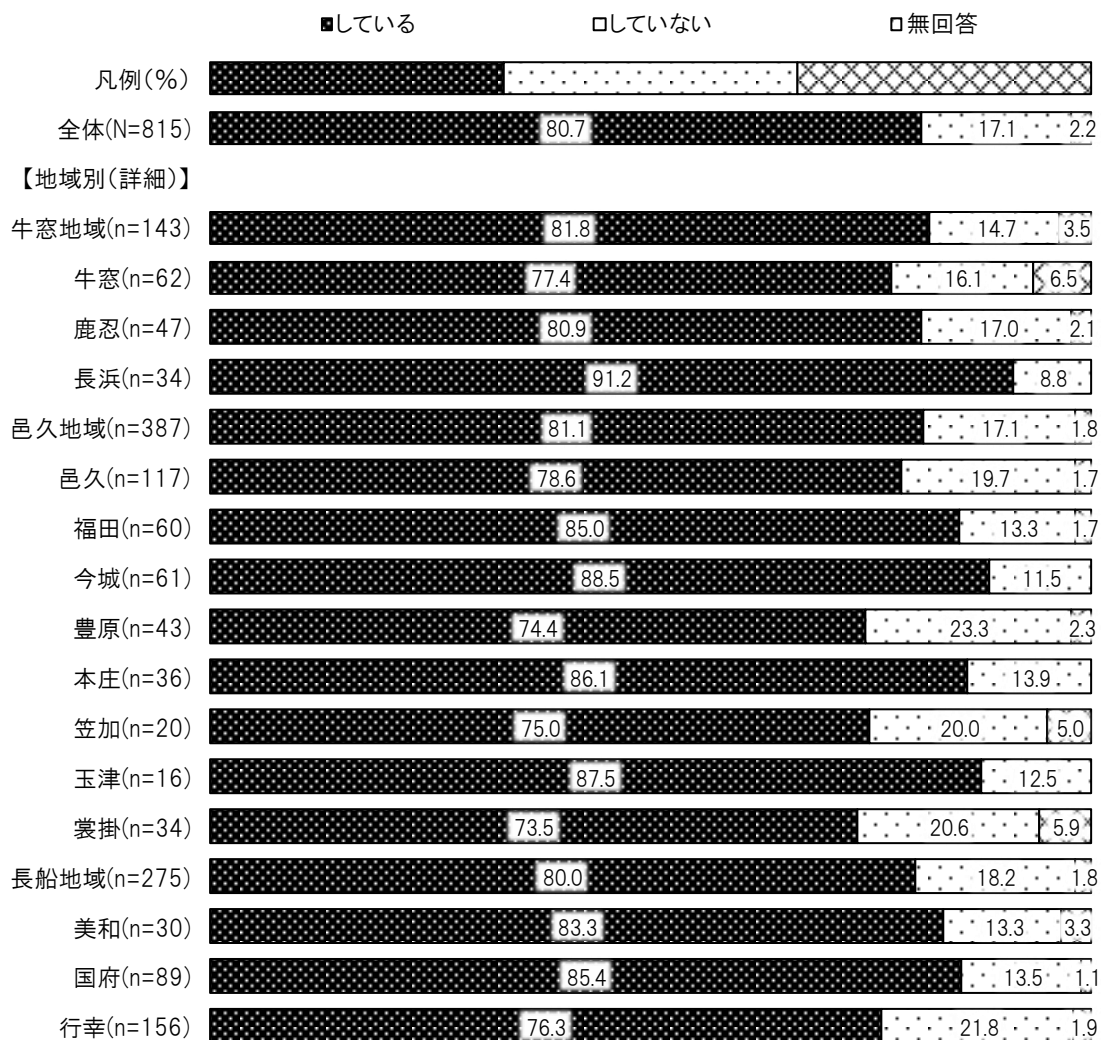
近所の子どもに会ったときのあいさつや声かけについては、「している」が80.7%、「していない」が17.1%であった。

性別では、女性は「している」が男性を大きく上回っており、男性は女性に比べ「していない」の割合が高くなっている。

年齢別では、70歳以上で「している」、29歳以下で「していない」の割合がそれぞれ高くなっている。

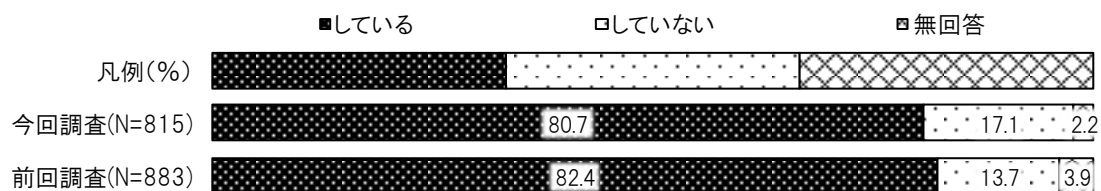


地域別でみると、「している」は長浜、今城などで高く、「していない」は豊原、行幸などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「していない」がやや増加した。



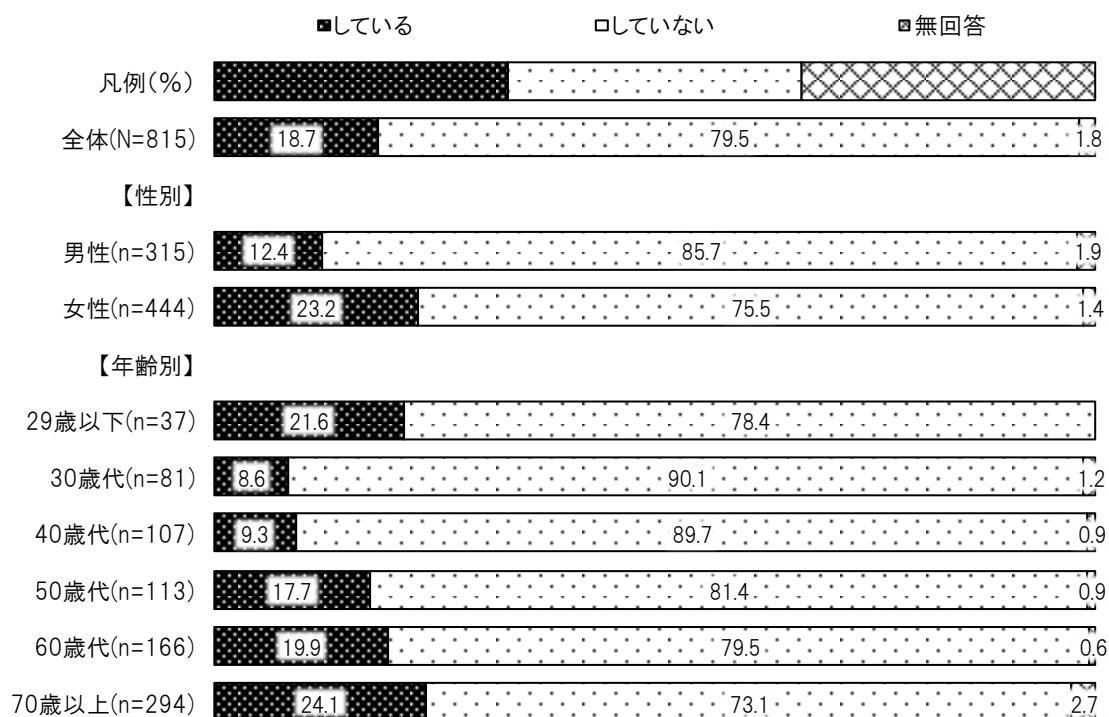
8. 芸術文化活動状況

(8) あなたは、芸術文化活動をしていますか

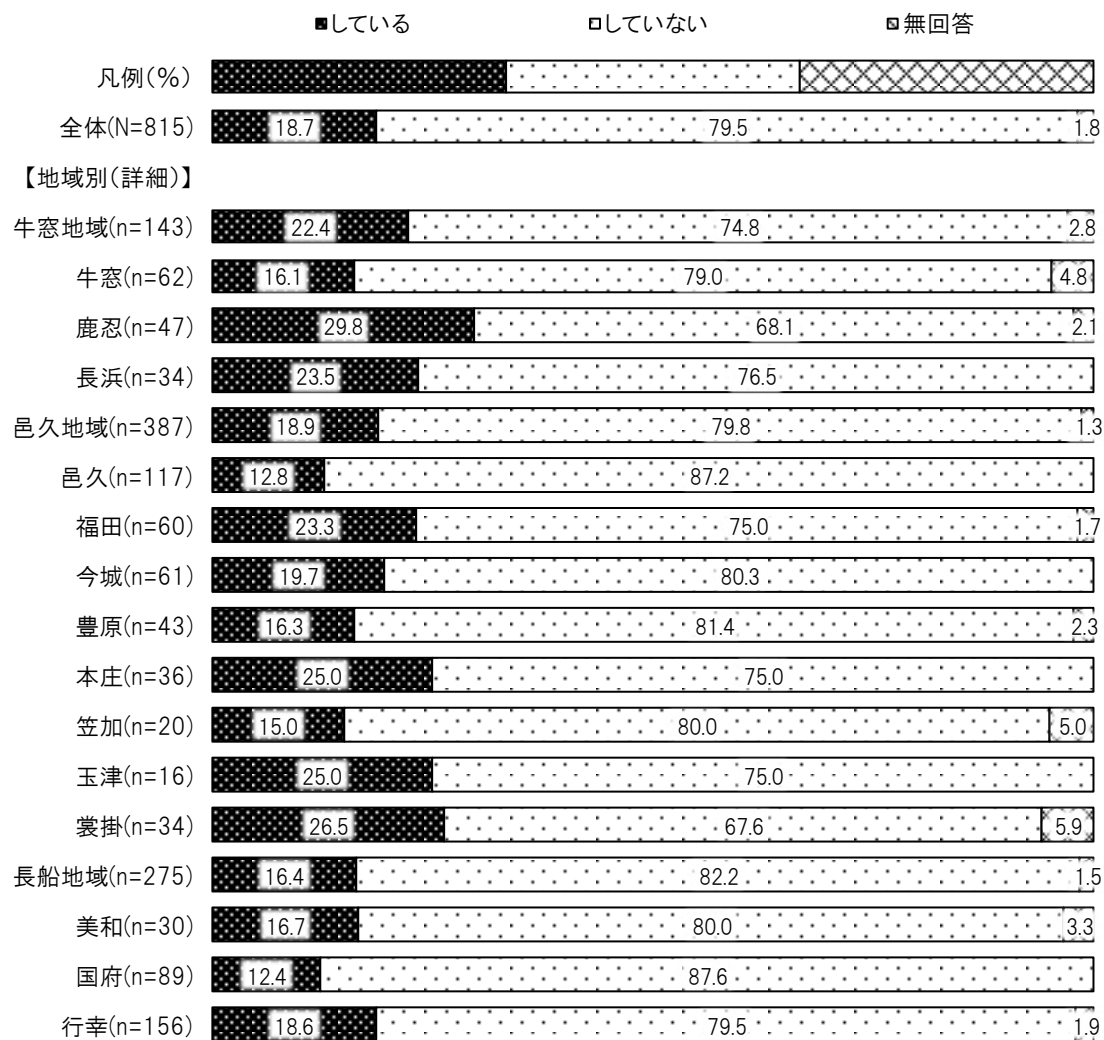
芸術文化活動状況については、「している」が18.7%、「していない」が79.5%であった。

性別では、女性は「している」が男性を大きく上回っており、男性は女性に比べ「していない」の割合が高くなっている。

年齢別では、30～40歳代で「していない」の割合が高くなっている。

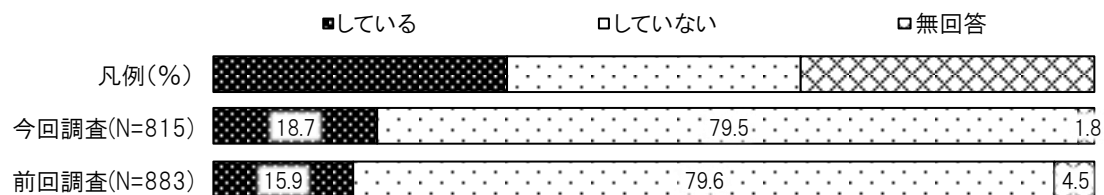


地域別でみると、「している」は鹿忍、裳掛などで高く、「していない」は邑久、国府などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「している」がやや増加した。



9. 生涯学習講座などへの参加状況

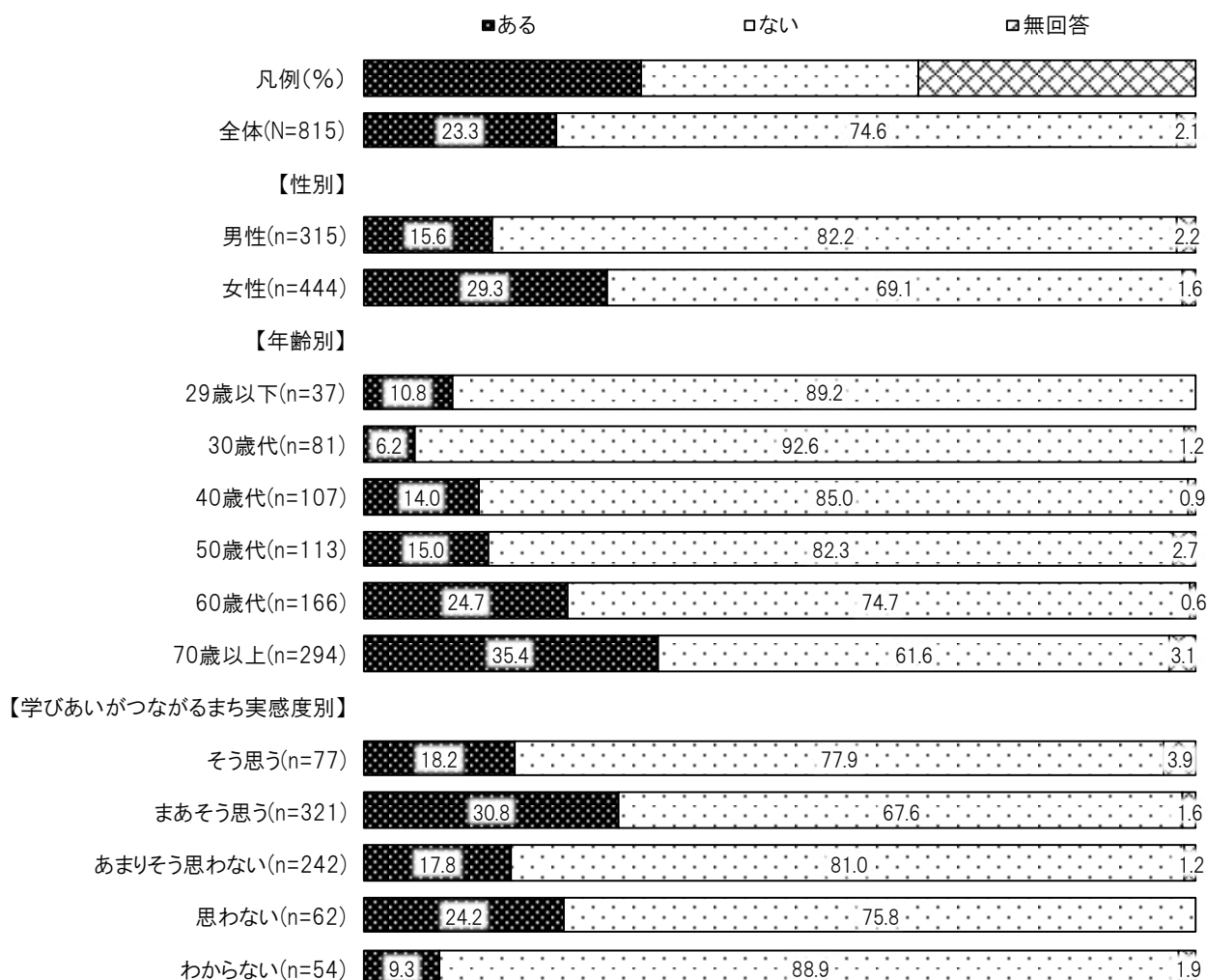
(9) あなたは、生涯学習講座などの活動に参加したことがありますか

生涯学習講座などへの参加状況については、「ある」が23.3%、「ない」が74.6%であった。

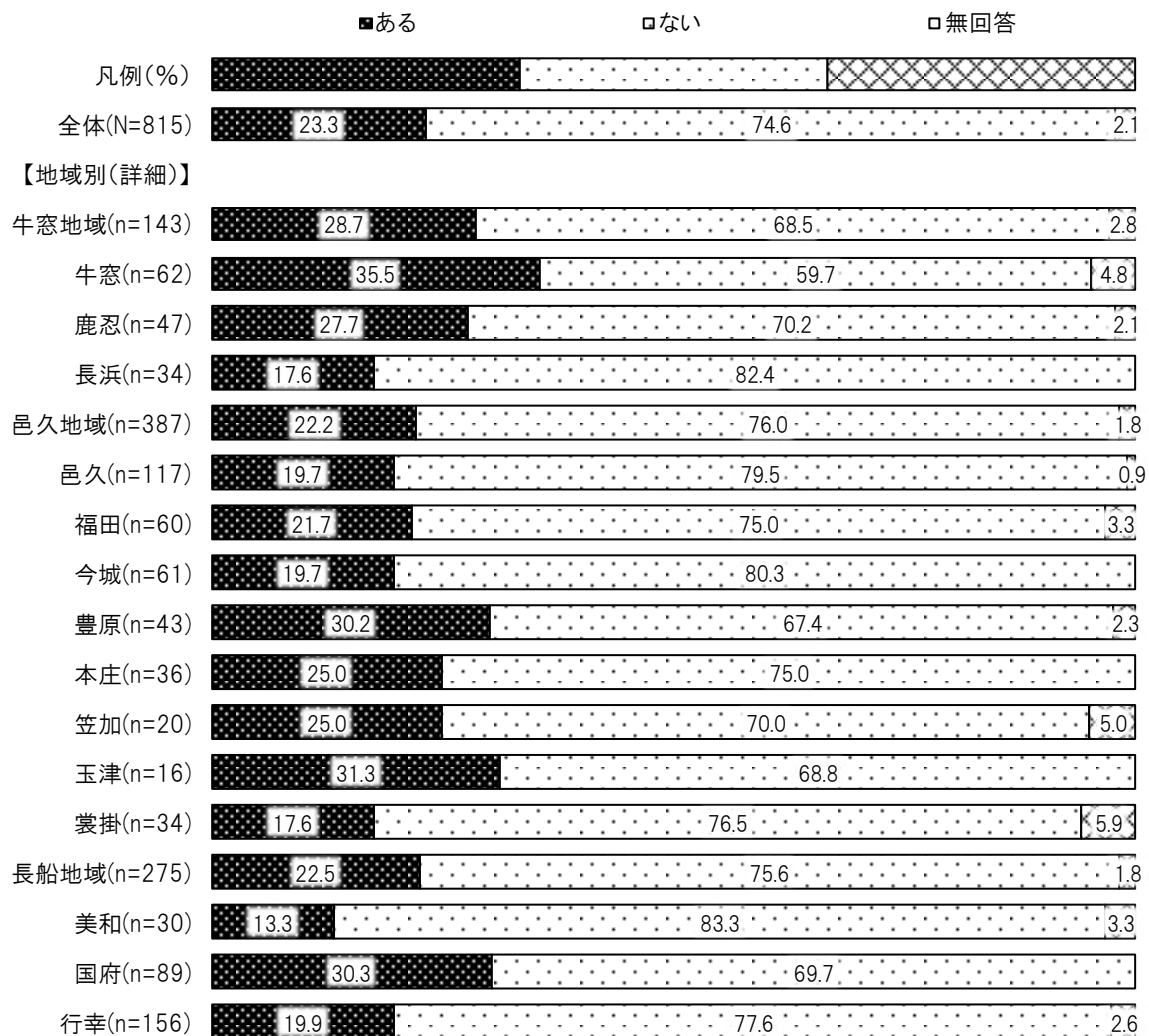
性別では、女性は「ある」が男性を大きく上回っており、男性は女性に比べ「ない」の割合が高くなっている。

年齢別では、おおむね年齢が上がるほど「ある」の割合が増える傾向にある。一方、30歳代以下では約9割が「ない」と回答している。

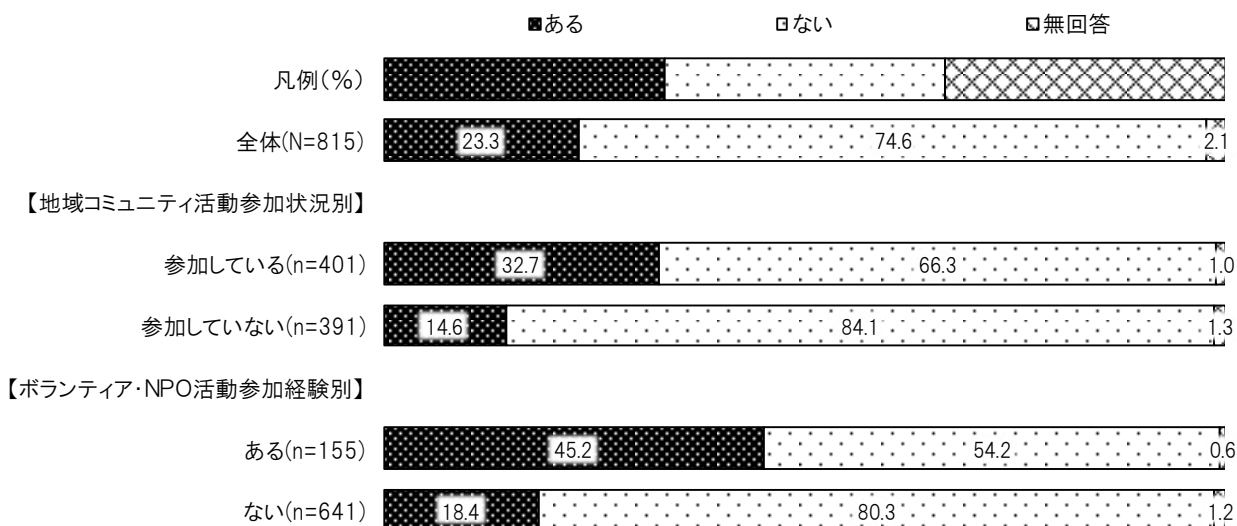
学びあいがつながるまち実感度別では、わからないと回答した層で「ない」の割合が高くなっている。



地域別でみると、「ある」は牛窓、玉津などで高く、「ない」は長浜、美和などで高くなっている。

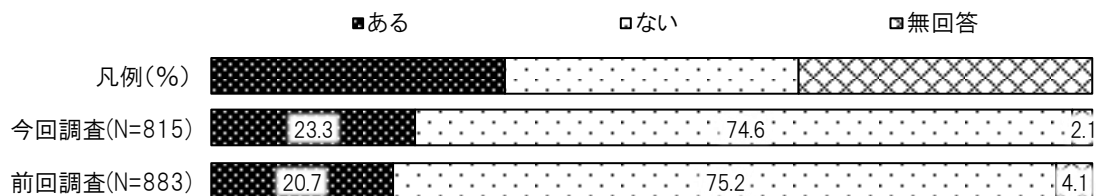


地域コミュニティ活動に参加している層やボランティア・NPO活動に参加経験のある層で、「ある」の割合がそれぞれ高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「ある」がやや増加した。



10. 地域に貢献する活動状況

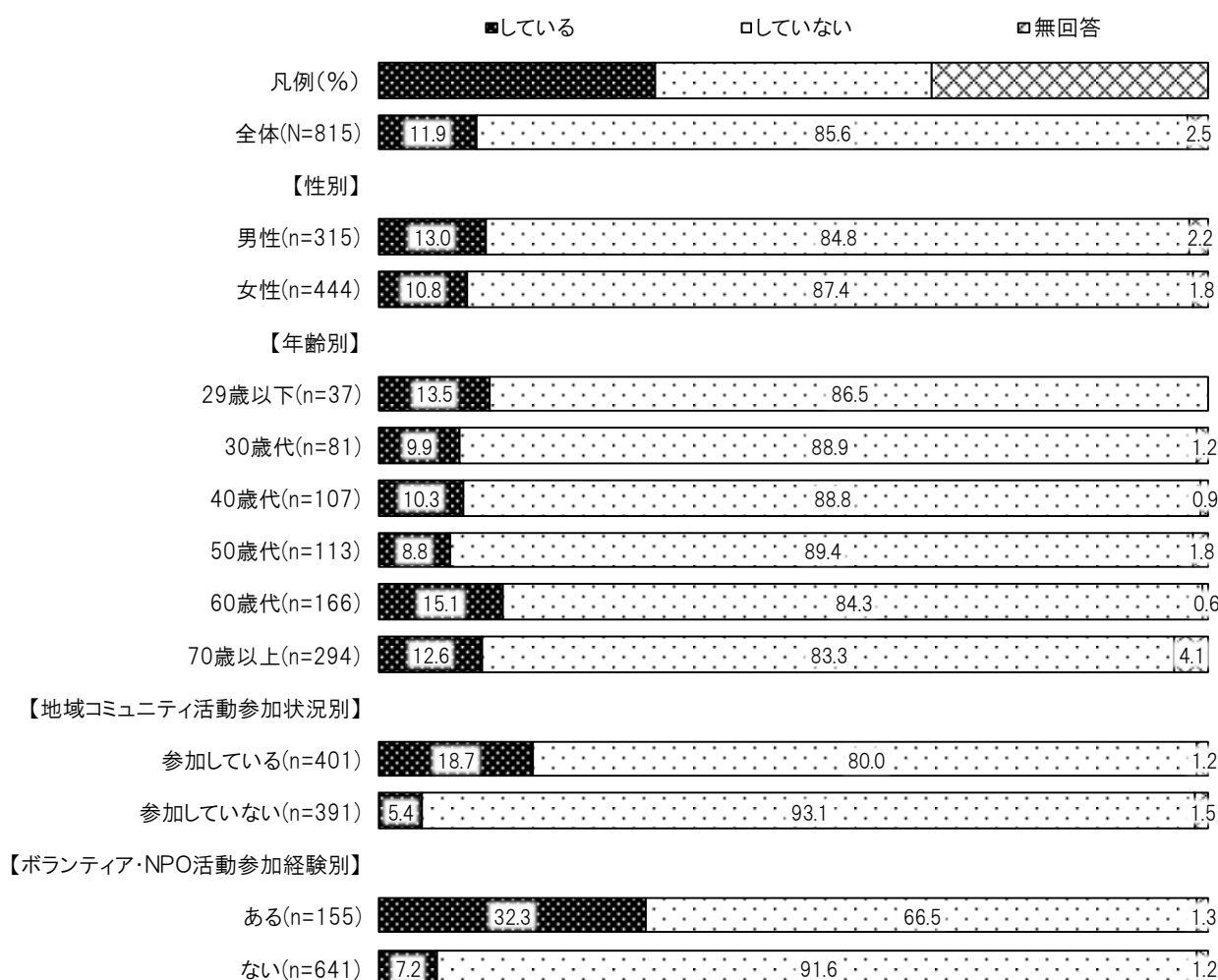
(10) あなたは、学習やスポーツの指導など、地域に貢献する活動をしていますか

地域に貢献する活動状況については、「している」が11.9%、「していない」が85.6%であった。

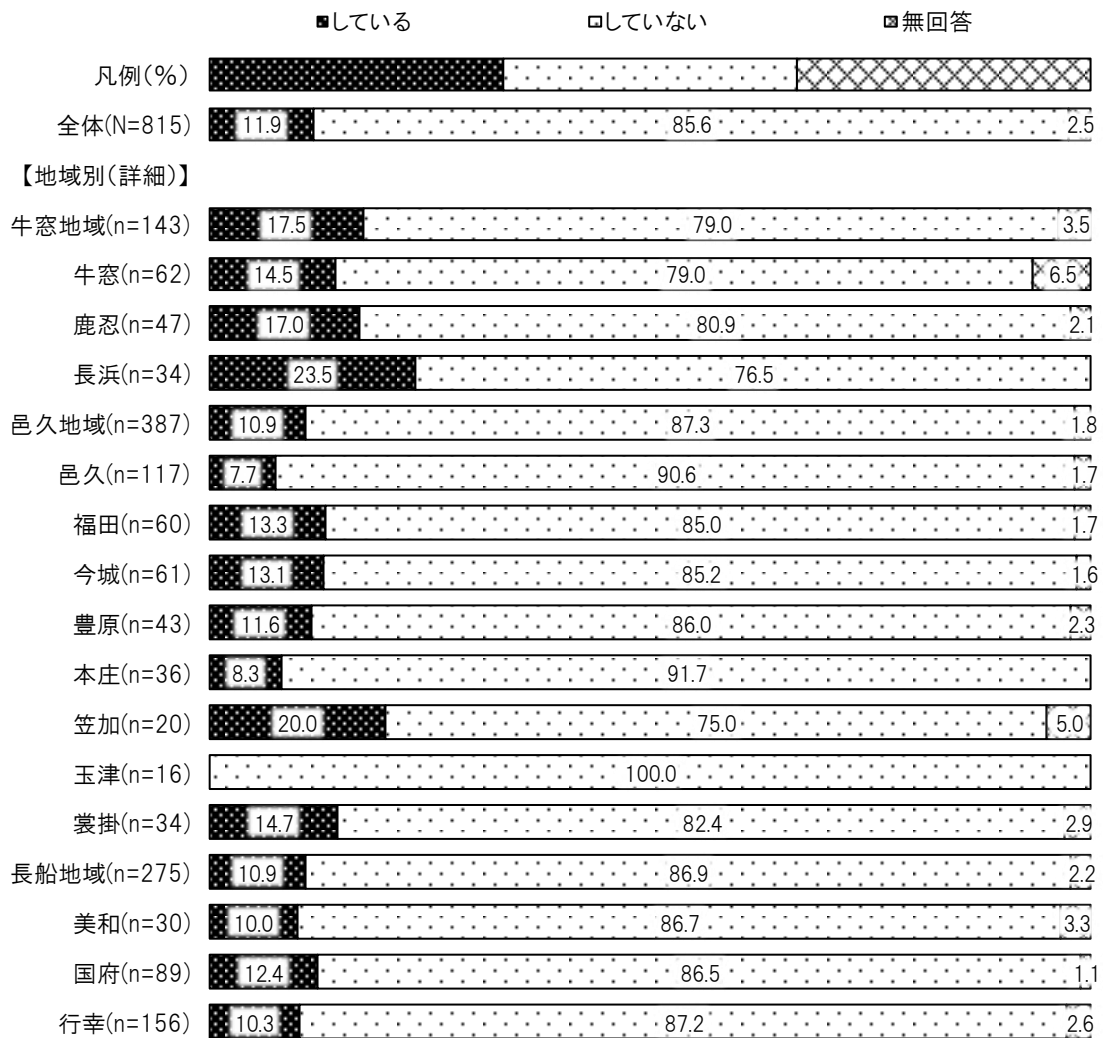
性別では、男性は女性に比べ「している」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、29歳以下と60歳以上の年齢層で「している」の割合がやや高くなっている。

地域コミュニティ活動に参加している層やボランティア・NPO活動に参加経験のある層で、「している」がそれぞれ高くなっている。

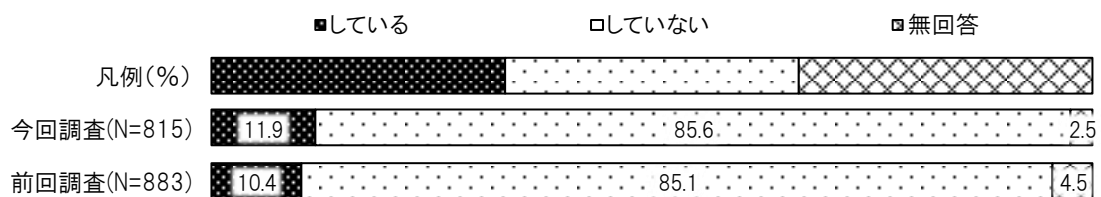


地域別でみると、「している」は長浜、笠加などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。

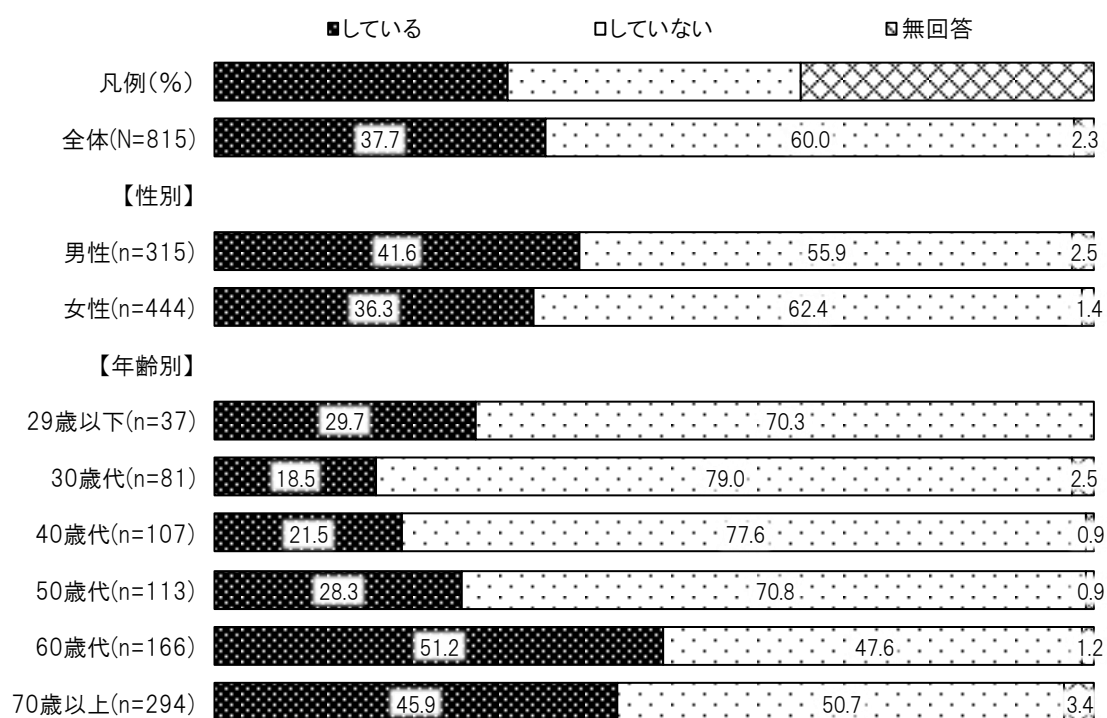


11. 運動継続状況

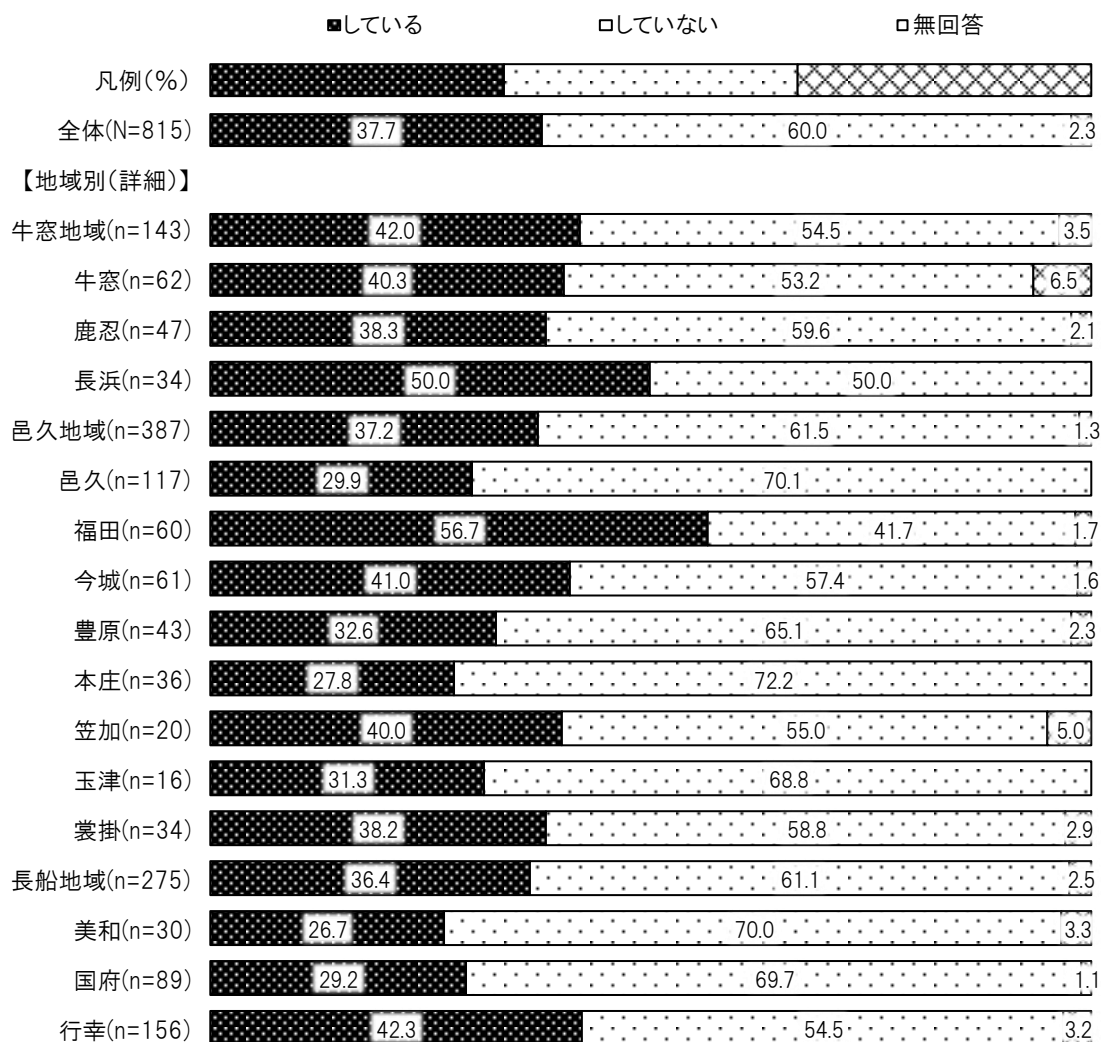
(11) あなたは、週に2回以上、1回30分以上の運動を1年以上継続していますか

運動継続状況については、「している」が37.7%、「していない」が60.0%であった。
性別では、男性は女性に比べ「している」の割合が高くなっている。

年齢別では、30～40歳代で「している」が約2割と低くなっており、60歳以上の年齢層では約半数が「している」と回答している。

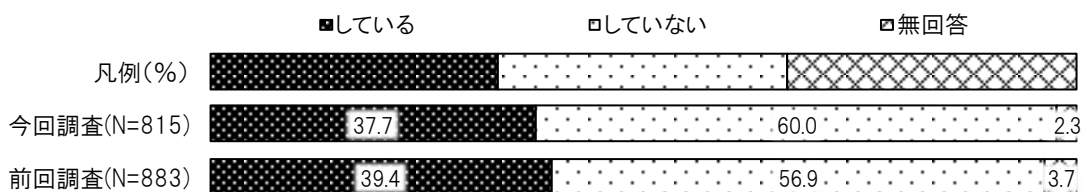


地域別でみると、「している」は長浜、福田などで高く、「していない」は邑久、本庄、美和などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「していない」がやや増加した。



12. 子育て情報の有益度について

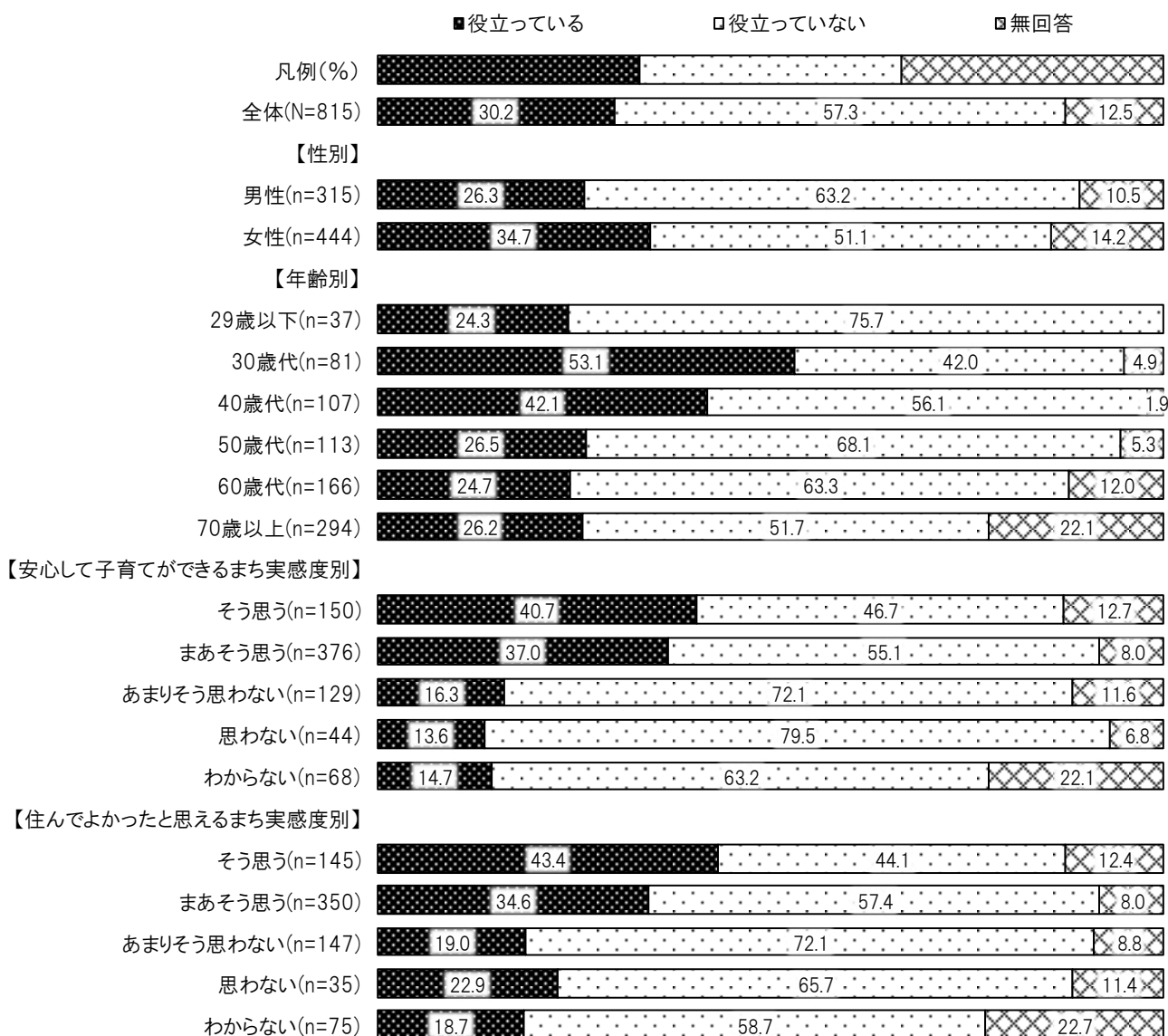
(12) あなたにとって、市が発信する子育て情報は役立っていますか

子育て情報の有益度については、「役立っている」が30.2%、「役立っていない」が57.3%であった。

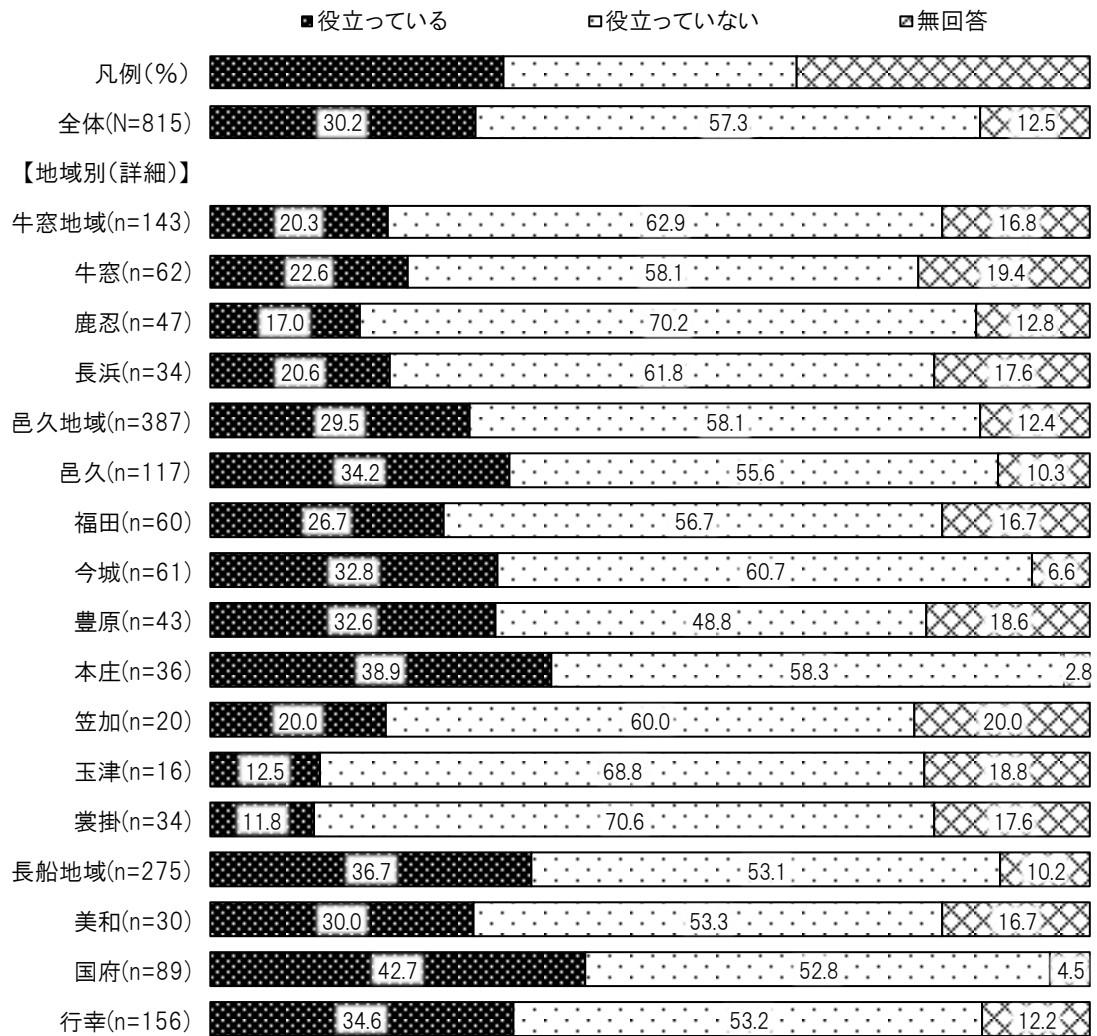
性別では、女性は男性に比べ「役立っている」の割合が高く、男性は「役立っていない」が女性を大きく上回っている。

年齢別では、30～40歳代で「役立っている」の割合が高くなっている。

安心して子育てができるまちや住んでよかったと思えるまちの実感度別では、実感度が高い層ほど「役立っている」の割合が高くなる傾向にある。

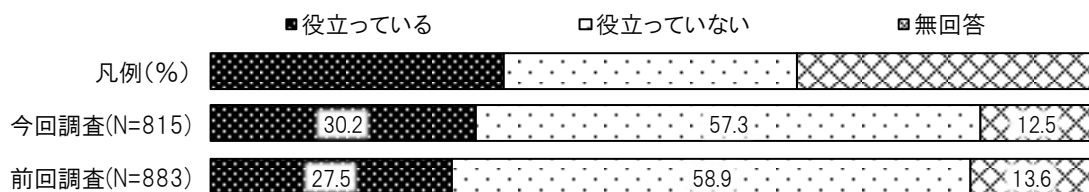


地域別でみると、「役立っている」は国府などで高く、「役立っていない」は鹿忍、玉津、裳掛などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「役立っている」がやや増加した。



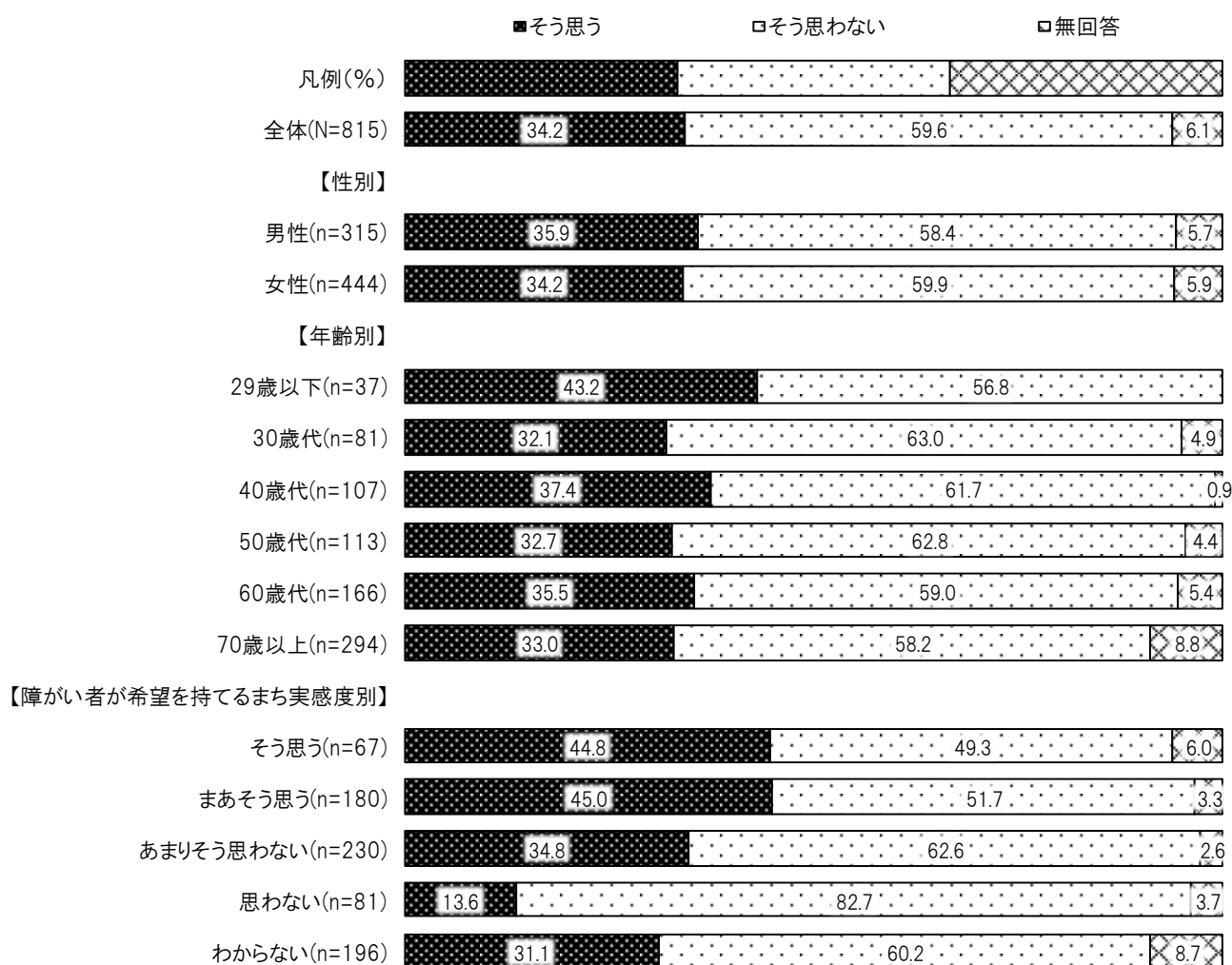
13. 「バリアフリー化」進行状況について

(13) あなたは、市内の公共施設や商業施設などで、「バリアフリー化」（障がい者や高齢者にとって不便な障がいを取り除く取り組み）が進んでいると思いますか

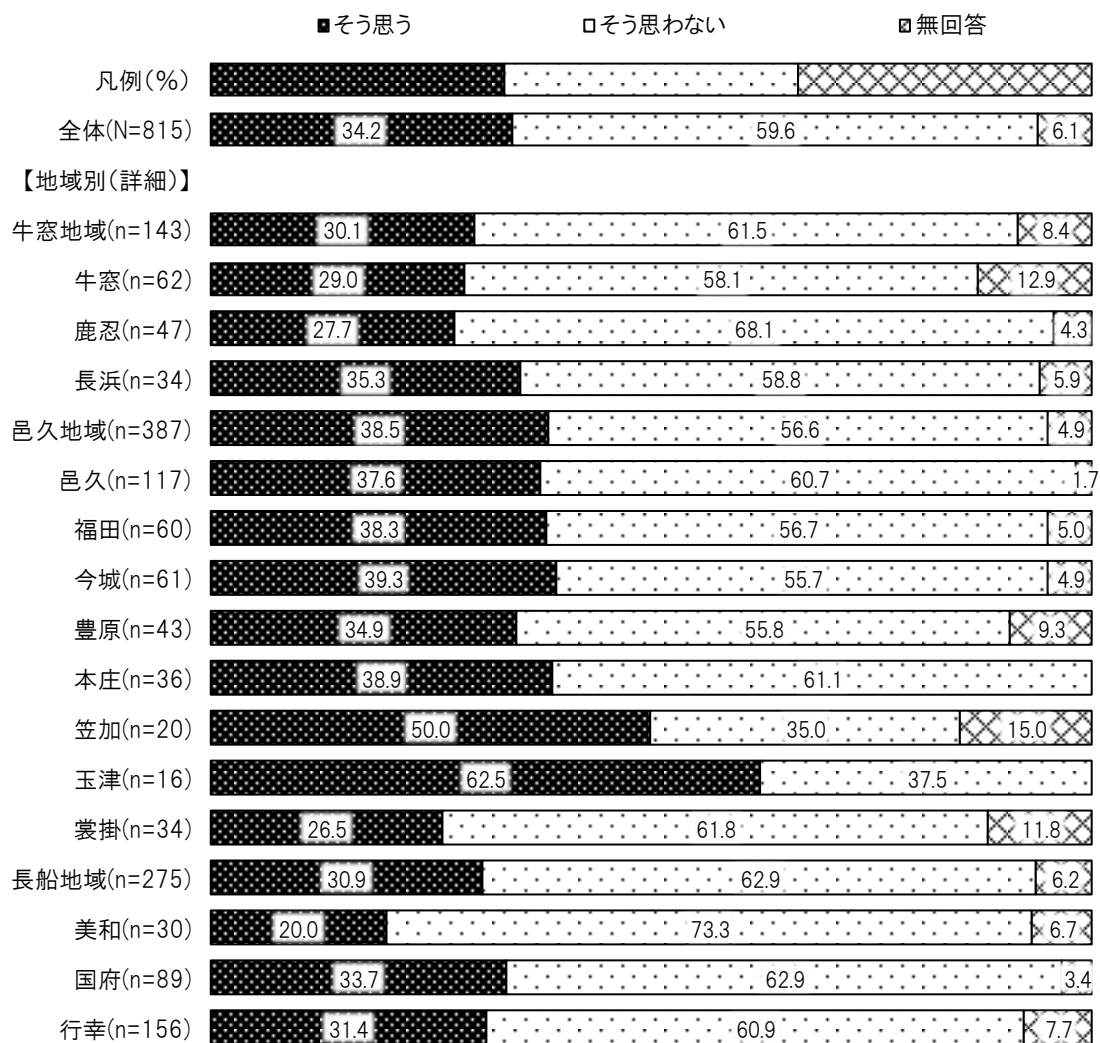
「バリアフリー化」進行状況については、「そう思う」が34.2%、「そう思わない」が59.6%であった。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では、29歳以下の年齢層で「そう思う」の割合が高くなっている。

障がい者が希望を持てるまち実感度別では、実感度の低い層の8割以上が「そう思わない」と回答している。

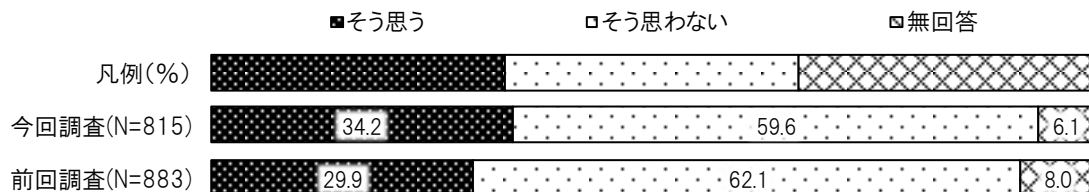


地域別でみると、「そう思う」は笠加、玉津で高く、「そう思わない」は鹿忍、美和などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ「そう思う」がやや増加した。



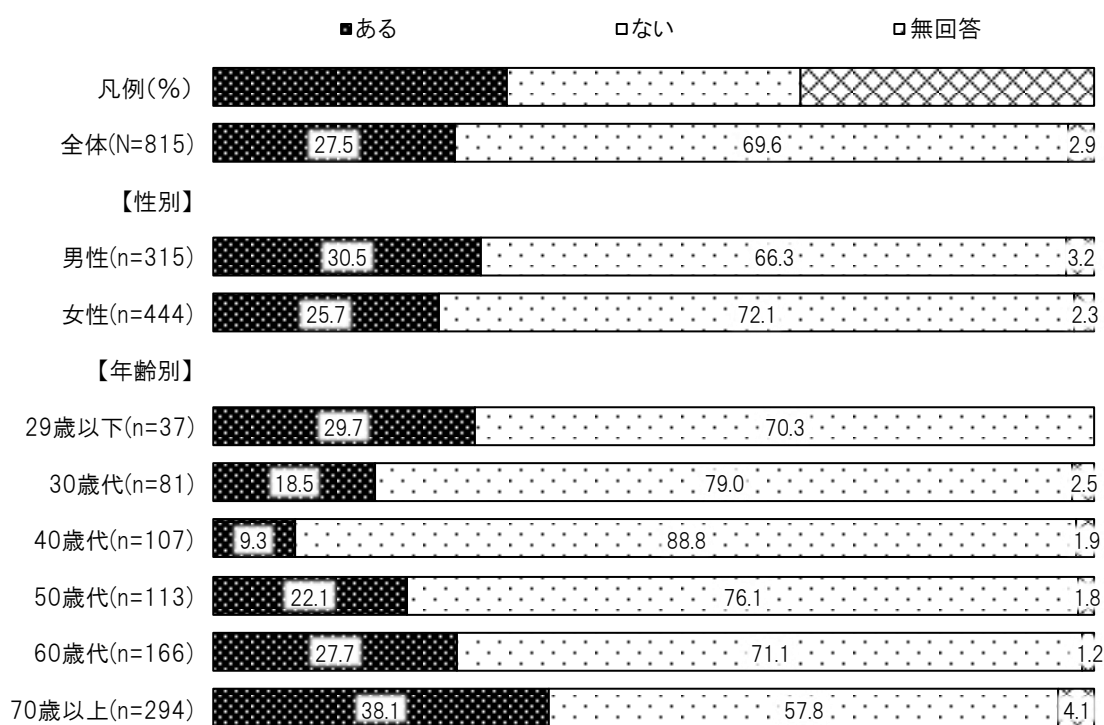
14. 日常生活に不自由を感じること

(14) あなたは、身体に障がいがあったり、体調が優れないなど、日常生活に不自由を感じることはありますか

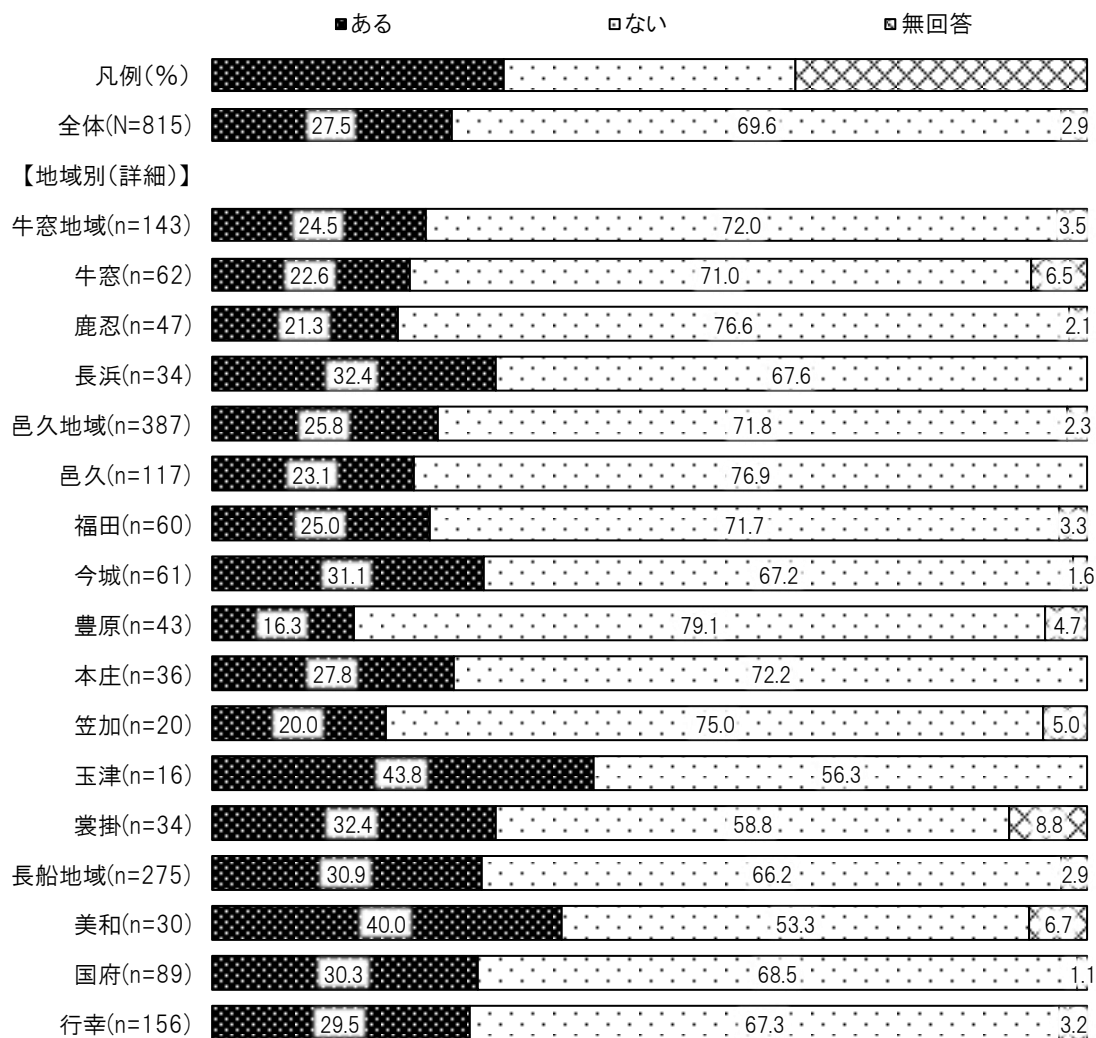
日常生活に不自由を感じることは、「ある」が27.5%、「ない」が69.6%であった。

性別では、男性は女性に比べ「ある」の割合が高く、女性は「ない」が男性を上回っている。

年齢別では、40歳代で「ない」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

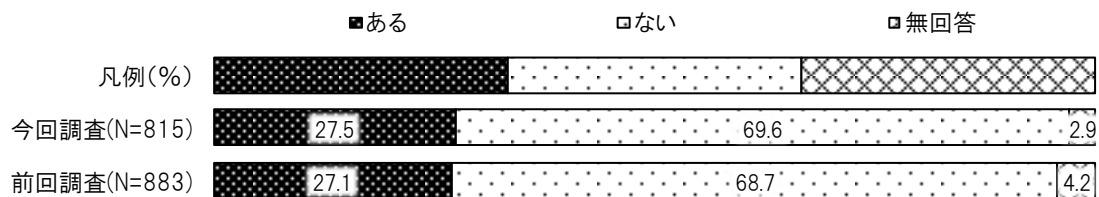


地域別でみると、「ある」は玉津、美和などで高く、「ない」は邑久、豊原などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。



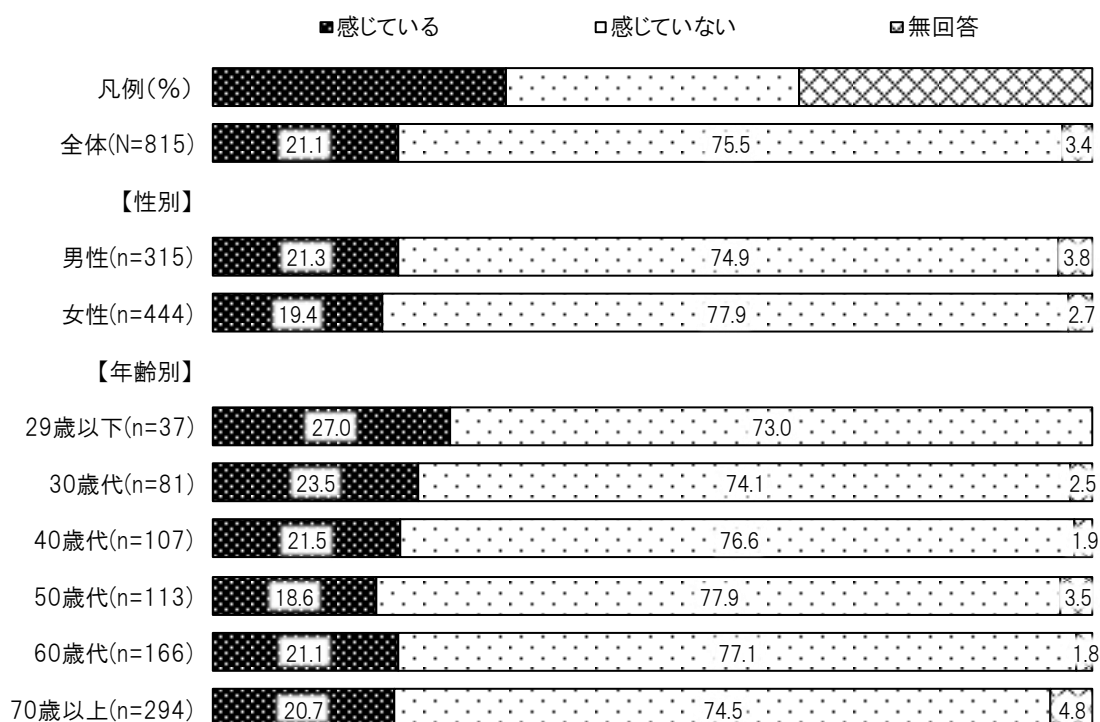
15. 経済的な理由による日常生活の困難さについて

(15) あなたは、経済的な理由で日常生活が困難だと感じていますか

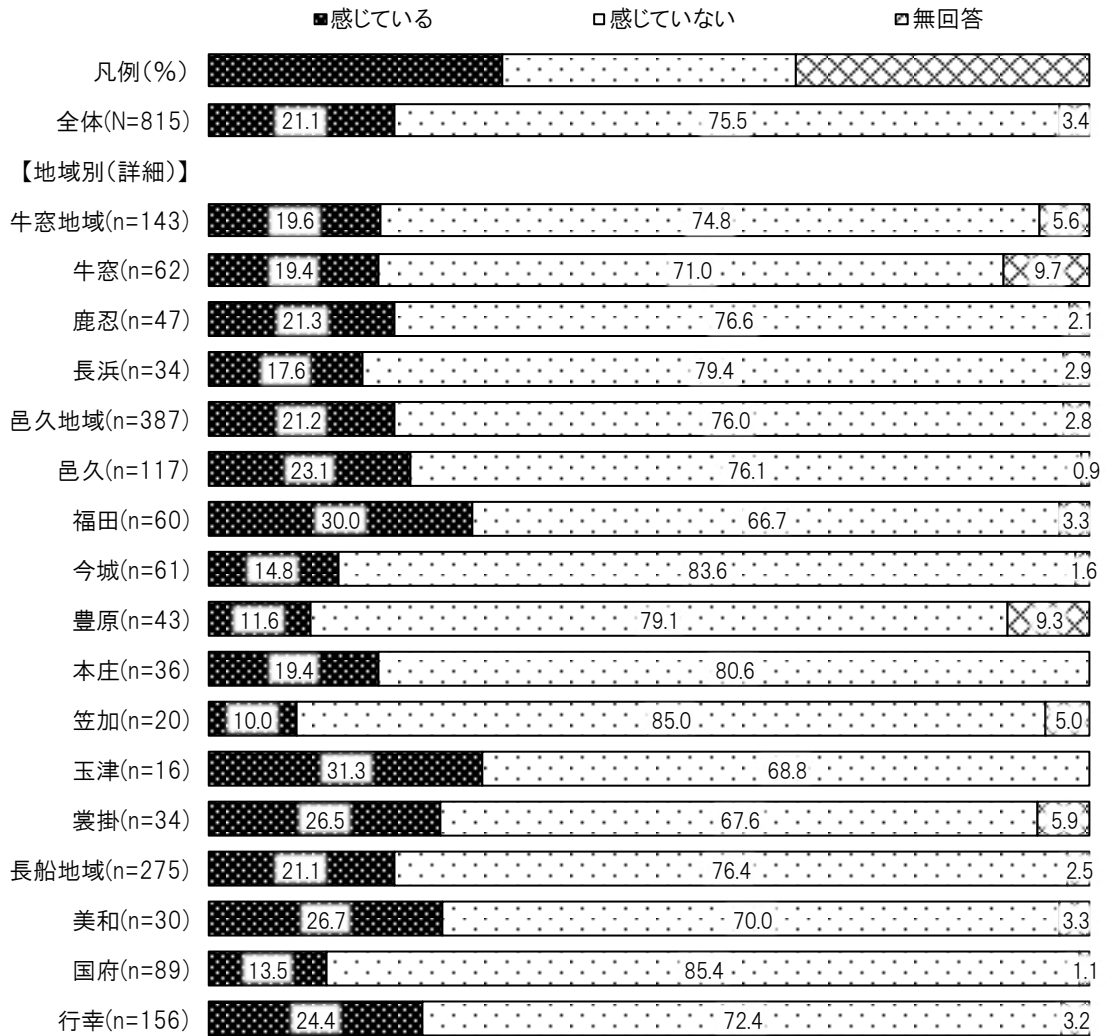
経済的な理由による日常生活の困難さについては、「感じている」が21.1%、「感じていない」が75.5%であった。

性別では、女性は男性に比べ「感じていない」の割合がやや高いものの、大きな差はみられない。

年齢別では、29歳以下で「感じている」が他の年齢層に比べてやや高くなっている。

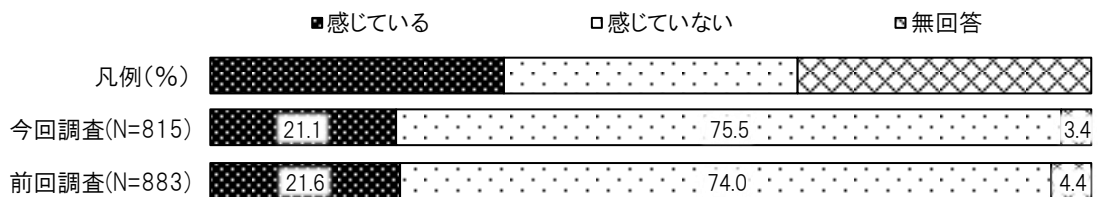


地域別でみると、福田、玉津などで「感じている」が高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。



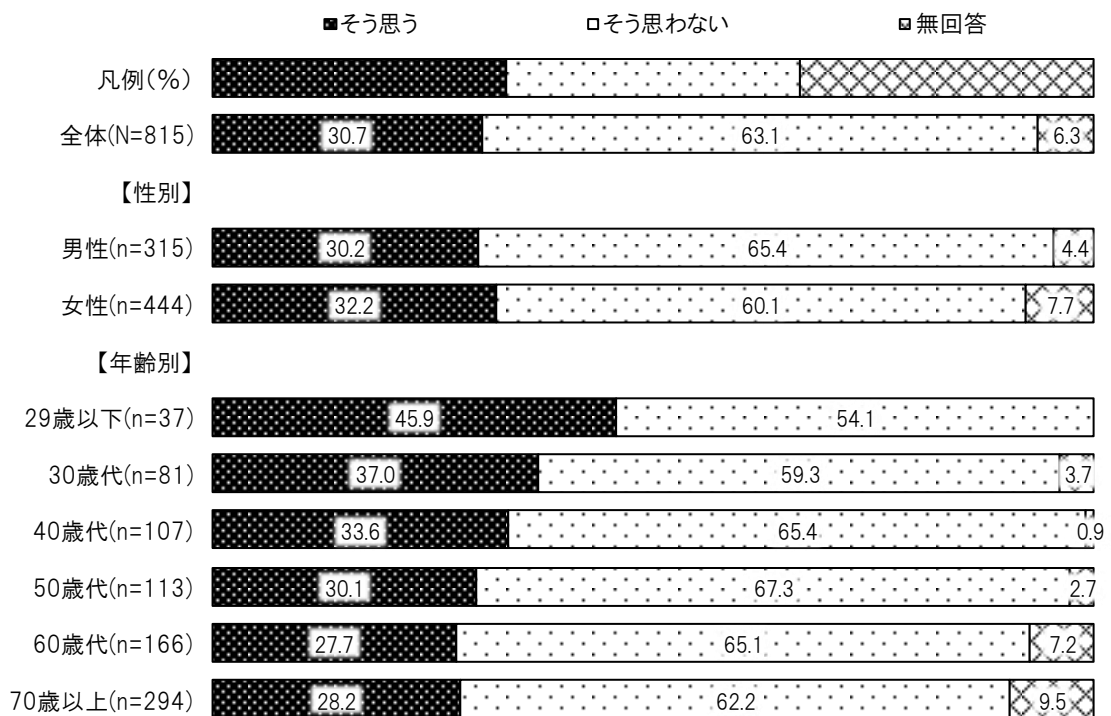
16. 計画的な土地利用について

(16) あなたは、瀬戸内市の土地利用は、住宅や店舗、工場などが混在することなく、計画的に進められていると思いますか

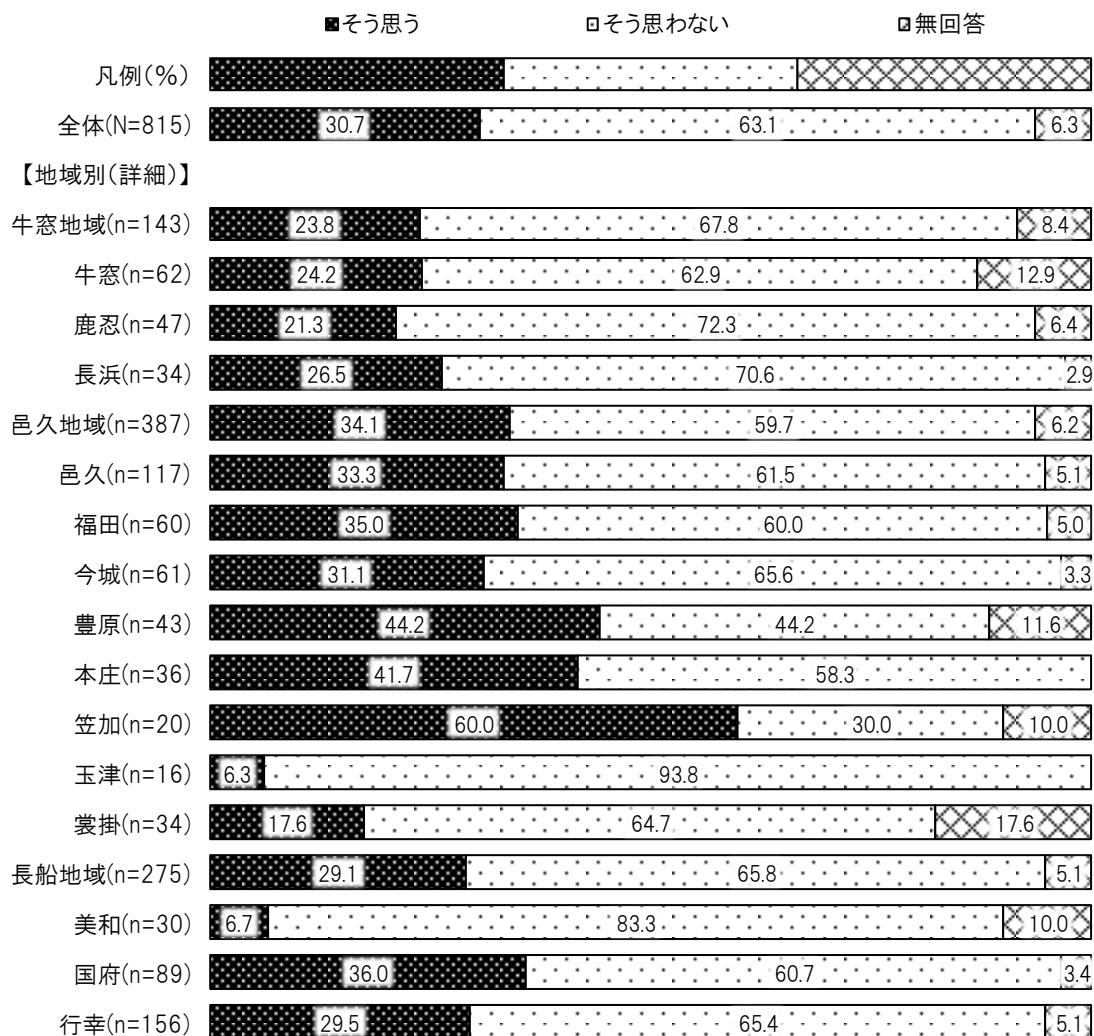
計画的な土地利用については、「そう思う」が30.7%、「そう思わない」が63.1%であった。

性別では、男性は女性に比べ「そう思わない」の割合が高くなっている。

年齢別では、おおむね若い年齢層ほど「そう思う」の割合が増える傾向にある。

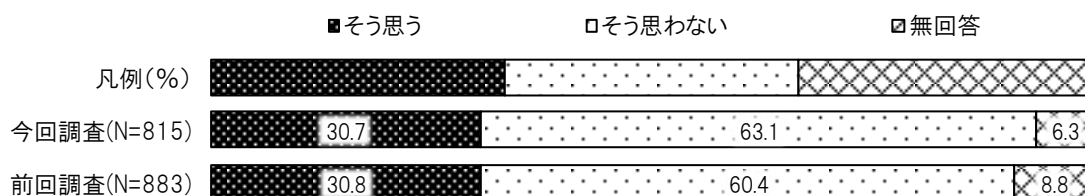


地域別でみると、「そう思う」は豊原、本庄、笠加などで高く、「そう思わない」は玉津、美和などで高くなっている。



【前回調査との比較】

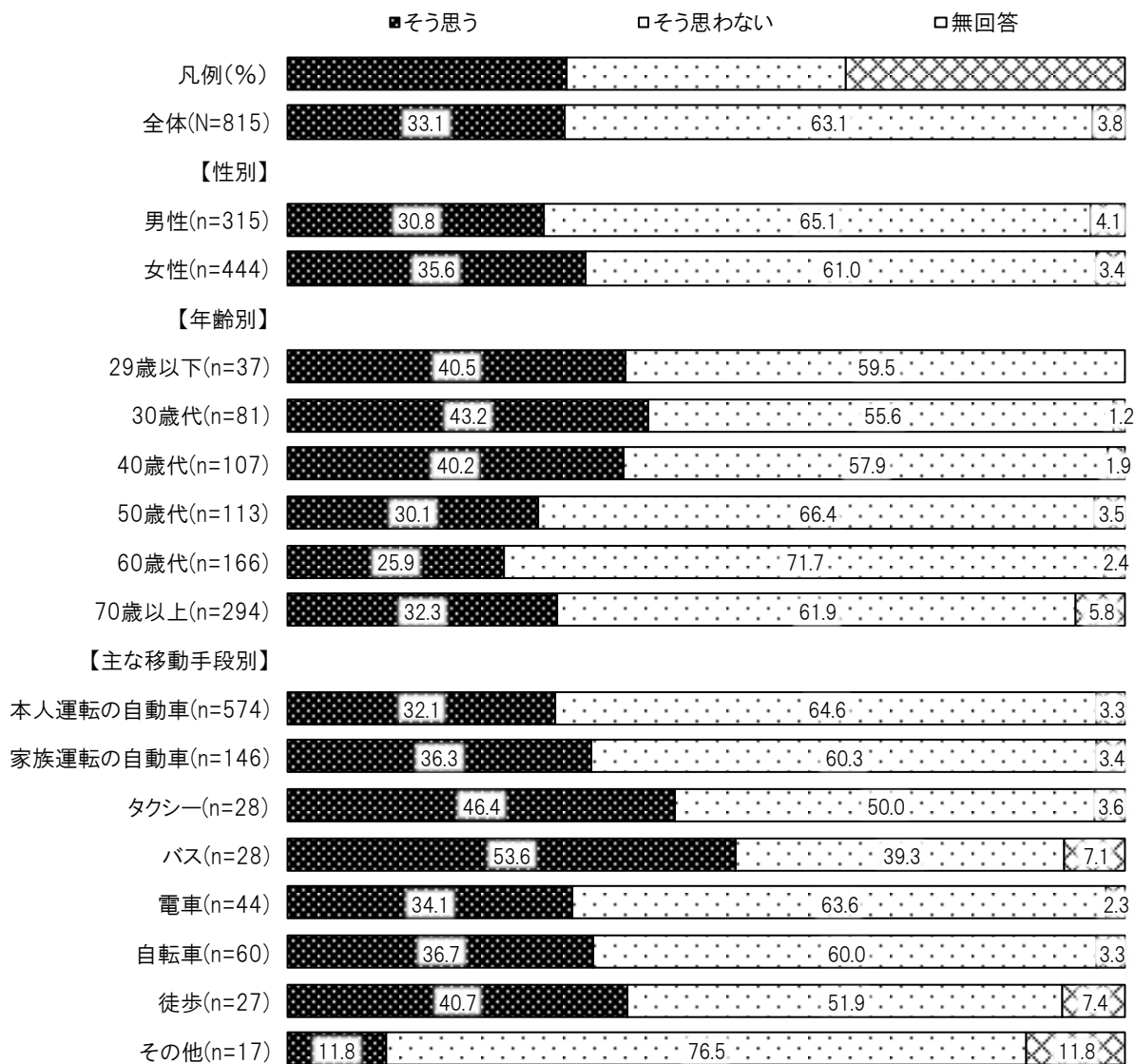
前回調査と比べ、「そう思わない」がやや増加した。



17. 道路の快適性について

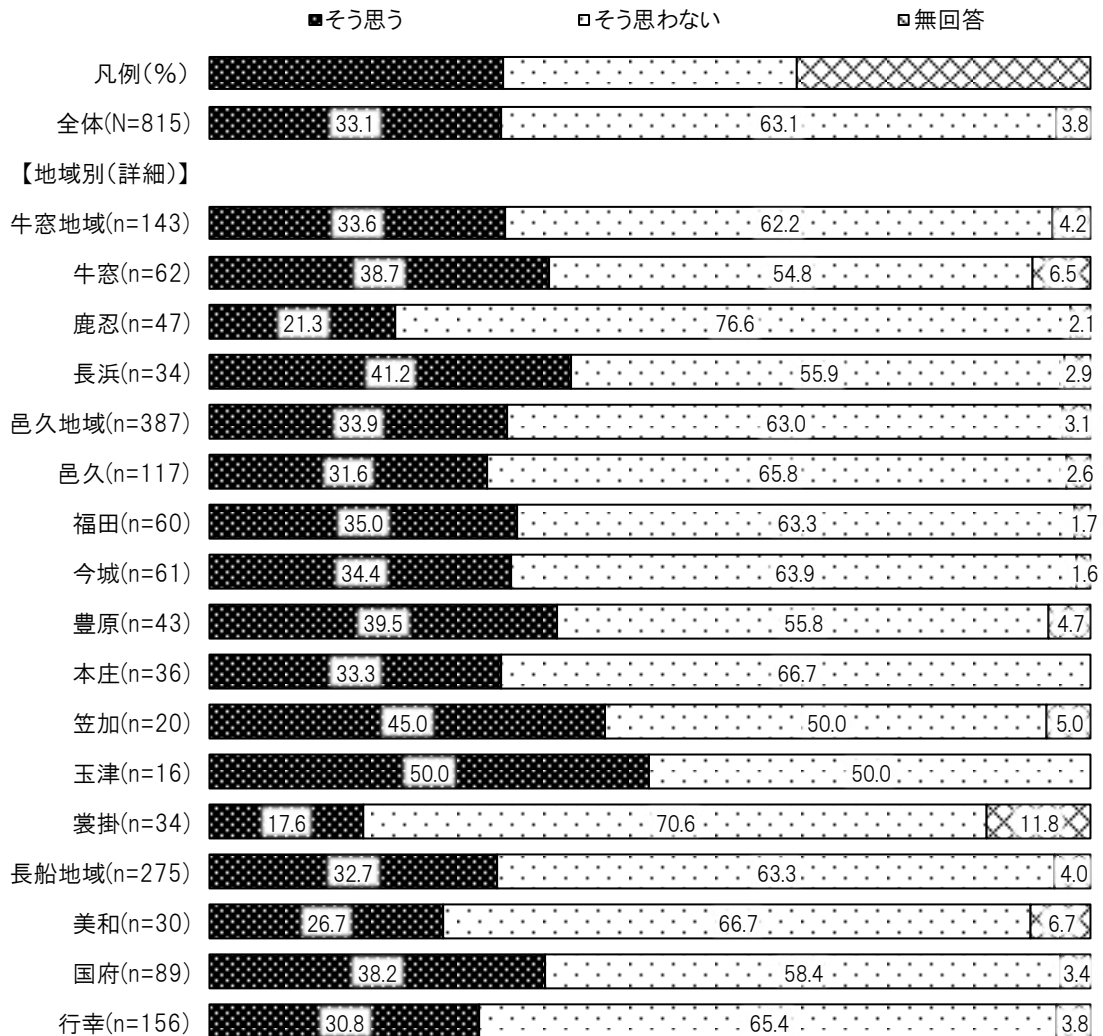
(17) あなたは、瀬戸内市の道路は快適だと思いますか

道路の快適性については、「そう思う」が 33.1%、「そう思わない」が 63.1%であった。
性別では、女性は男性に比べ「そう思う」の割合が高くなっている。
年齢別では、40歳代以下の年齢層で「そう思う」の割合が高くなっている。
主な移動手段別でみると、タクシーやバスで「そう思う」の割合が高くなっている。



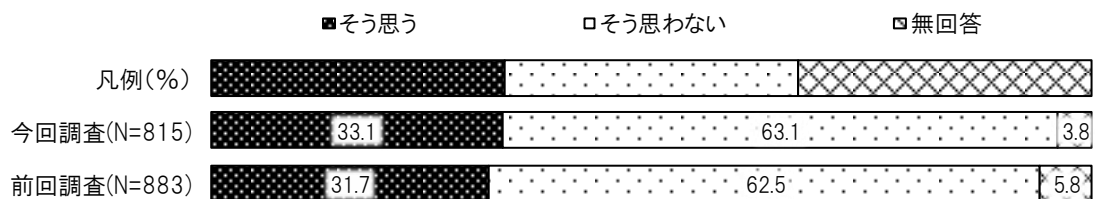
注：クロス軸のうち、主な移動手段別については、複数回答のため傾向値として参照。

地域別でみると、「そう思う」は笠加、玉津などで高く、「そう思わない」は鹿忍、裳掛などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。



18. 公共交通機関の利用しやすさについて

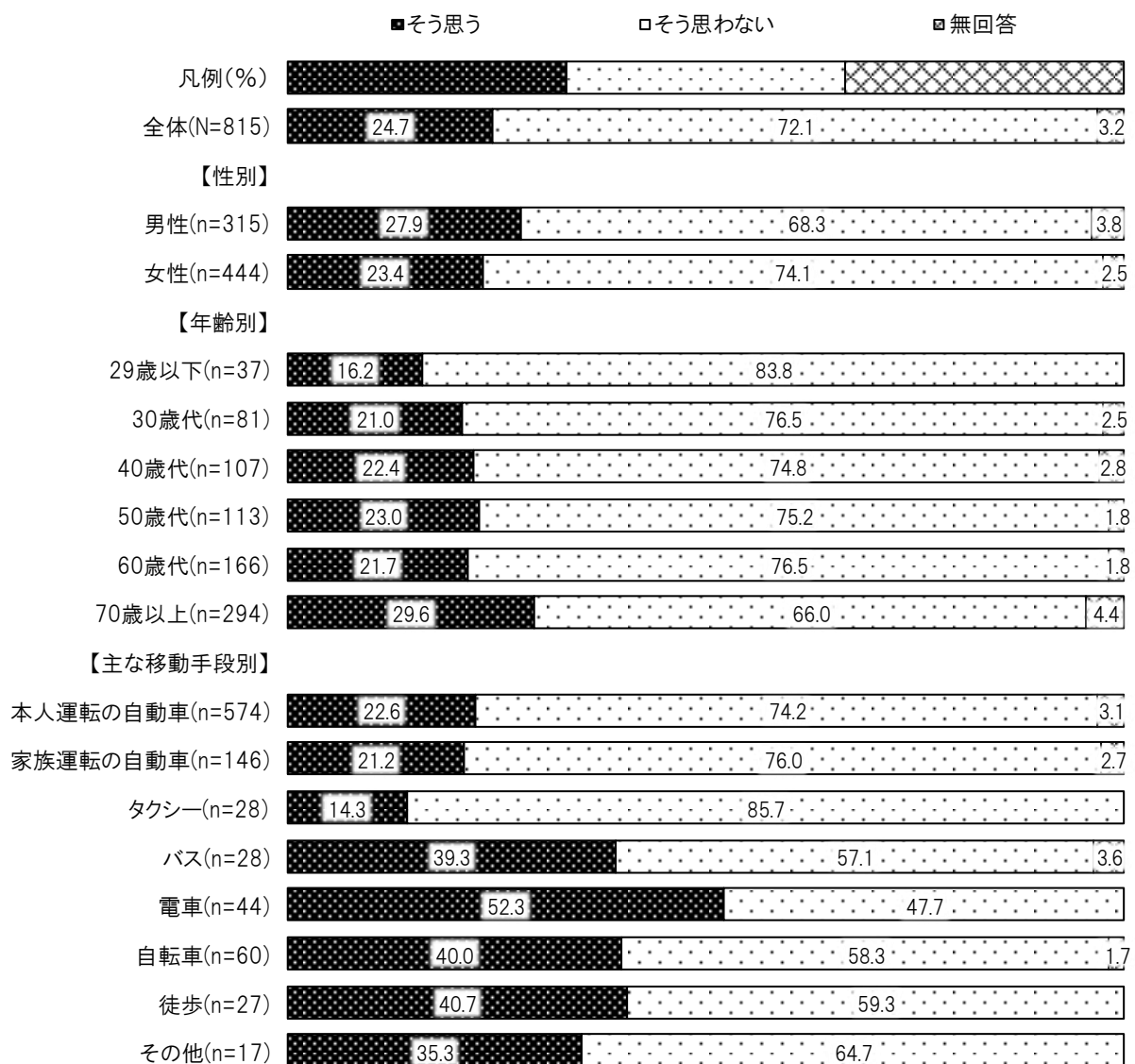
(18) あなたは、バスや電車など、公共交通機関が利用しやすいと思いますか

公共交通機関の利用しやすさについては、「そう思う」が24.7%、「そう思わない」が72.1%であった。

性別では、女性は男性に比べ「そう思わない」の割合が高くなっている。

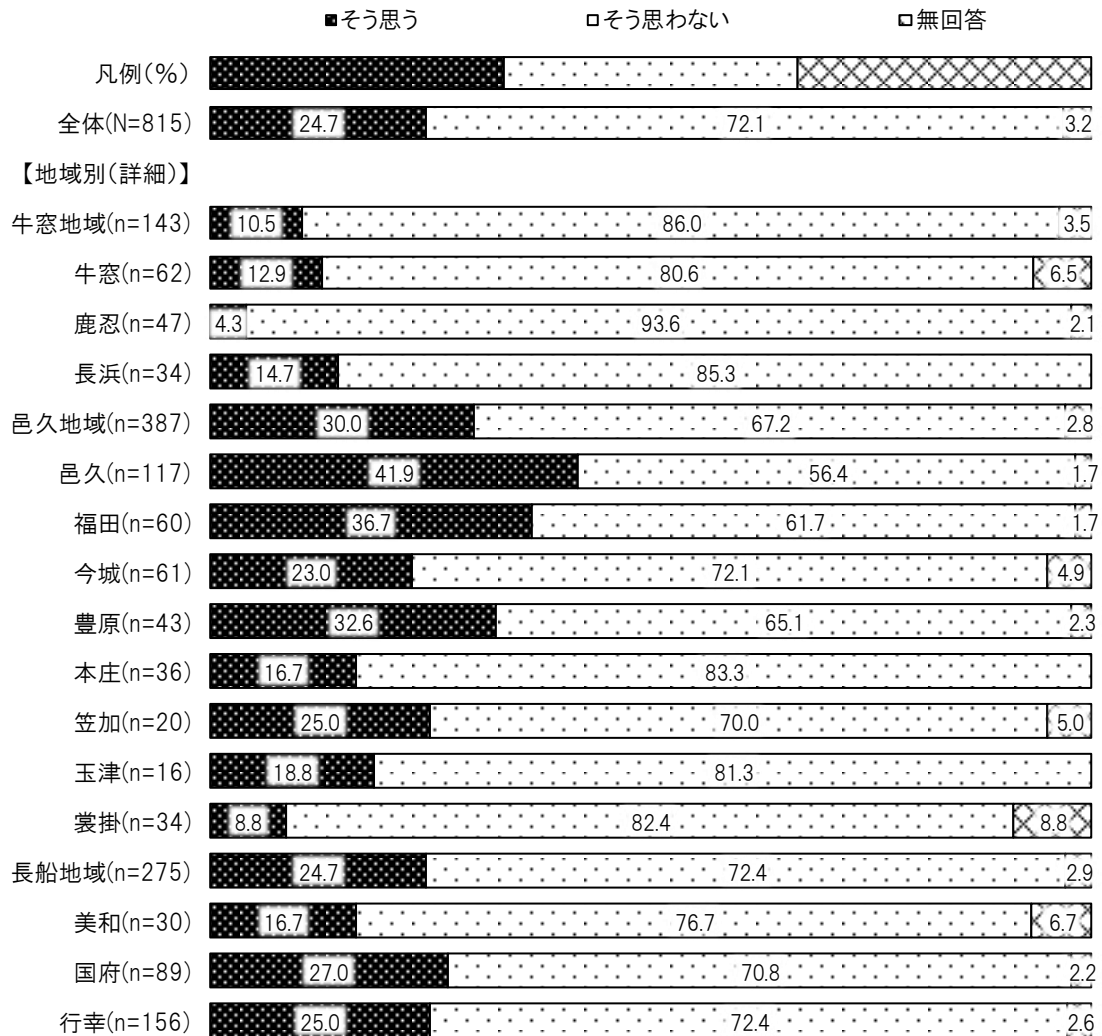
年齢別では、70歳以上で「そう思う」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

主な移動手段別でみると、「電車」利用者の約半数が「そう思う」と回答する一方、「タクシー」利用者の8割以上が「そう思わない」と回答しており、公共交通機関による差が目立っている。



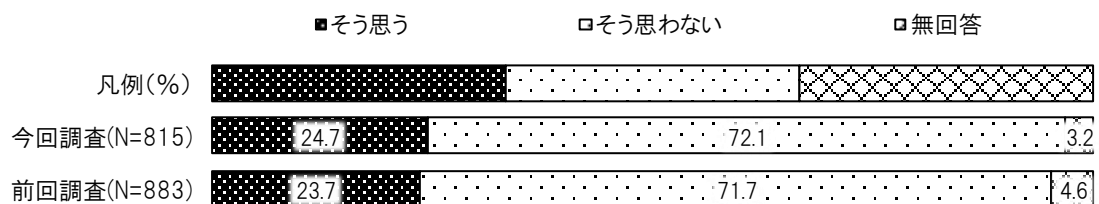
注:クロス軸のうち、主な移動手段別については、複数回答のため傾向値として参照。

地域別でみると、「そう思う」は邑久、福田などで高く、「そう思わない」は牛窓、鹿忍などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。



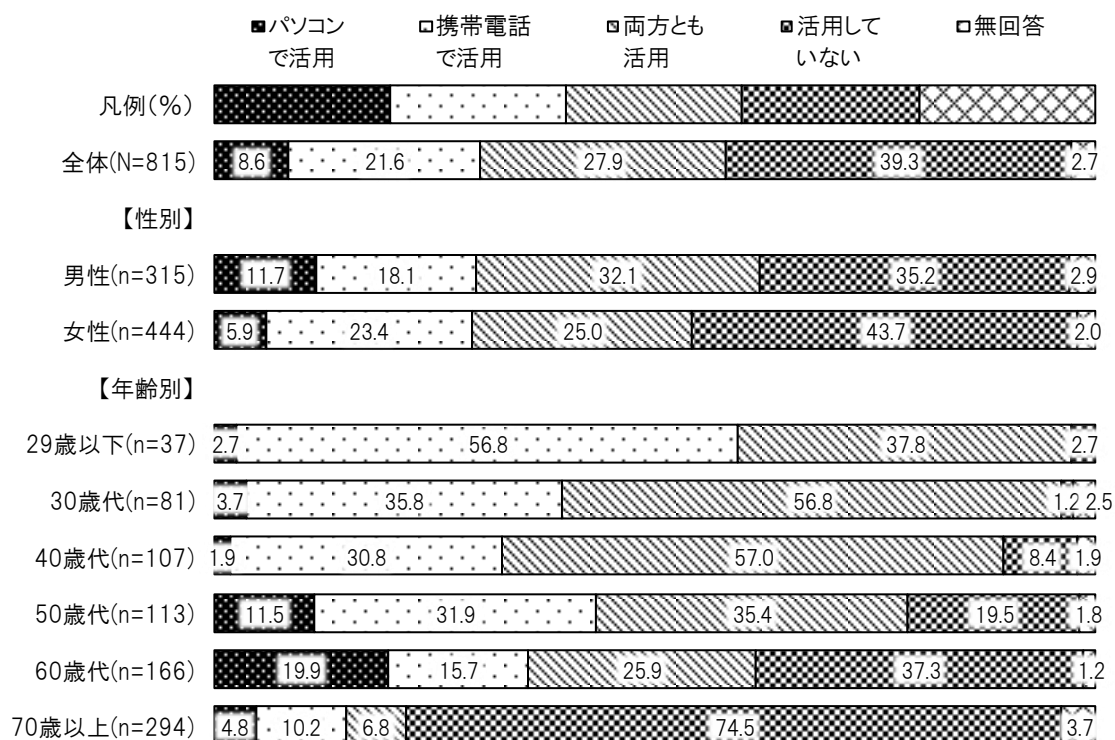
19. インターネットの活用状況

(19) あなたは、日常生活の中でインターネットを活用していますか

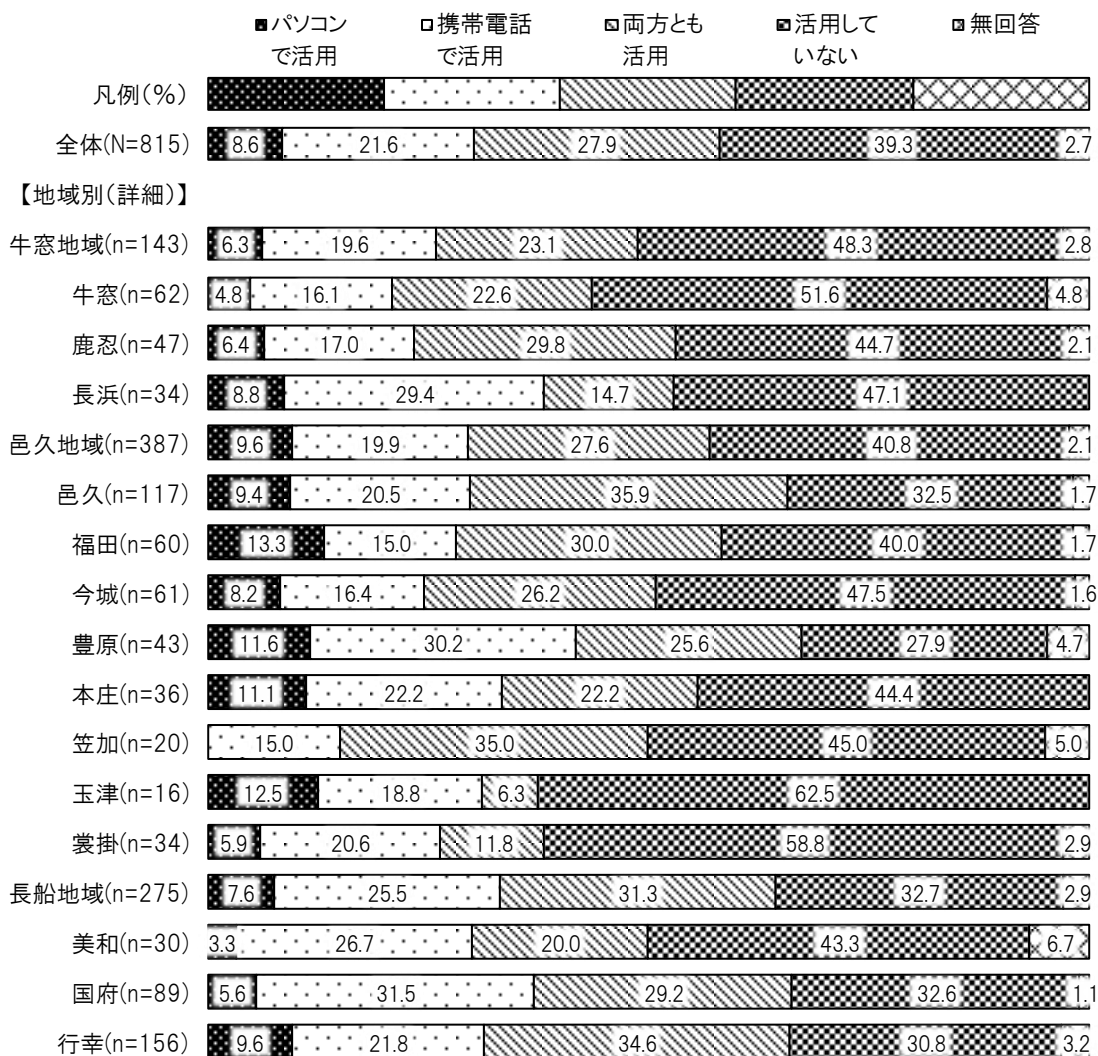
インターネットの活用状況については、「両方とも活用」が27.9%と最も高く、次いで「携帯電話で活用」(21.6%)、「パソコンで活用」(8.6%)の順となっており、合計約6割(58.1%)がインターネットを活用していると回答している。一方、「活用していない」は39.3%であった。

性別では、男性で「パソコンで活用」「両方とも活用」、女性で「携帯電話で活用」「活用していない」がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、おおむね若い年齢層ほど「携帯電話で活用」、年齢が上がるほど「活用していない」の割合がそれぞれ増える傾向にある。また、30～40歳代で「両方とも活用」、50～60歳代で「パソコンで活用」がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

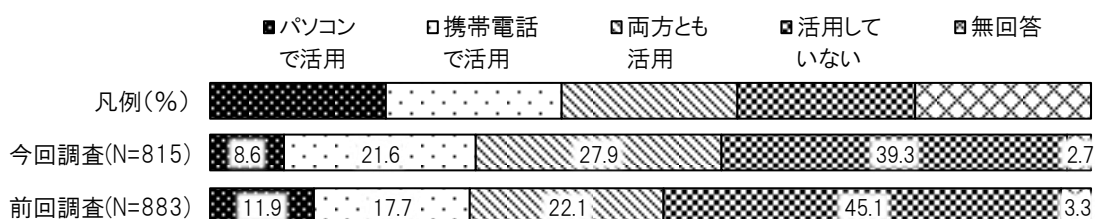


地域別でみると、邑久、豊原、国府、行幸などはインターネットの活用率が他の地域に比べて高く、「活用していない」は玉津、裳掛などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「携帯電話で活用」「両方とも活用」が増加し、「活用していない」が減少した。

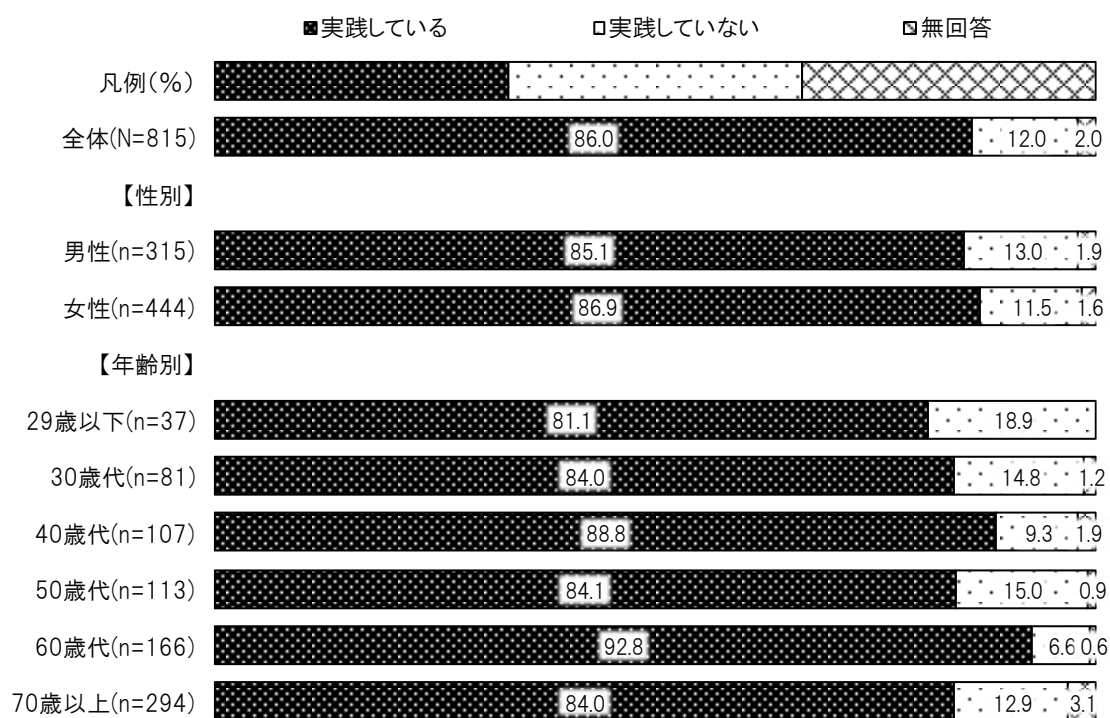


20. ごみのリサイクル実践状況

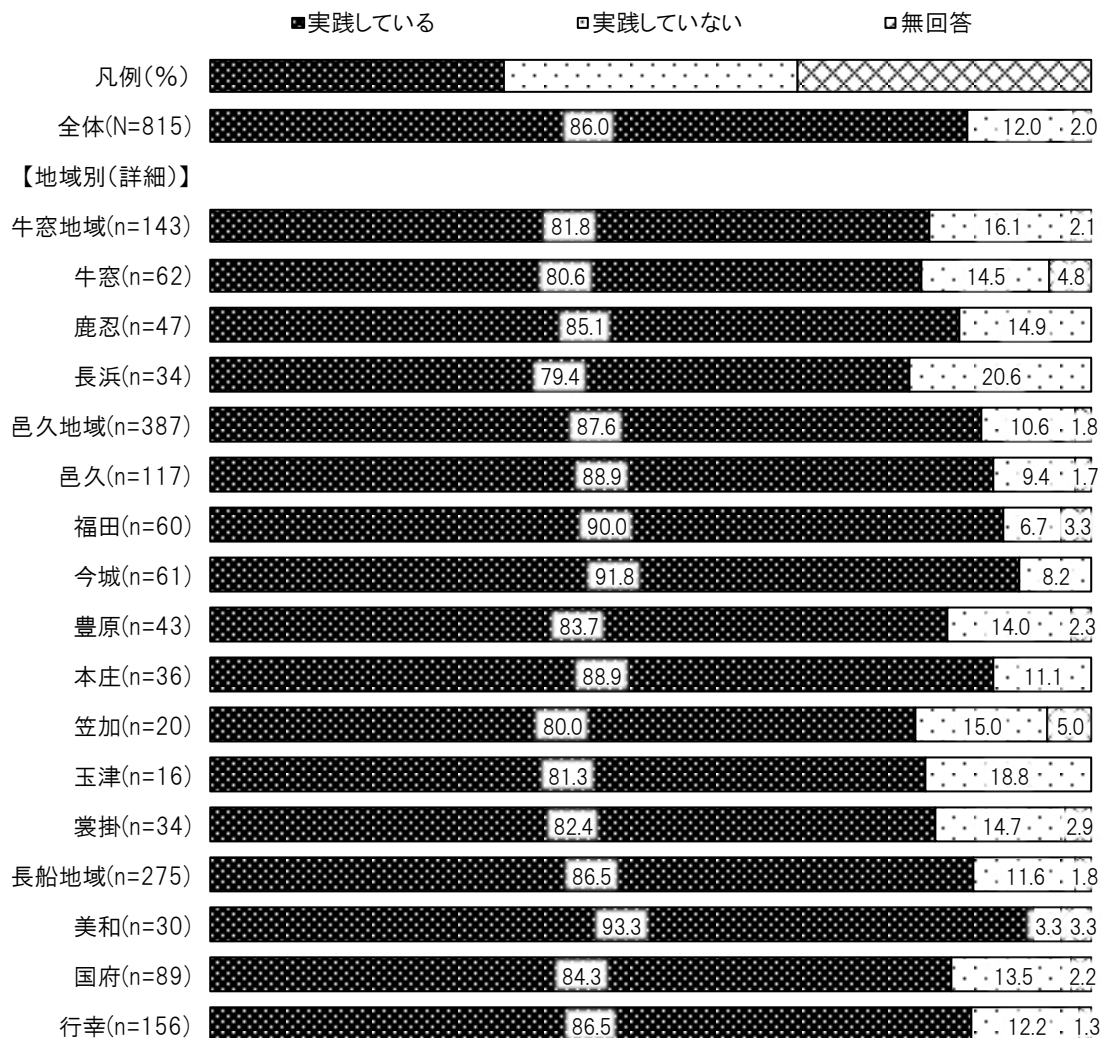
(20) あなたは、家庭から出るごみのリサイクルを実践していますか

ごみのリサイクル実践状況については、「実践している」が86.0%、「実践していない」が12.0%であった。

性別による大きな差はみられないが、年齢別では、60歳代で「実践している」が他の年齢層に比べて高くなっている。

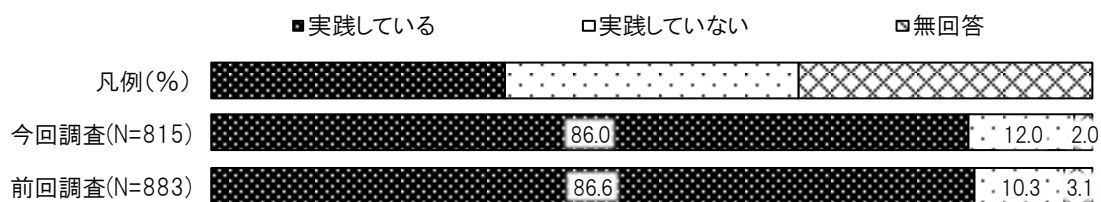


地域別でみると、「実践している」は今城、美和などで高く、「実践していない」は長浜、玉津などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。

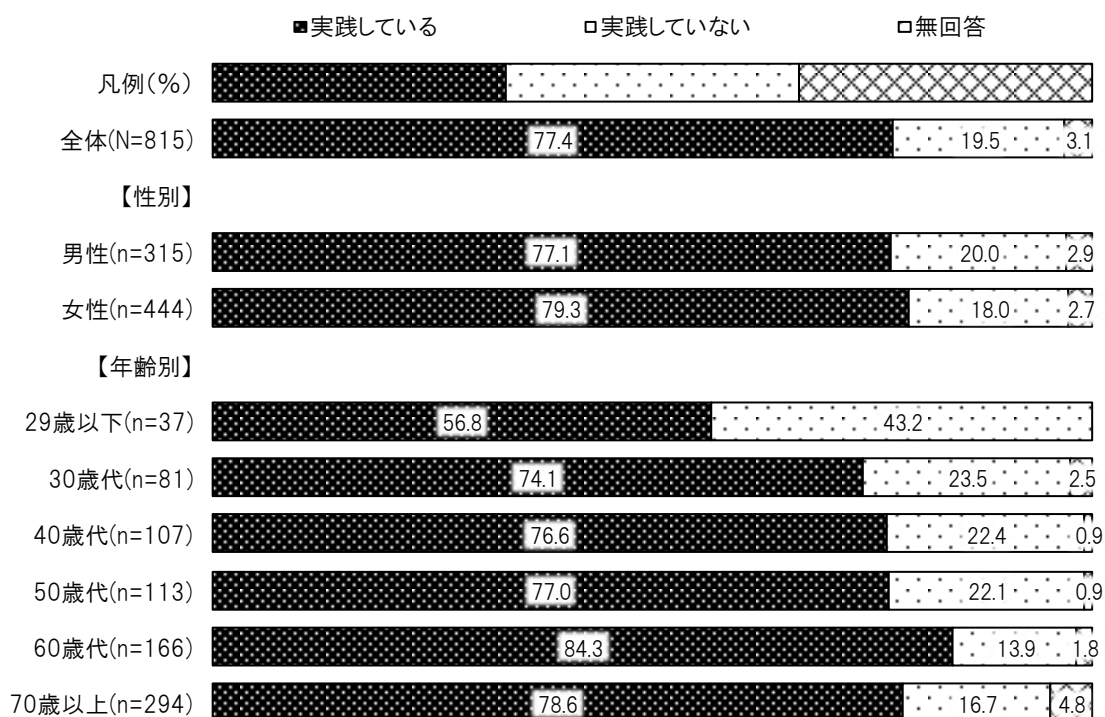


21. 省エネの実践状況

(21) あなたは、日常生活で省エネを実践していますか

省エネの実践状況については、「実践している」が77.4%、「実践していない」が19.5%であった。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では、29歳以下の4割以上が「実践していない」と回答している。一方、60歳代で「実践している」が他の年齢層に比べて高くなっている。

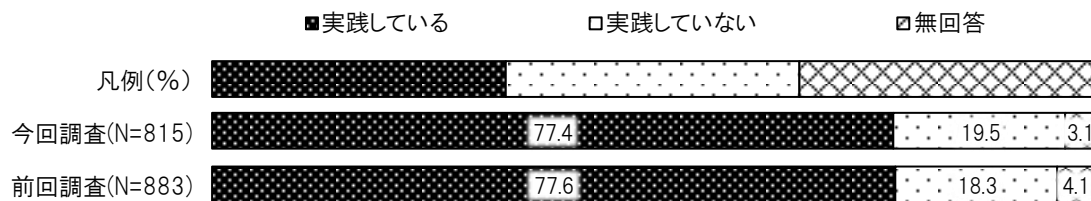


地域別でみると、「実践している」は邑久、国府などで高く、「実践していない」は裳掛、行幸などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。

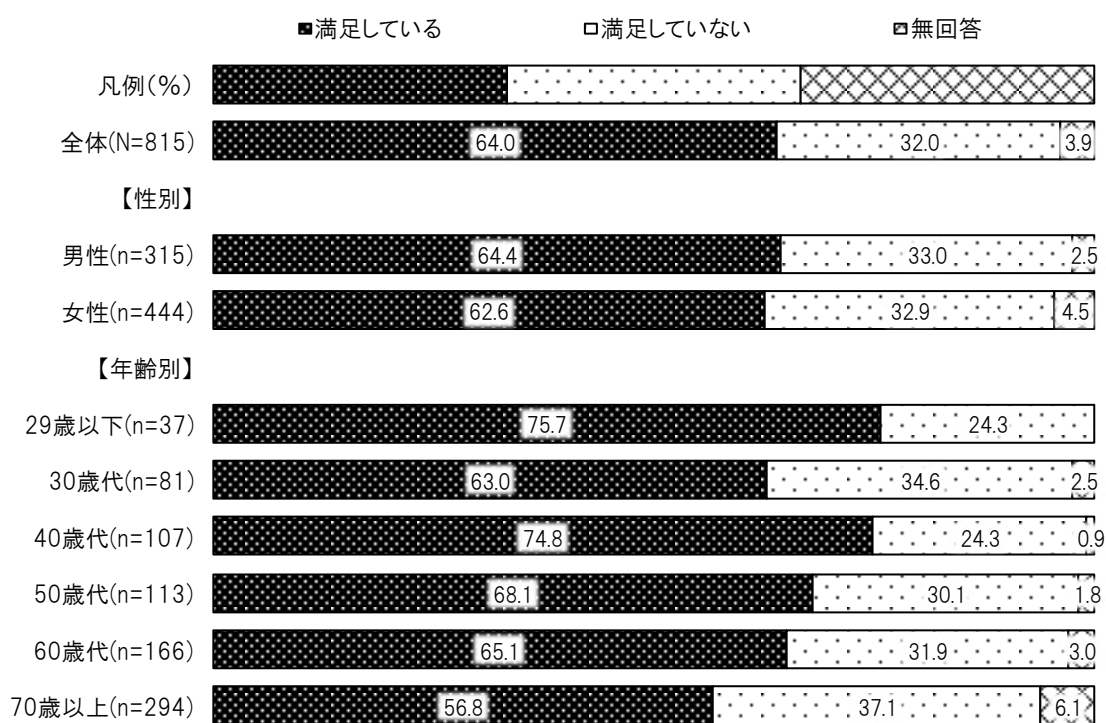


22. 瀬戸内市の景観への満足度

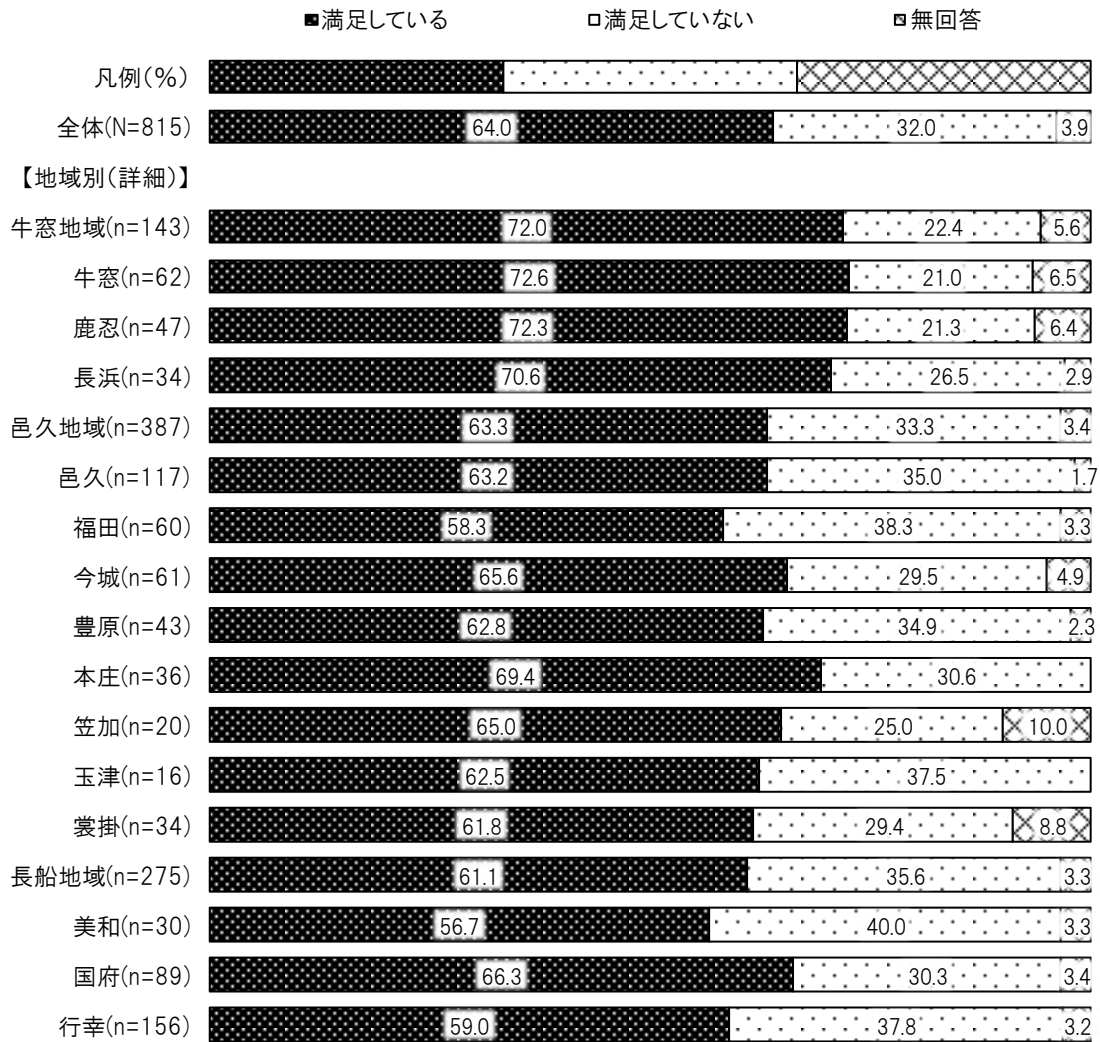
(22) あなたは、瀬戸内市の景観に満足していますか

瀬戸内市の景観への満足度については、「満足している」が64.0%、「満足していない」が32.0%であった。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では、おおむね若い年齢層ほど「満足している」の割合が増える傾向にある。

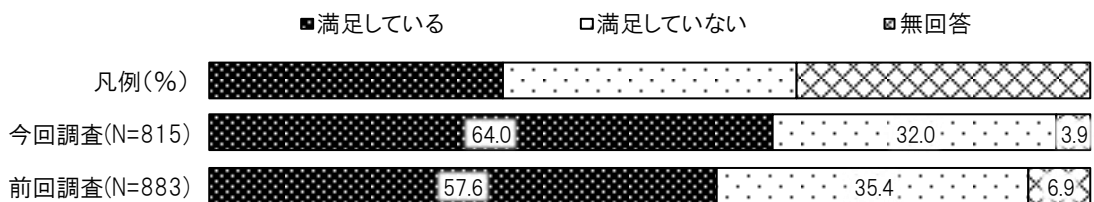


地域別でみると、「満足している」は牛窓、鹿忍、長浜、本庄などで高く、「満足していない」は福田、美和、行幸などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「満足している」が増加した。

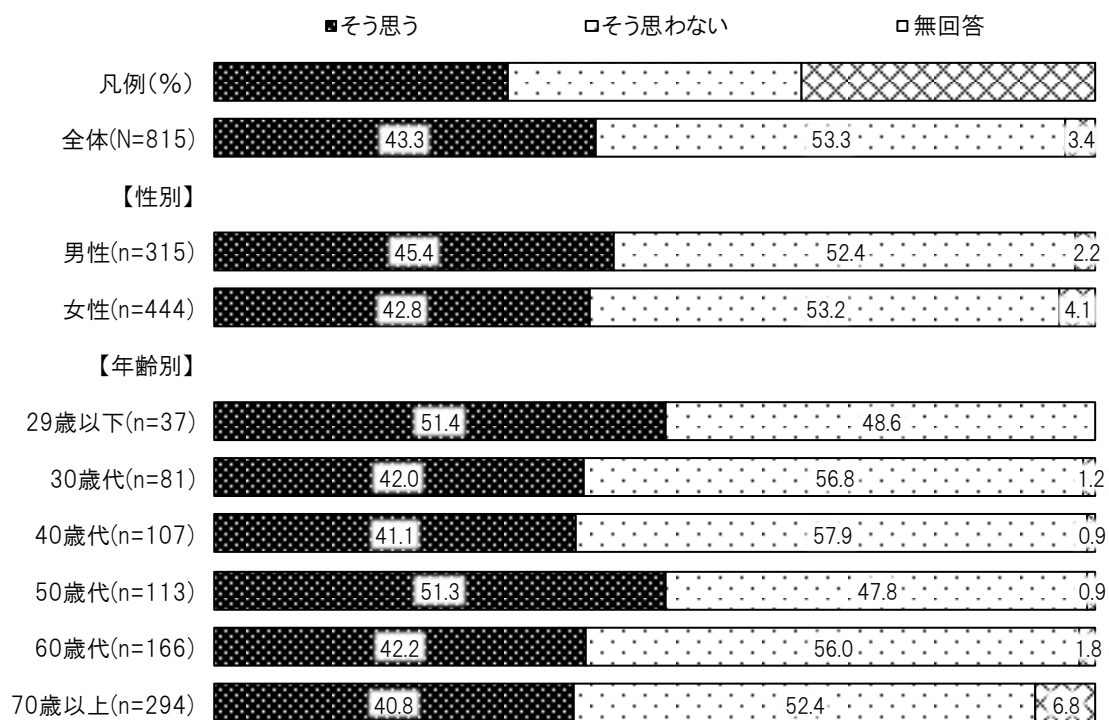


23. 瀬戸内市の川や海がきれいだと思うこと

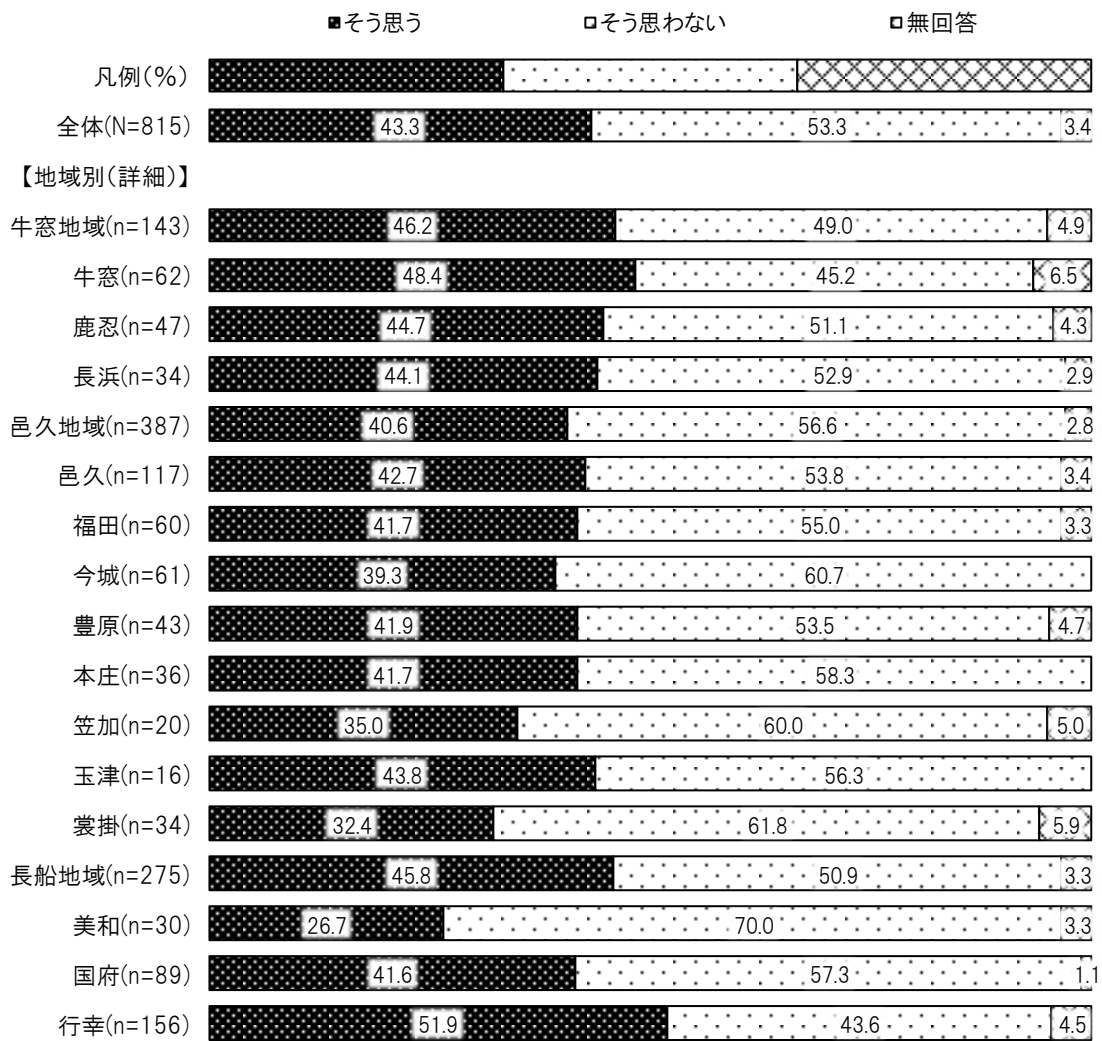
(23) あなたは、瀬戸内市の川や海がきれいだと思いますか

瀬戸内市の川や海がきれいだと思うことについては、「そう思う」が43.3%、「そう思わない」が53.3%であった。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では、29歳以下と50歳代で「そう思う」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



地域別でみると、「そう思う」は牛窓、行幸などで高く、「そう思わない」は美和などで高くなっている。



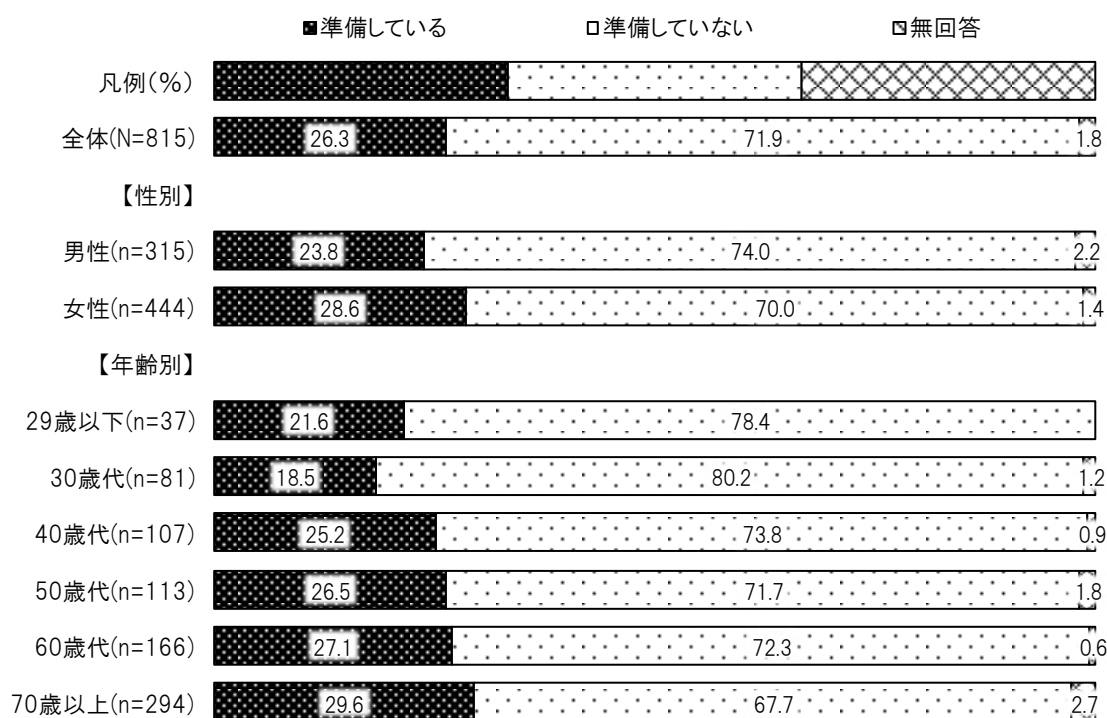
24. 災害時の非常持出品準備状況

(24) あなたは、災害が起きたときのために、非常持出品を準備していますか

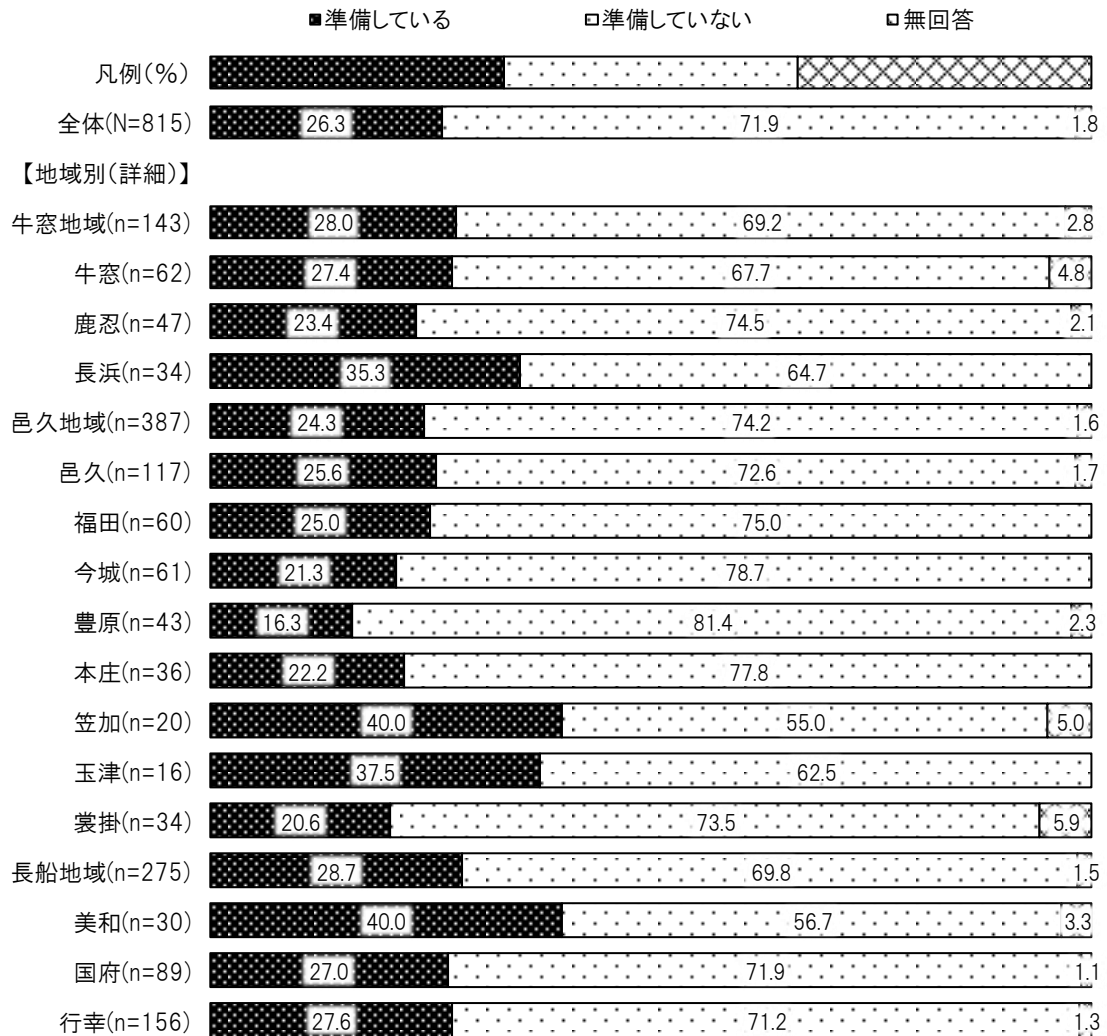
災害時の非常持出品準備状況については、「準備している」が26.3%、「準備していない」が71.9%であった。

性別では、女性は男性に比べ「準備している」の割合が高くなっている。

年齢別では、30歳代以下の約8割が「準備していない」と回答している。

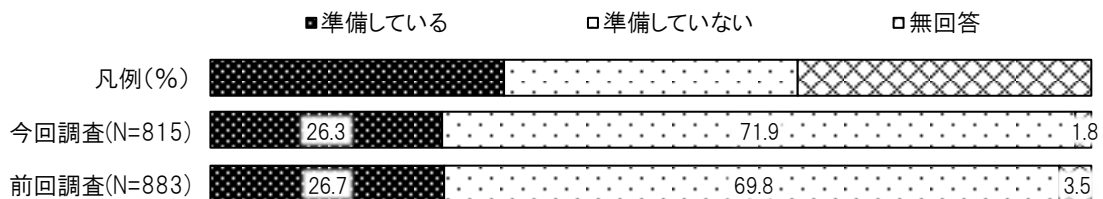


地域別でみると、「準備している」は長浜、笠加、玉津、美和などで高く、「準備していない」は今城、豊原などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。



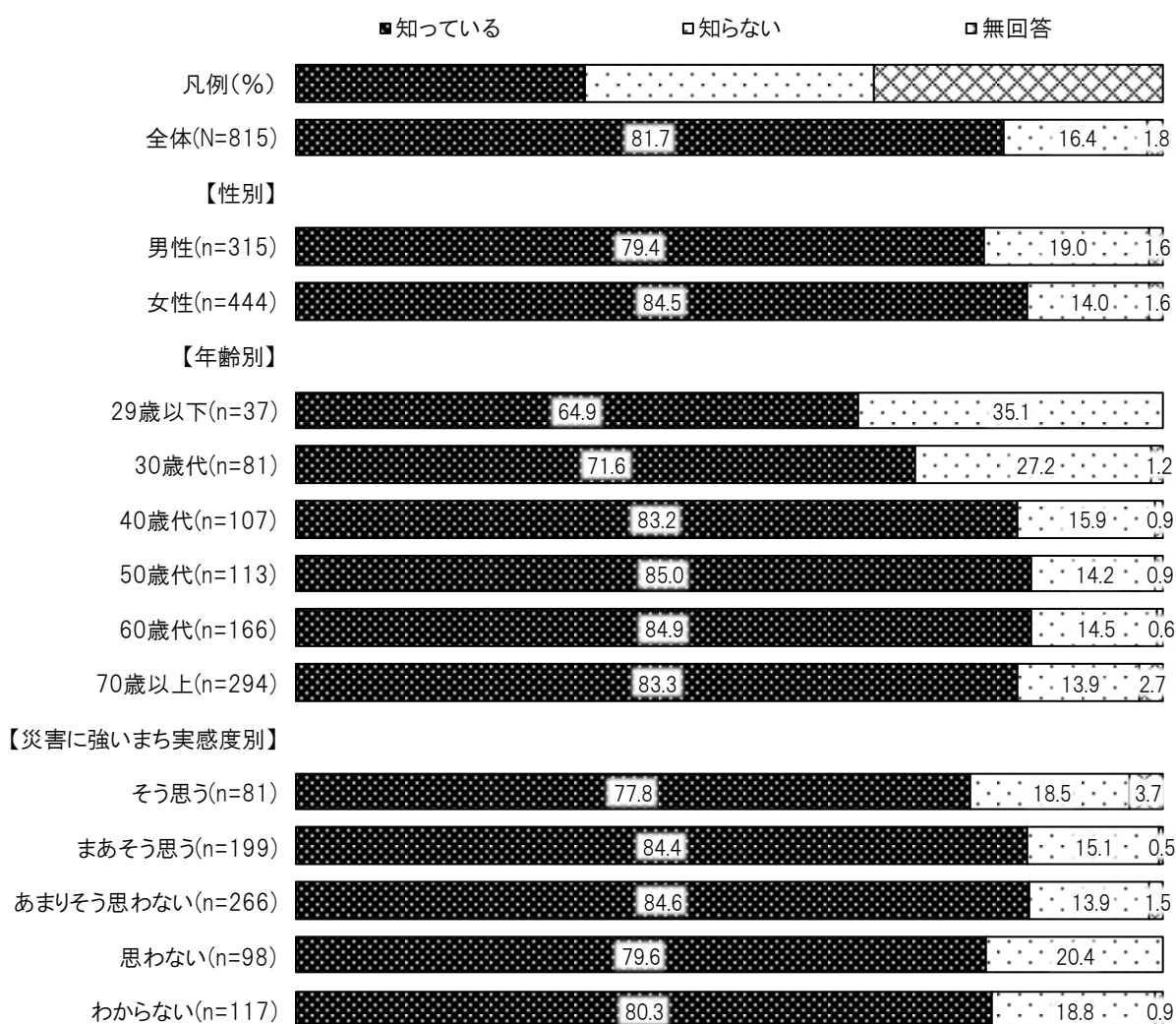
25. 災害時の避難場所認知状況

(25) あなたは、災害が起きたときの、最寄りの避難場所を知っていますか

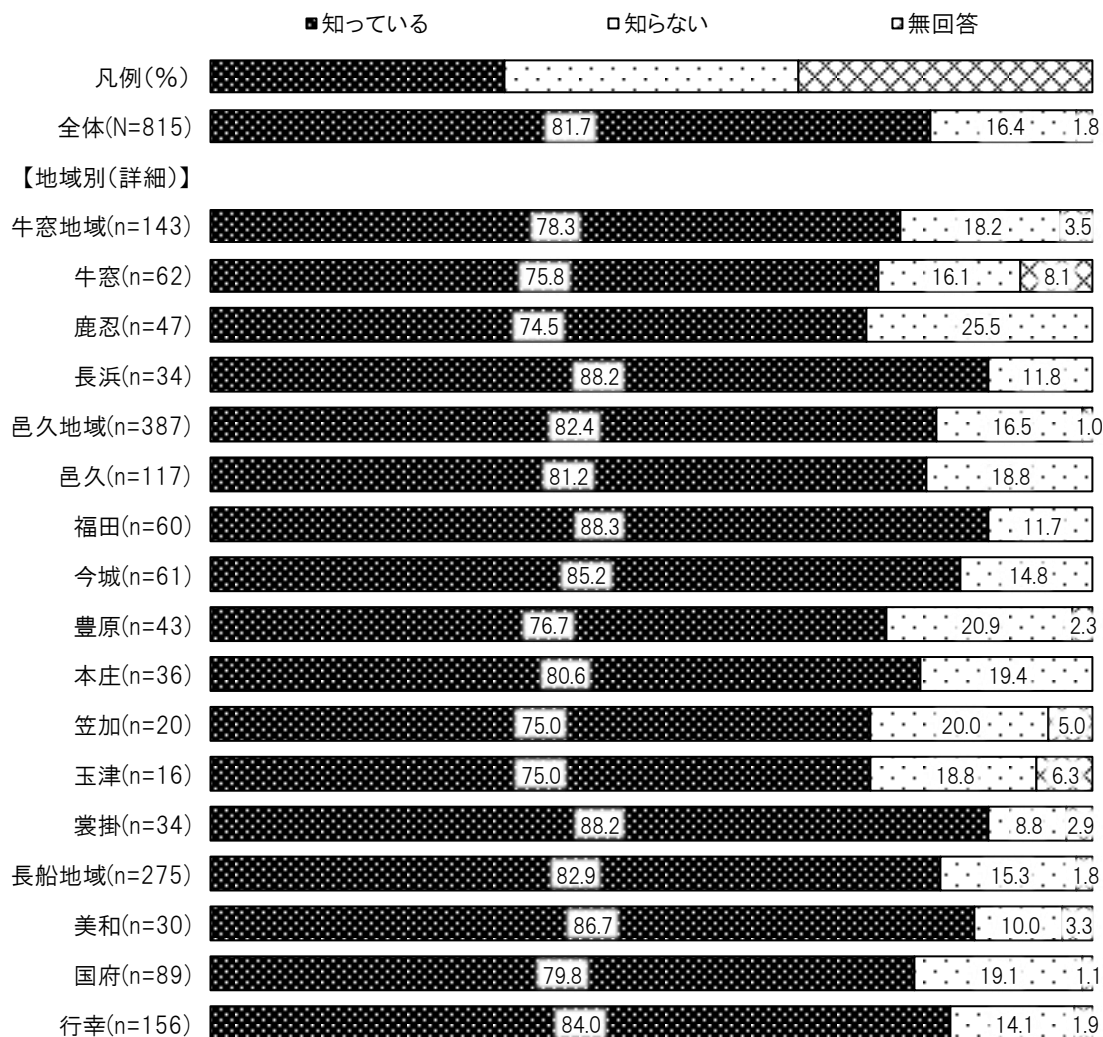
災害時の避難場所認知状況については、「知っている」が81.7%、「知らない」が16.4%であった。

性別では、女性は男性に比べ「知っている」の割合が高く、年齢別では、30歳代以下の年齢層で「知らない」の割合が高くなっている。

災害に強いまち実感度別では、実感度による大きな差はみられない。

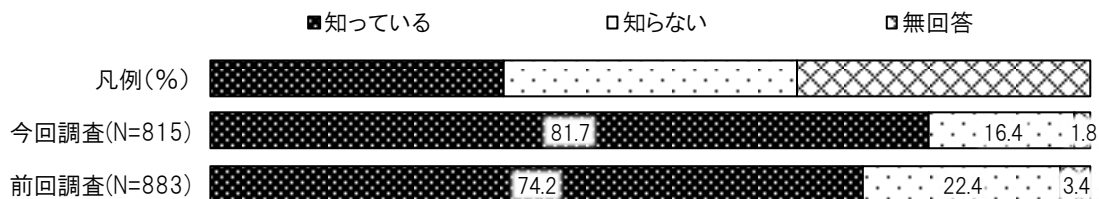


地域別でみると、「知っている」は長浜、福田、裳掛、美和などで高く、「知らない」は鹿忍、豊原などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「知っている」が増加し、「知らない」が減少した。



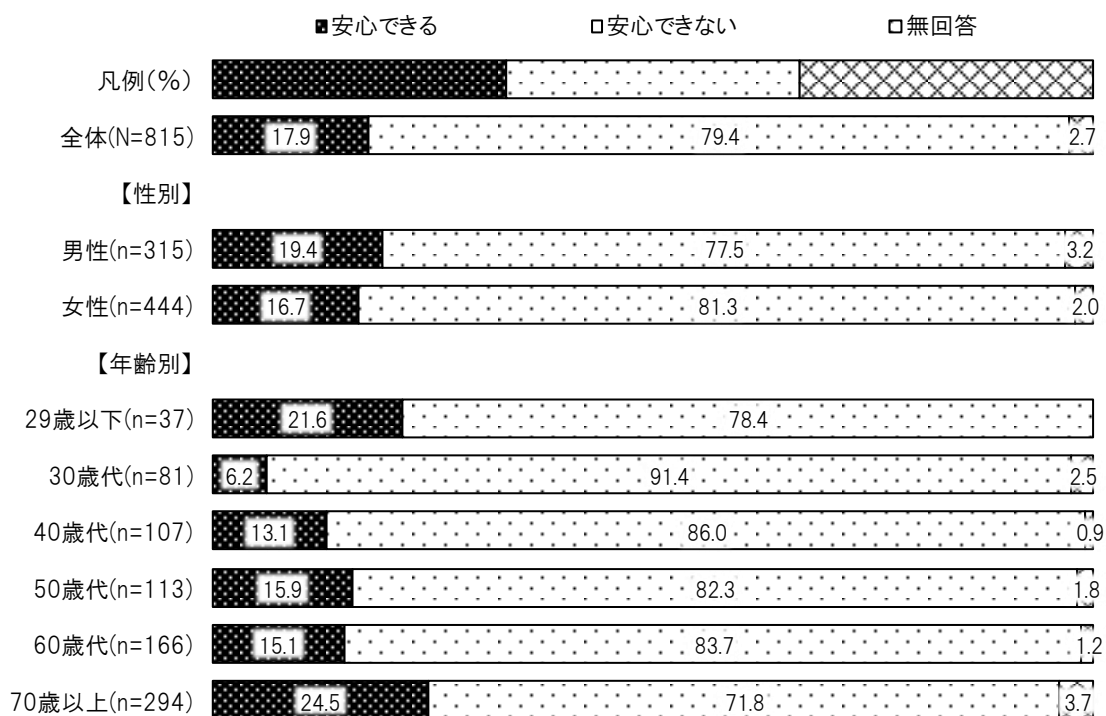
26. 自身や親の老後について

(26) あなたは、自身や親の老後について安心できますか

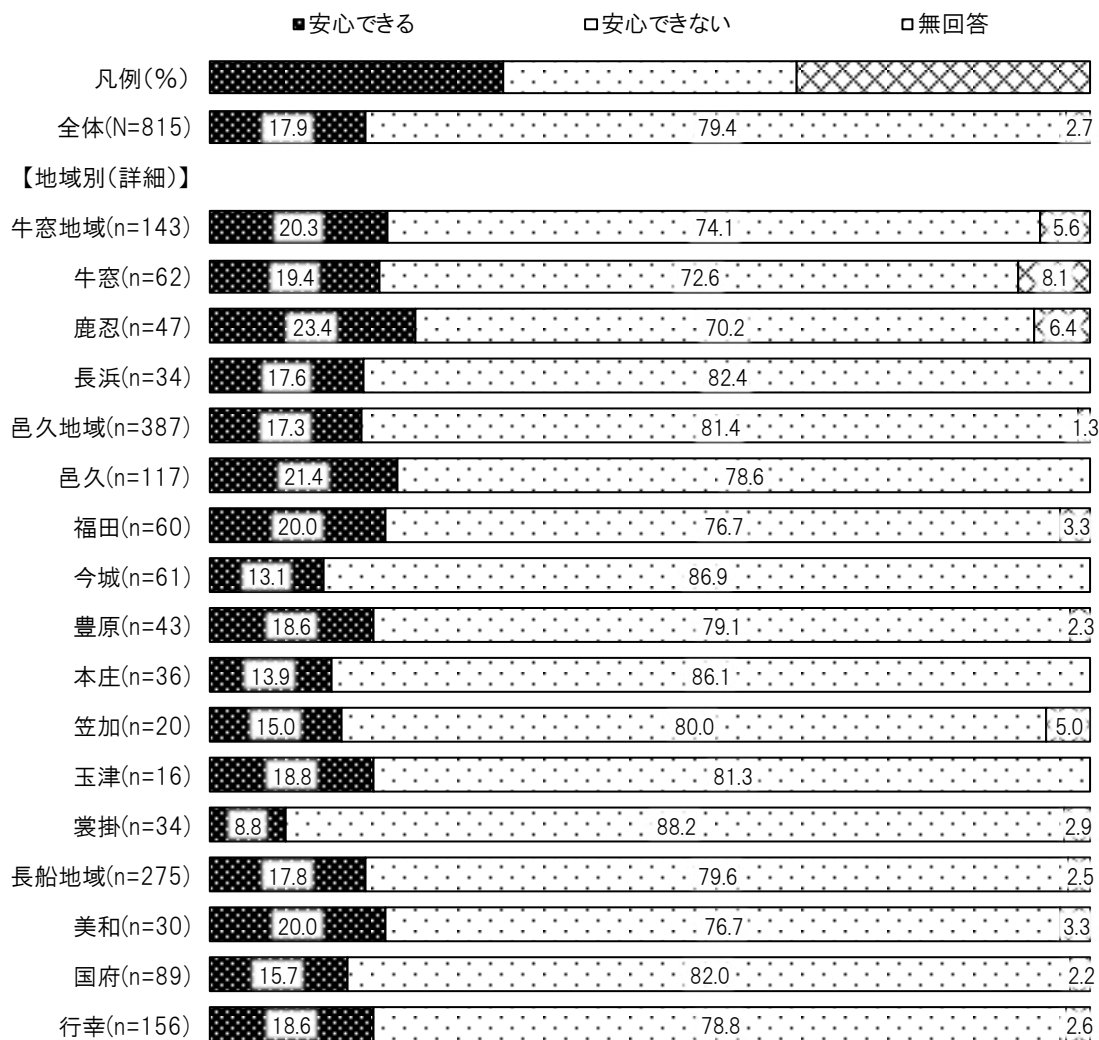
自身や親の老後については、「安心できる」が17.9%、「安心できない」が79.4%であった。

性別では、女性は男性に比べ「安心できない」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、30歳代の9割以上が「安心できない」と回答しており、他の年齢層に比べて高くなっている。



地域別でみると、「安心できる」は鹿忍、邑久などで高く、「安心できない」は今城、本庄、裳掛などで高くなっている。



27. 「消費生活」に関する相談窓口認知状況

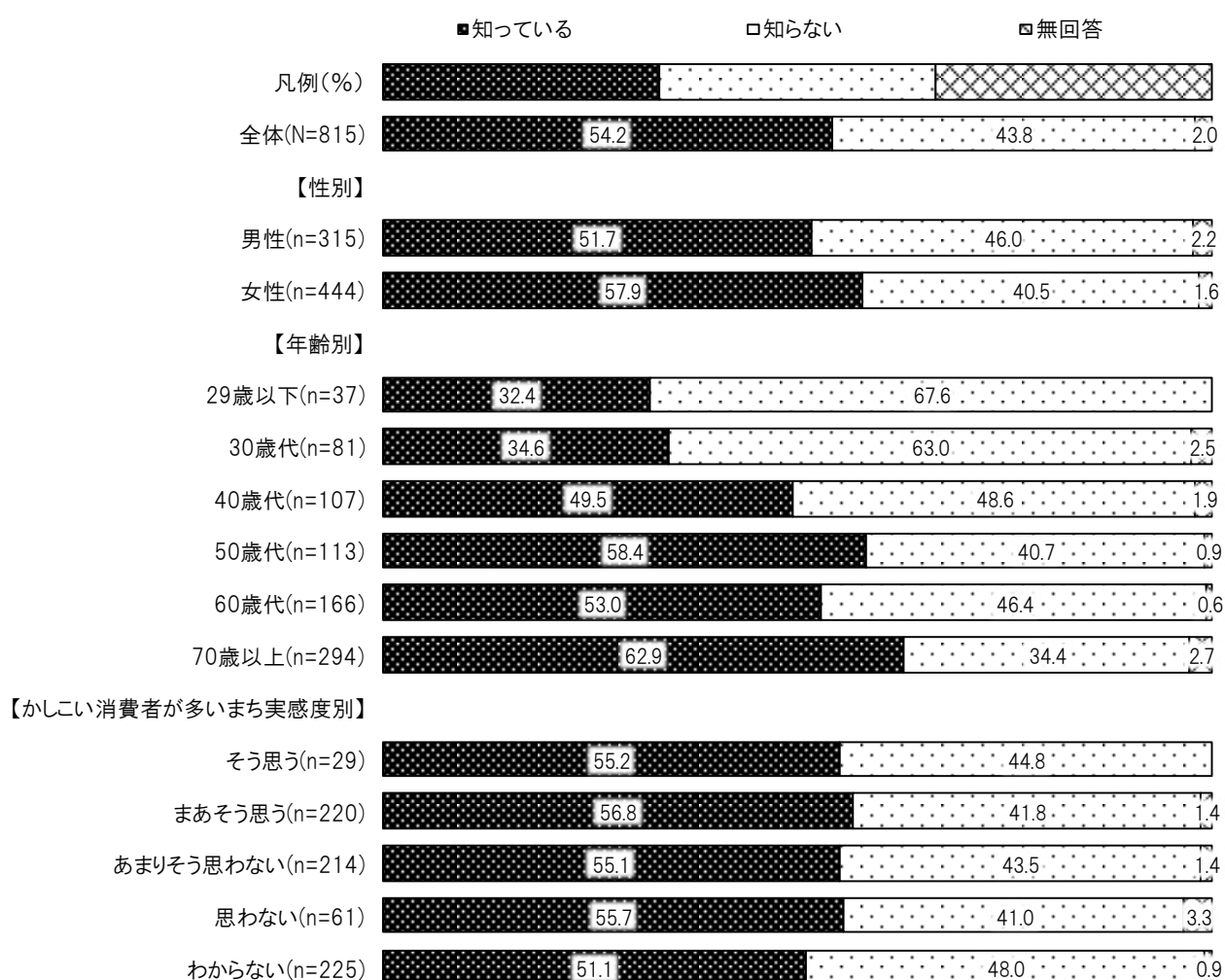
(27) あなたは、悪質商法などへの対応について相談できる市役所や県、警察などの「消費生活」に関する相談窓口を知っていますか

「消費生活」に関する相談窓口認知状況については、「知っている」が54.2%、「知らない」が43.8%であった。

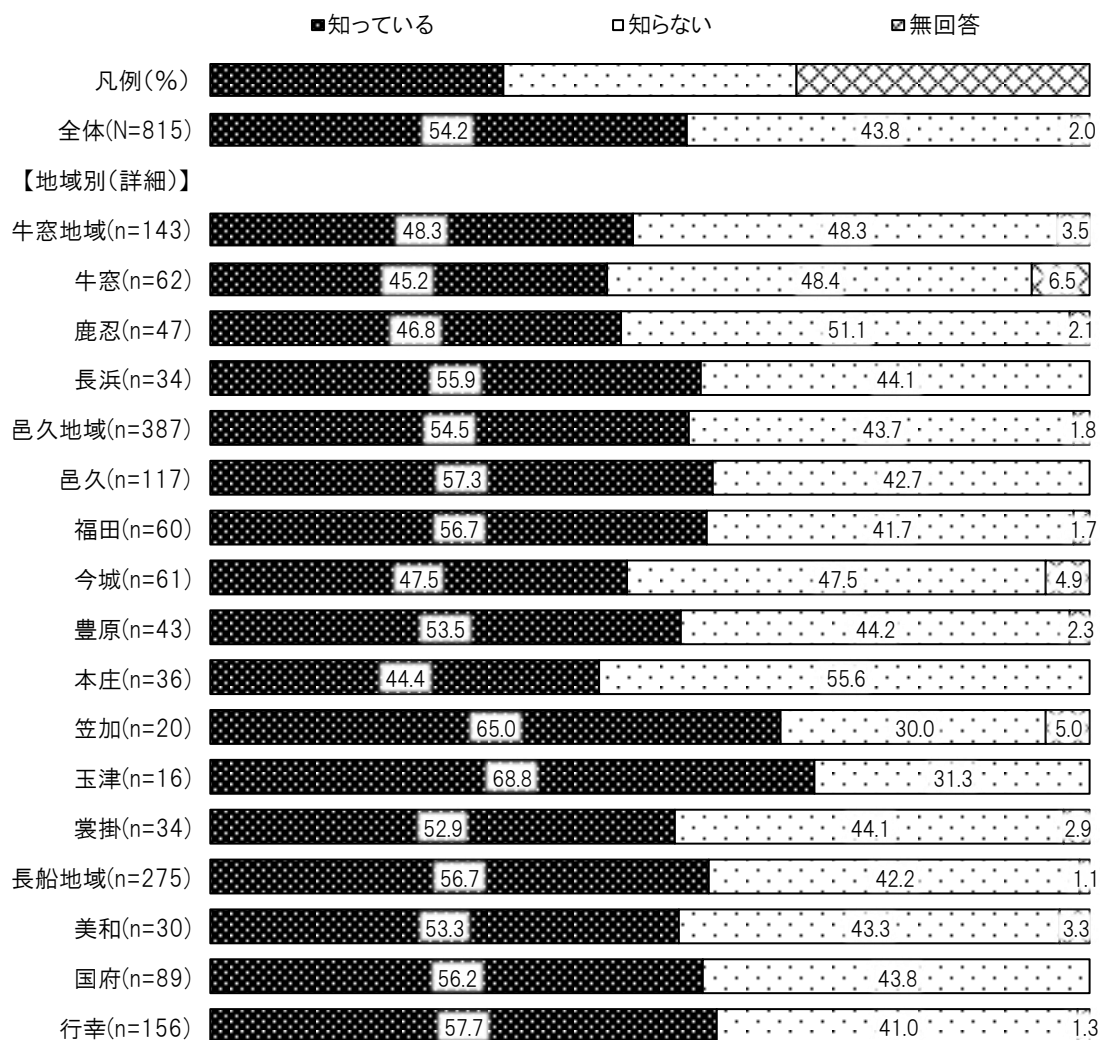
性別では、女性は男性に比べ「知っている」の割合が高くなっている。

年齢別では、おおむね年齢が上がるほど「知っている」の割合が増える傾向にある。

かしこい消費者が多いまち実感度別では、わからないと回答した層で「知らない」の割合がやや高くなっている。

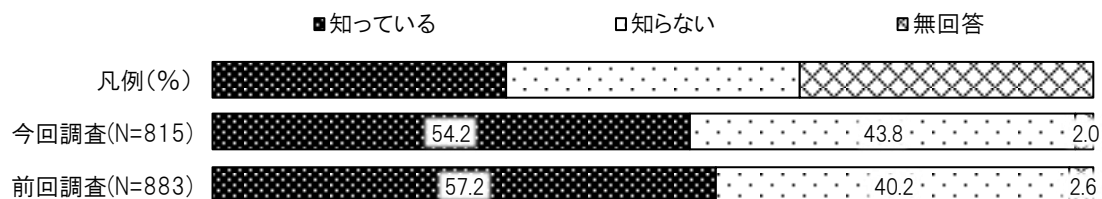


地域別でみると、「知っている」は笠加、玉津などで高く、「知らない」は鹿忍、本庄などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「知らない」がやや増加した。



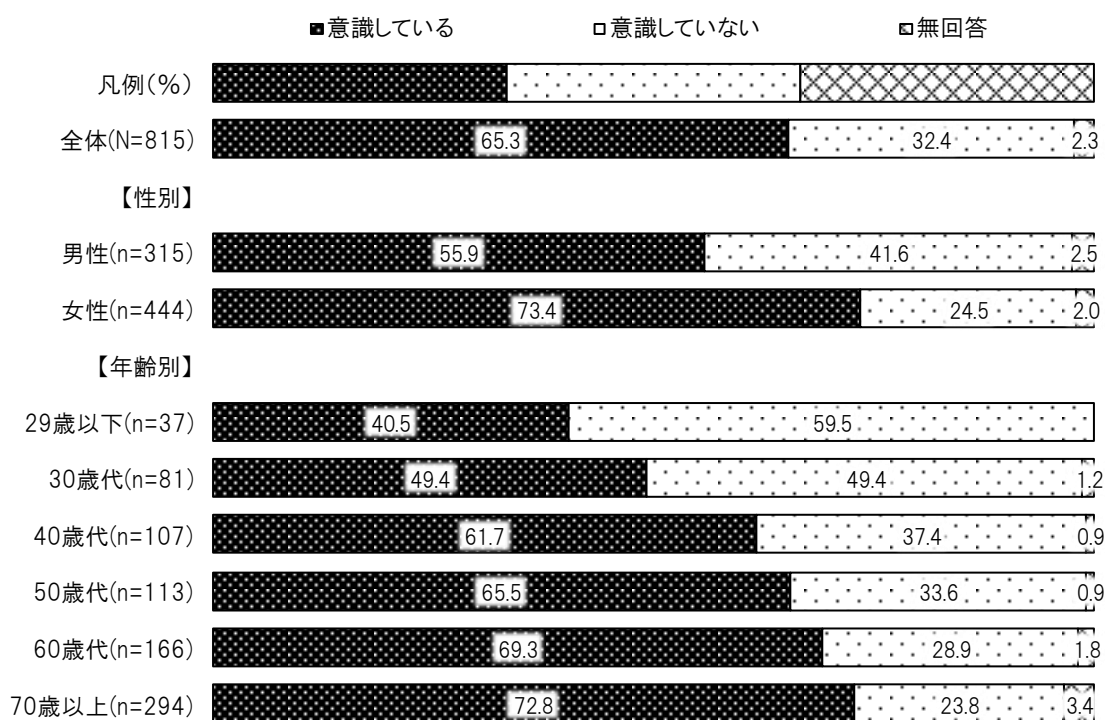
28. 農産物購入時の地元産意識

(28) あなたは、農産物を買うときに、地元産かどうか意識していますか

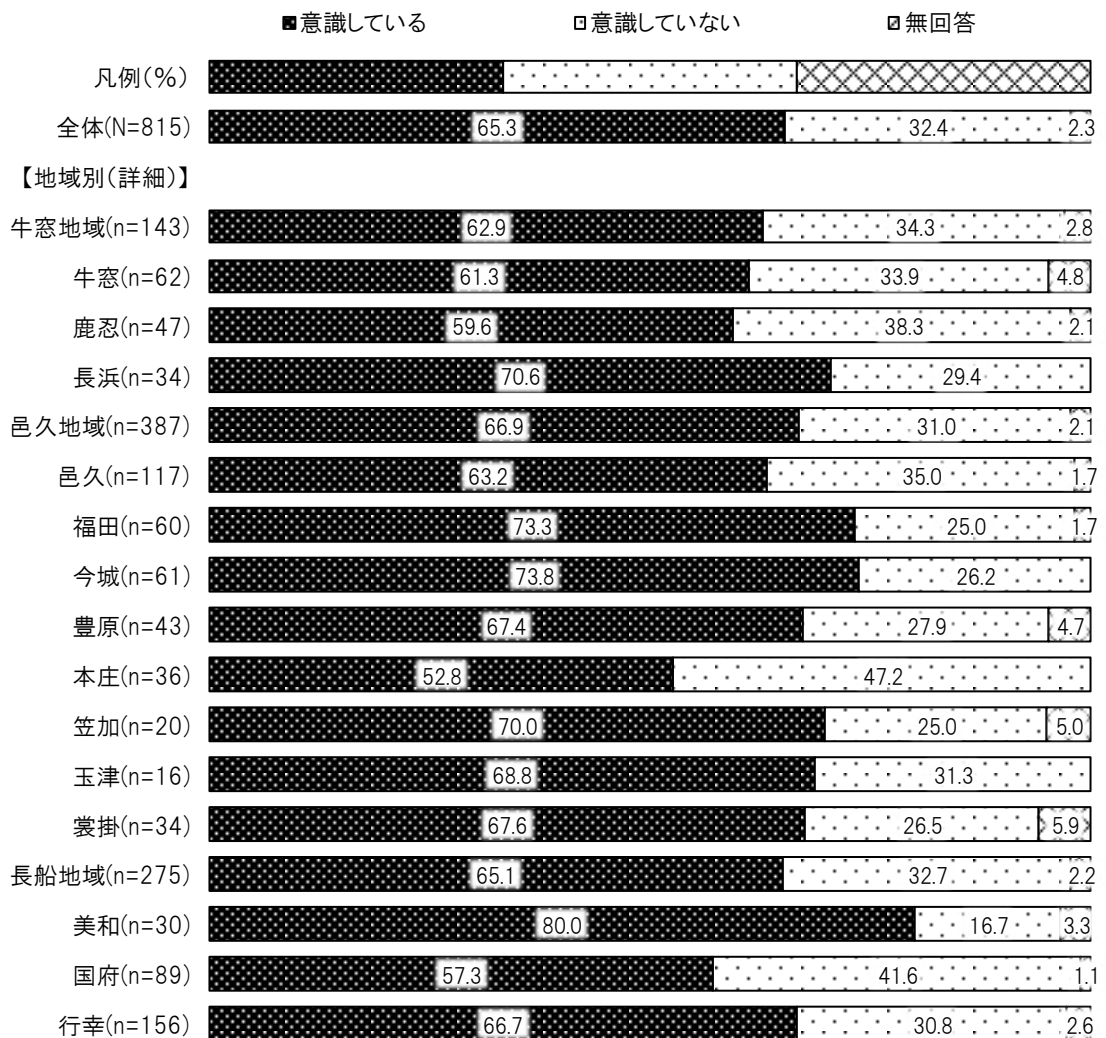
農産物購入時の地元産意識については、「意識している」が65.3%、「意識していない」が32.4%であった。

性別では、女性は「意識している」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、年齢が上がるほど「意識している」の割合が増える傾向にある。

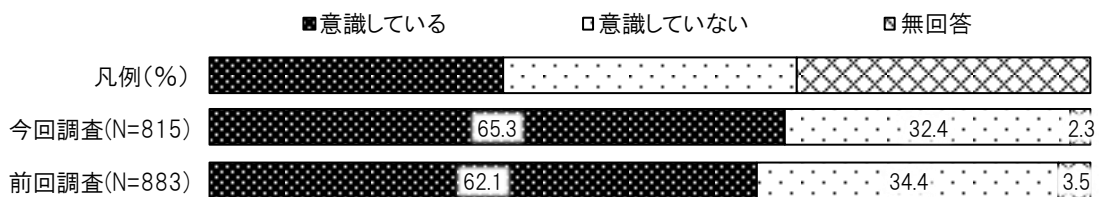


地域別でみると、「意識している」は福田、今城、美和などで高く、「意識していない」は本庄、国府などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「意識している」がやや増加した。



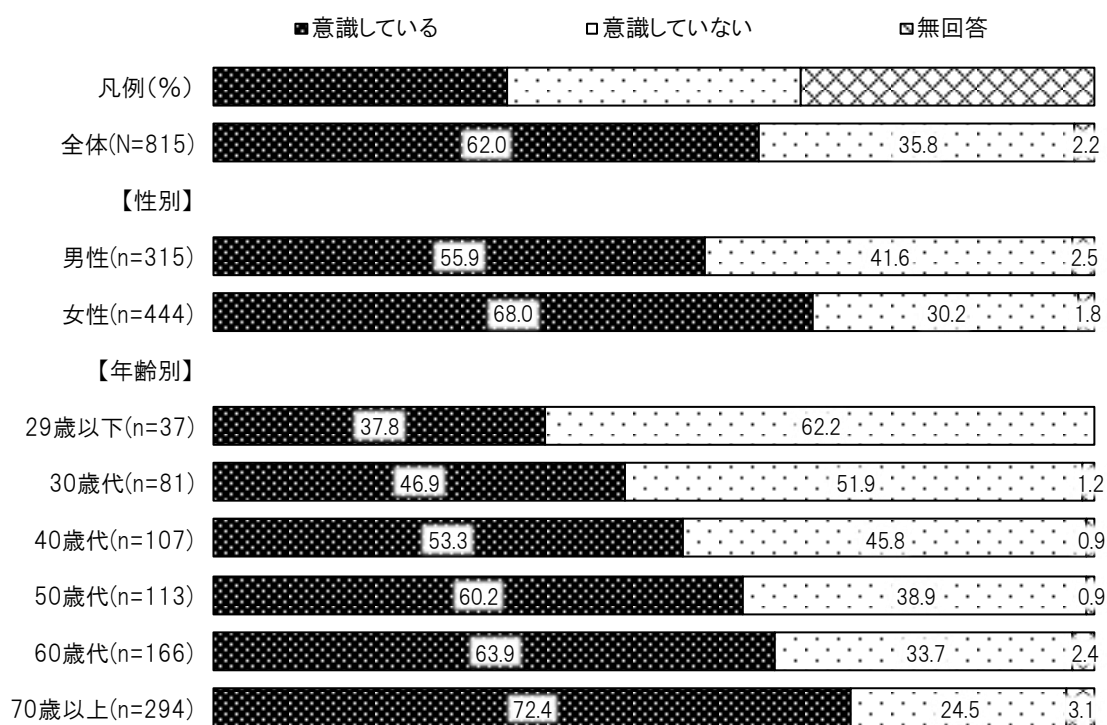
29. 水産物購入時の地元産意識

(29) あなたは、水産物を買うときに、地元産かどうか意識していますか

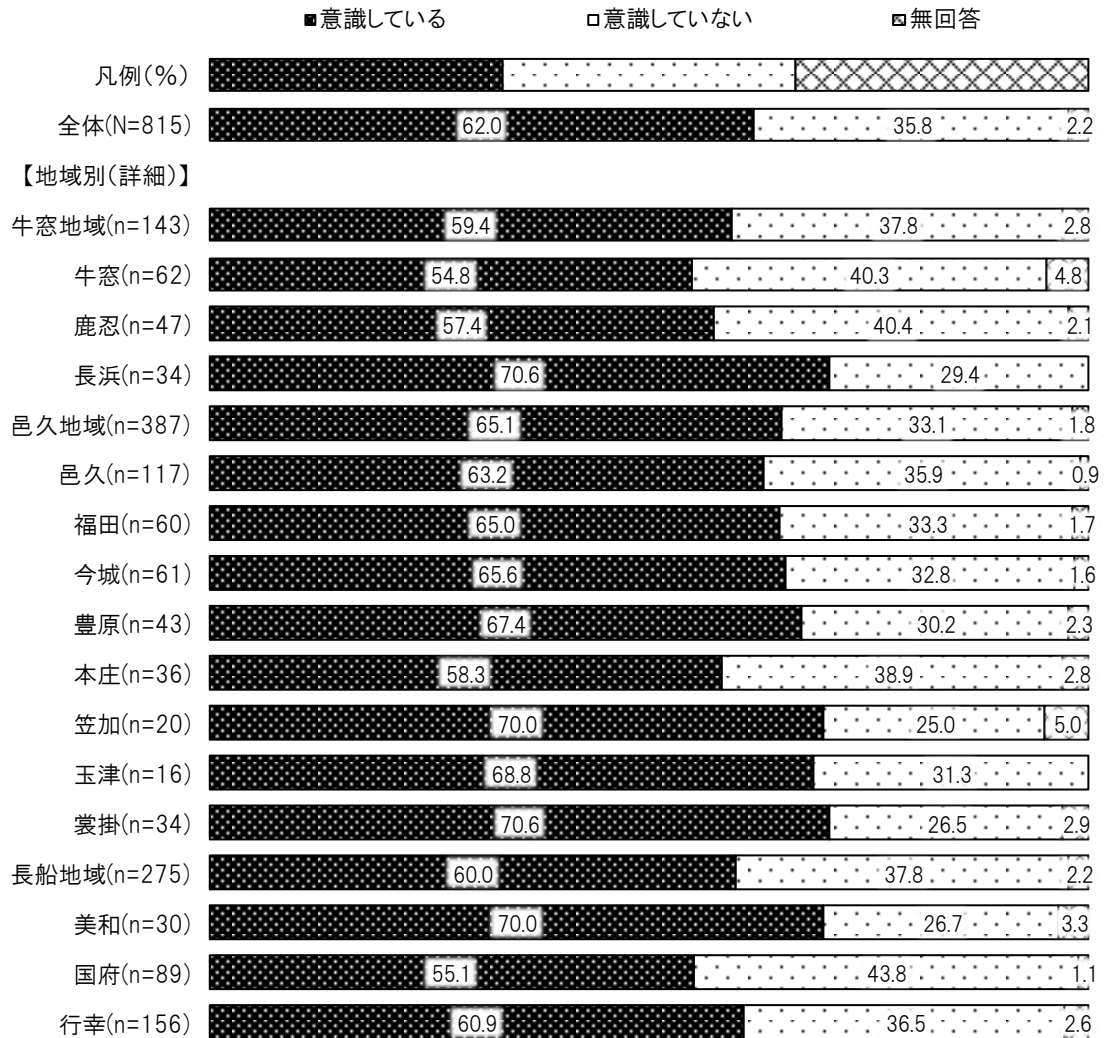
水産物購入時の地元産意識については、「意識している」が62.0%、「意識していない」が35.8%であった。

性別では、女性は「意識している」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、年齢が上がるほど「意識している」の割合が増える傾向にある。

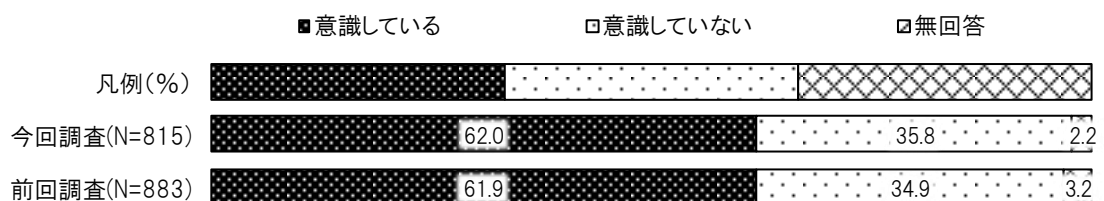


地域別でみると、「意識している」は長浜、笠加、裳掛、美和などで高く、「意識していない」は鹿忍、国府などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。



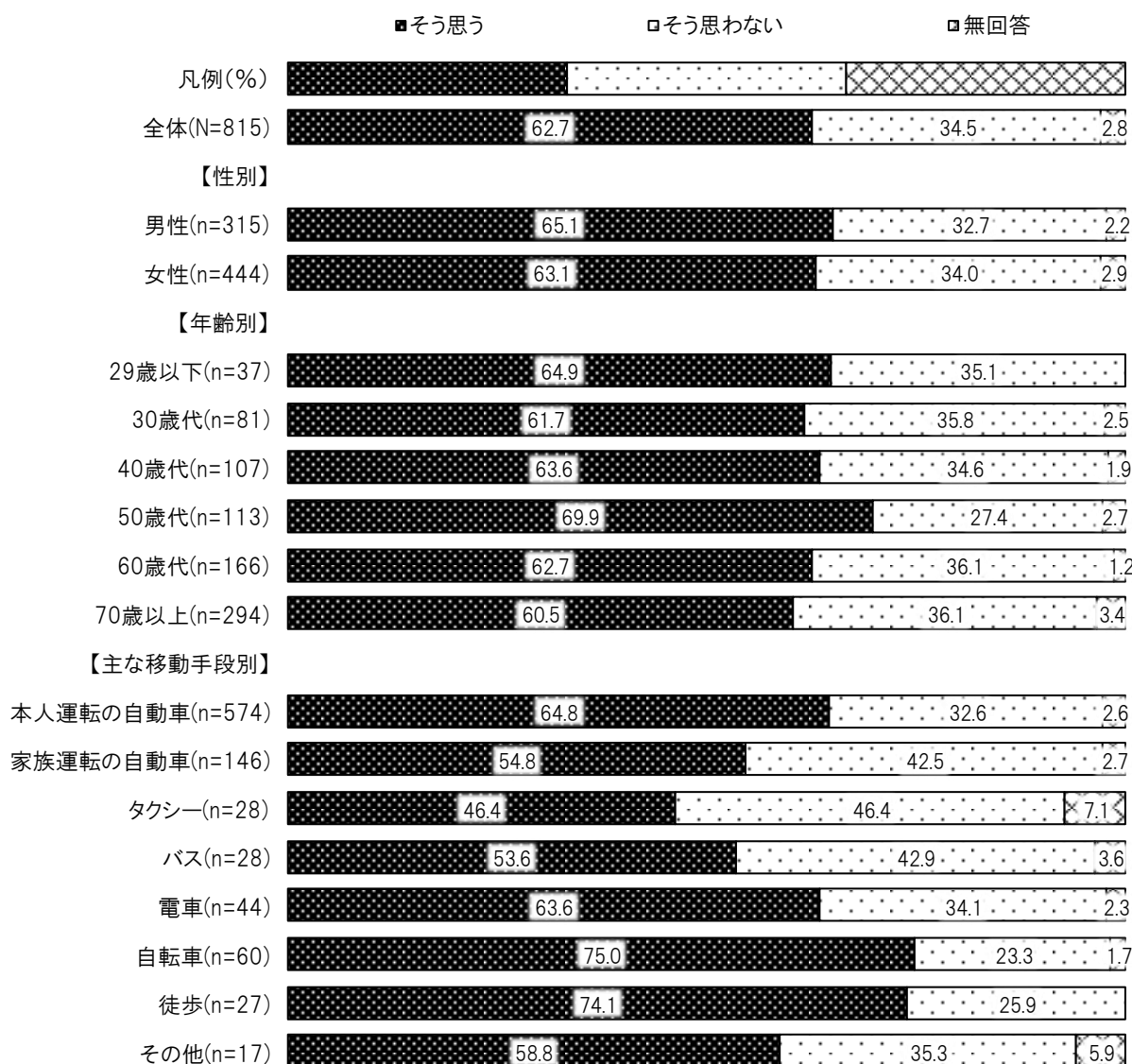
30. 日常生活品の買い物のしやすさについて

(30) あなたは、瀬戸内市は日常生活品の買い物がしやすいまちだと思いますか

日常生活品の買い物のしやすさについては、「そう思う」が62.7%、「そう思わない」が34.5%であった。

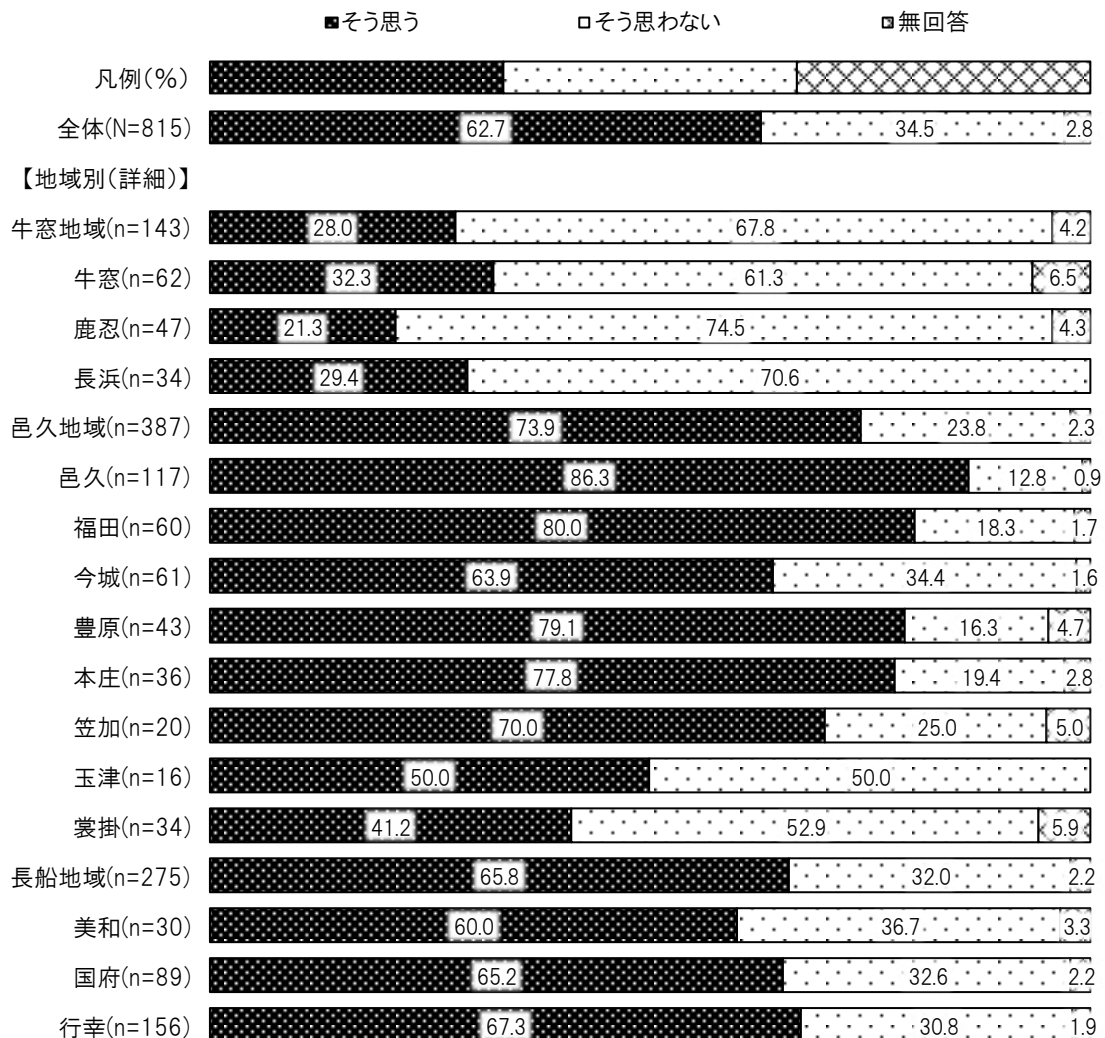
性別による大きな差はみられないが、年齢別では、50歳代で「そう思う」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

主な移動手段別でみると、「タクシー」利用者で「そう思う」が他の交通機関利用者に比べて低くなっている。



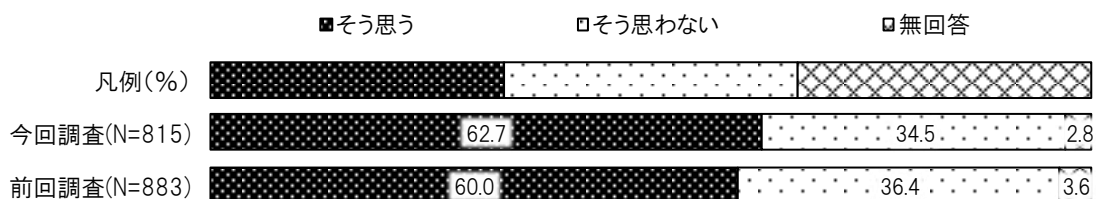
注：クロス軸のうち、主な移動手段別については、複数回答のため傾向値として参照。

地域別でみると、「そう思う」は邑久、福田などで高く、「そう思わない」は鹿忍、長浜などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「そう思う」がやや増加した。



31. 「広報せとうち」 閲読状況

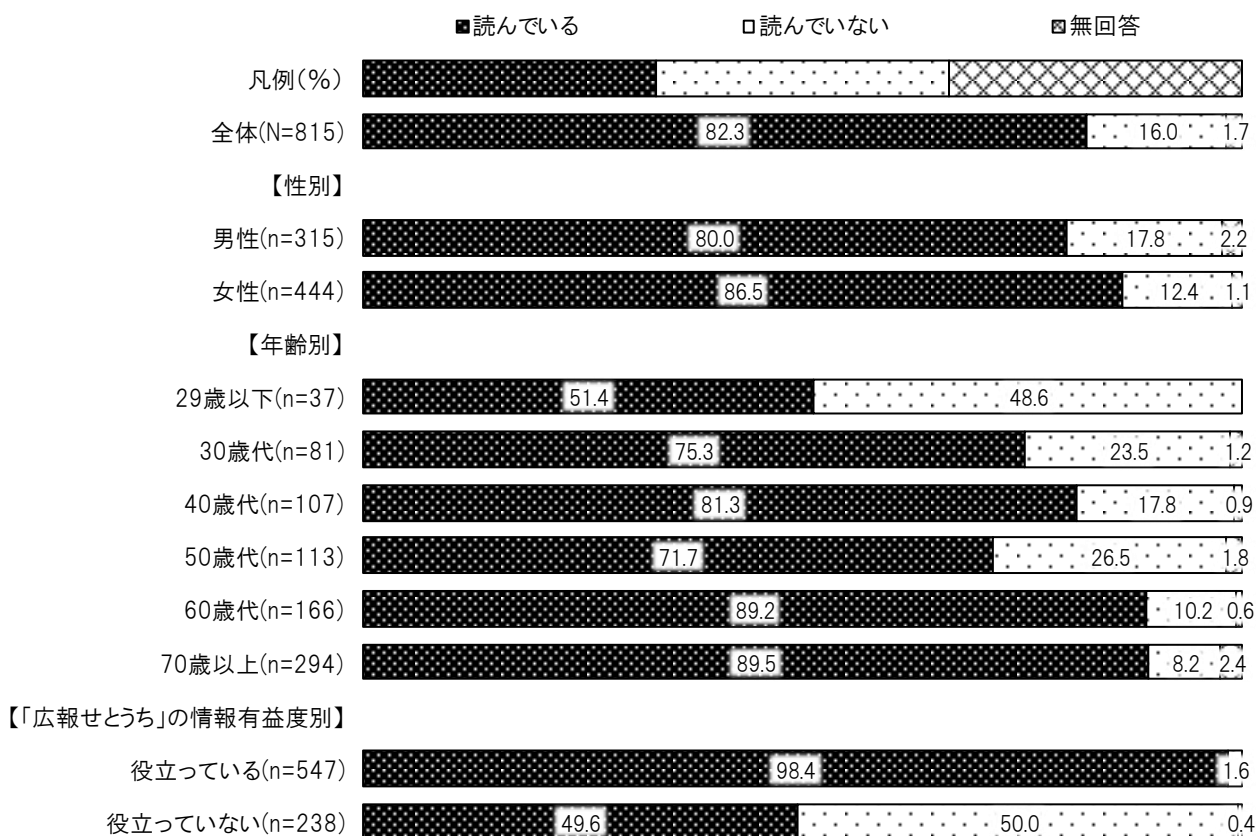
(31) あなたは、「広報せとうち」を読んでいますか

「広報せとうち」閲読状況については、「読んでいる」が82.3%、「読んでいない」が16.0%であった。

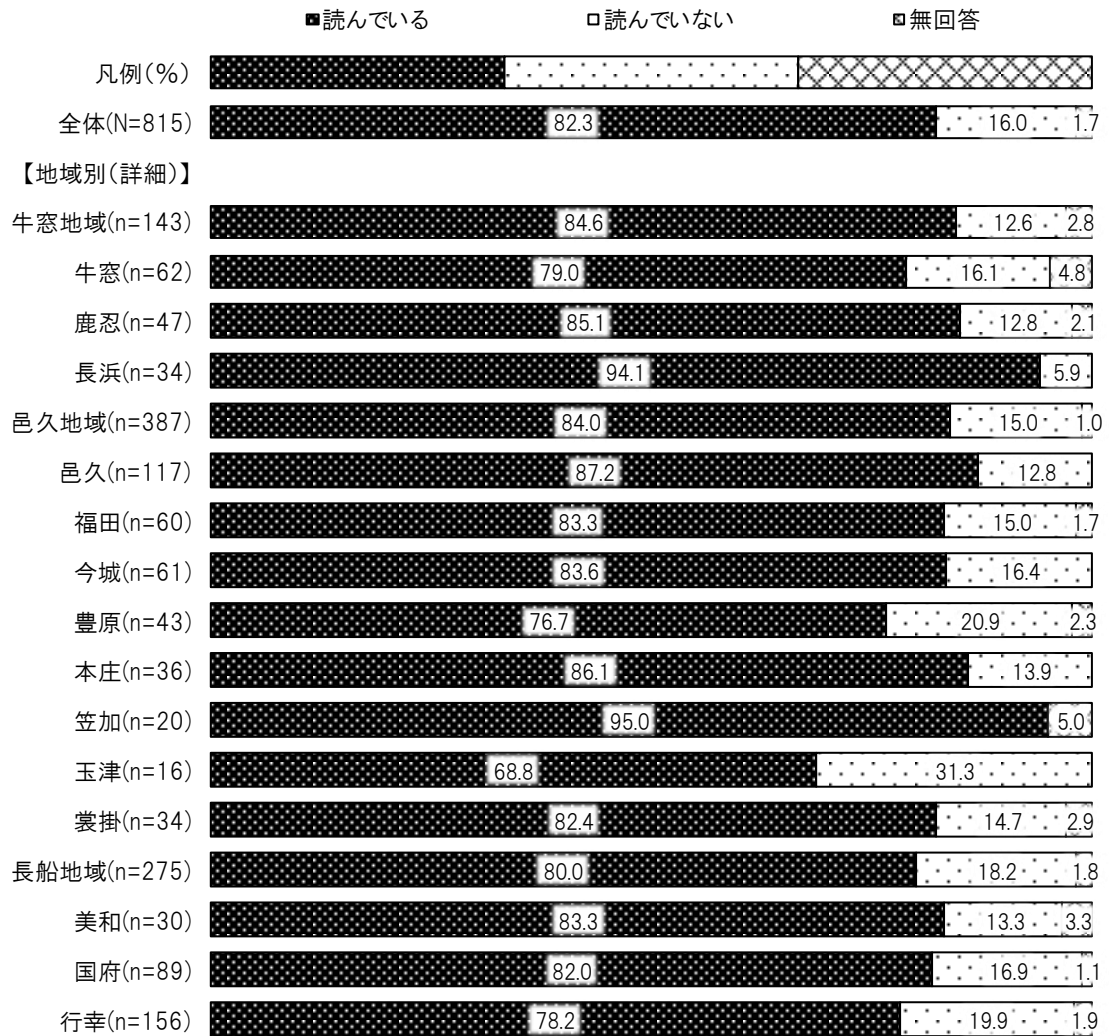
性別では、女性は男性に比べて「読んでいる」の割合が高くなっている。

年齢別では、おおむね年齢が上がるほど「読んでいる」の割合が増える傾向にある。一方、29歳以下の年齢層では約半数が「読んでいない」と回答している。

「広報せとうち」の情報有益度別で見ると、役立っていないと回答した層の半数が「読んでいない」と回答している。

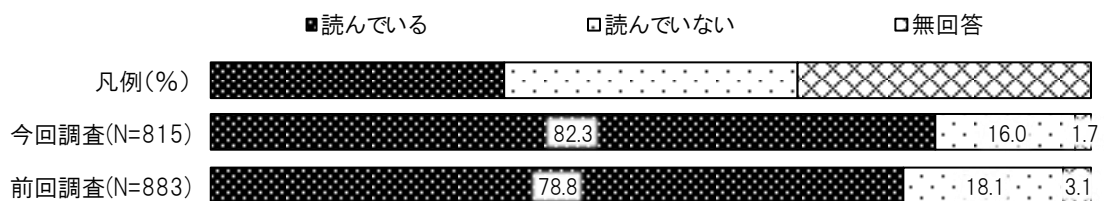


地域別でみると、「読んでいる」は長浜、笠加などで高く、「読んでいない」は玉津で高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「読んでいる」がやや増加した。



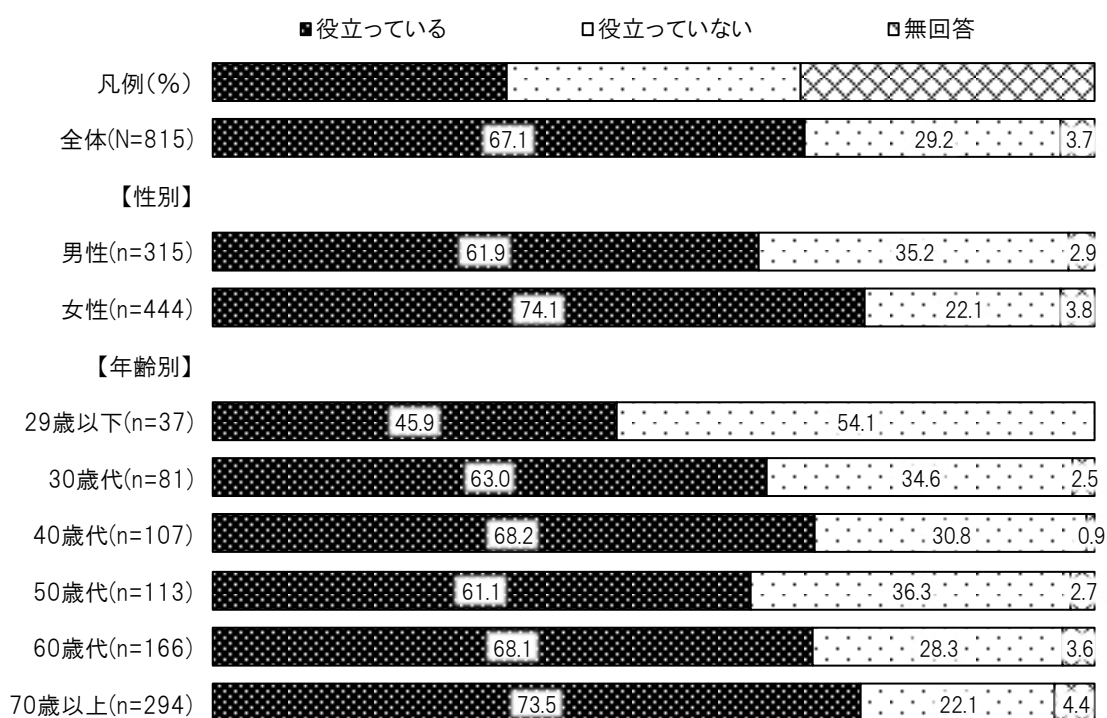
32. 「広報せとうち」の情報の有益度について

(32) あなたにとって、「広報せとうち」の情報は役立っていますか

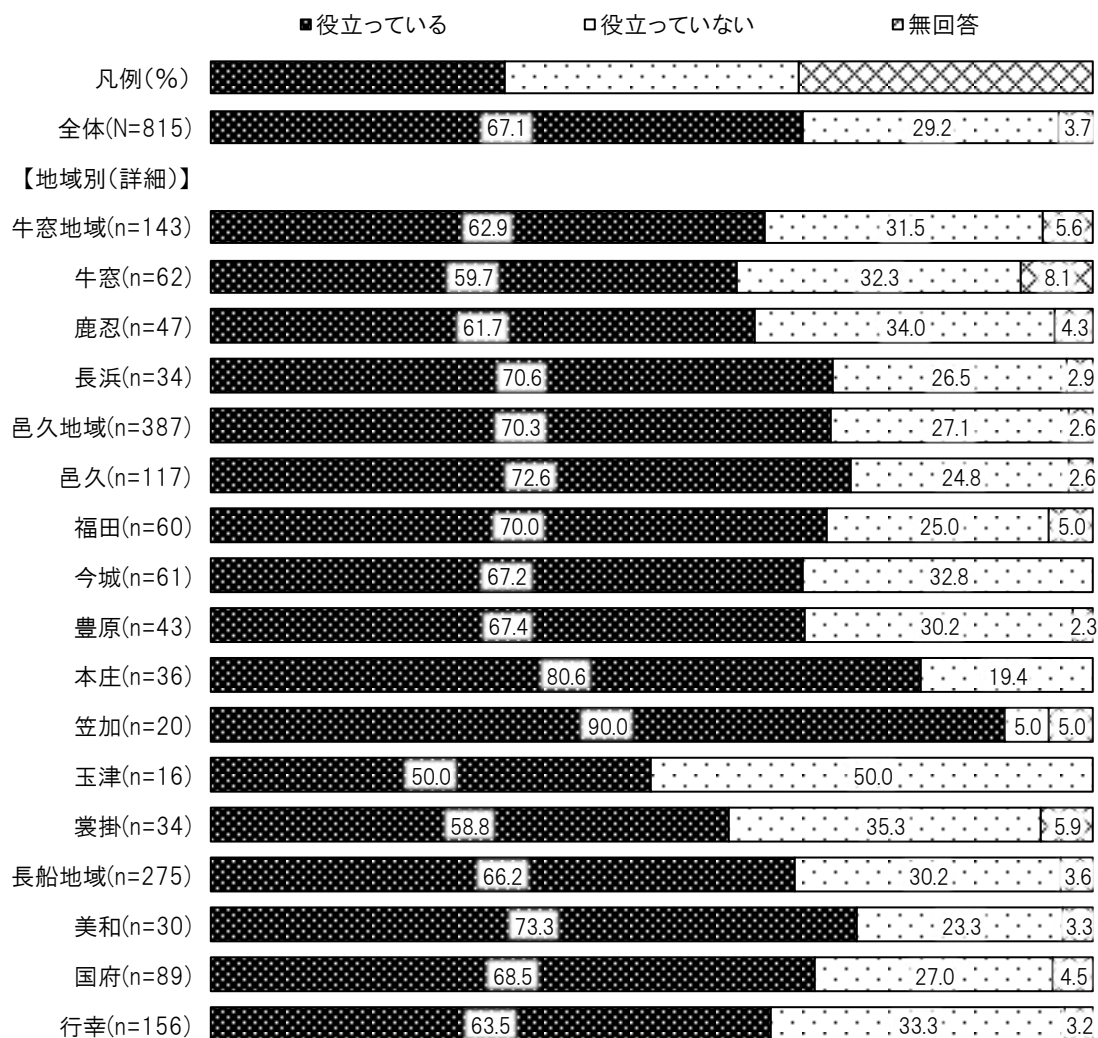
「広報せとうち」の情報の有益度については、「役立っている」が67.1%、「役立っていない」が29.2%であった。

性別では、女性は「役立っている」の割合が男性を大きく上回っており、男性は女性に比べ「役立っていない」の割合が高くなっている。

年齢別では、70歳以上の年齢層で「役立っている」の割合が高くなっている。一方、29歳以下の年齢層では半数以上が「役立っていない」と回答している。

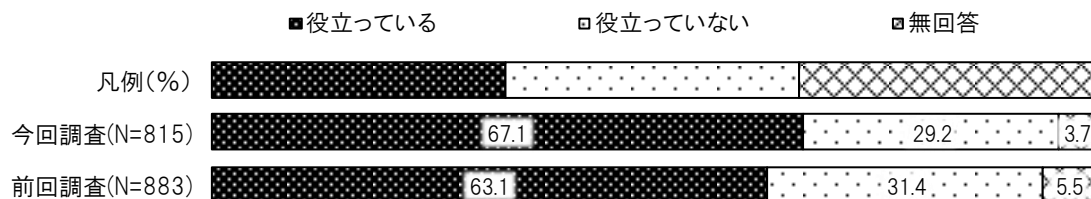


地域別でみると、「役立っている」は本庄、笠加などで高く、「役立っていない」は玉津で高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「役立っている」がやや増加した。



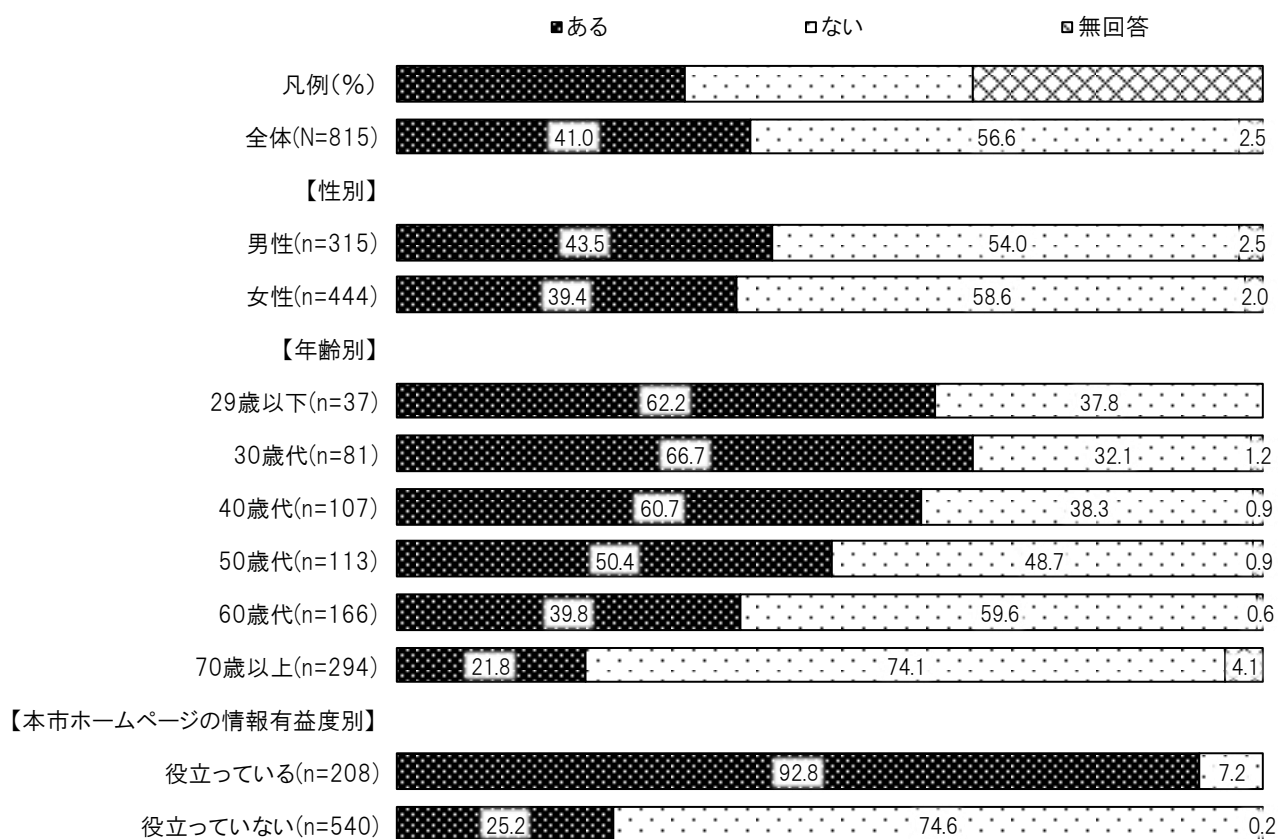
33. 本市ホームページ閲覧状況

(33) あなたは、瀬戸内市のホームページを見たことがありますか

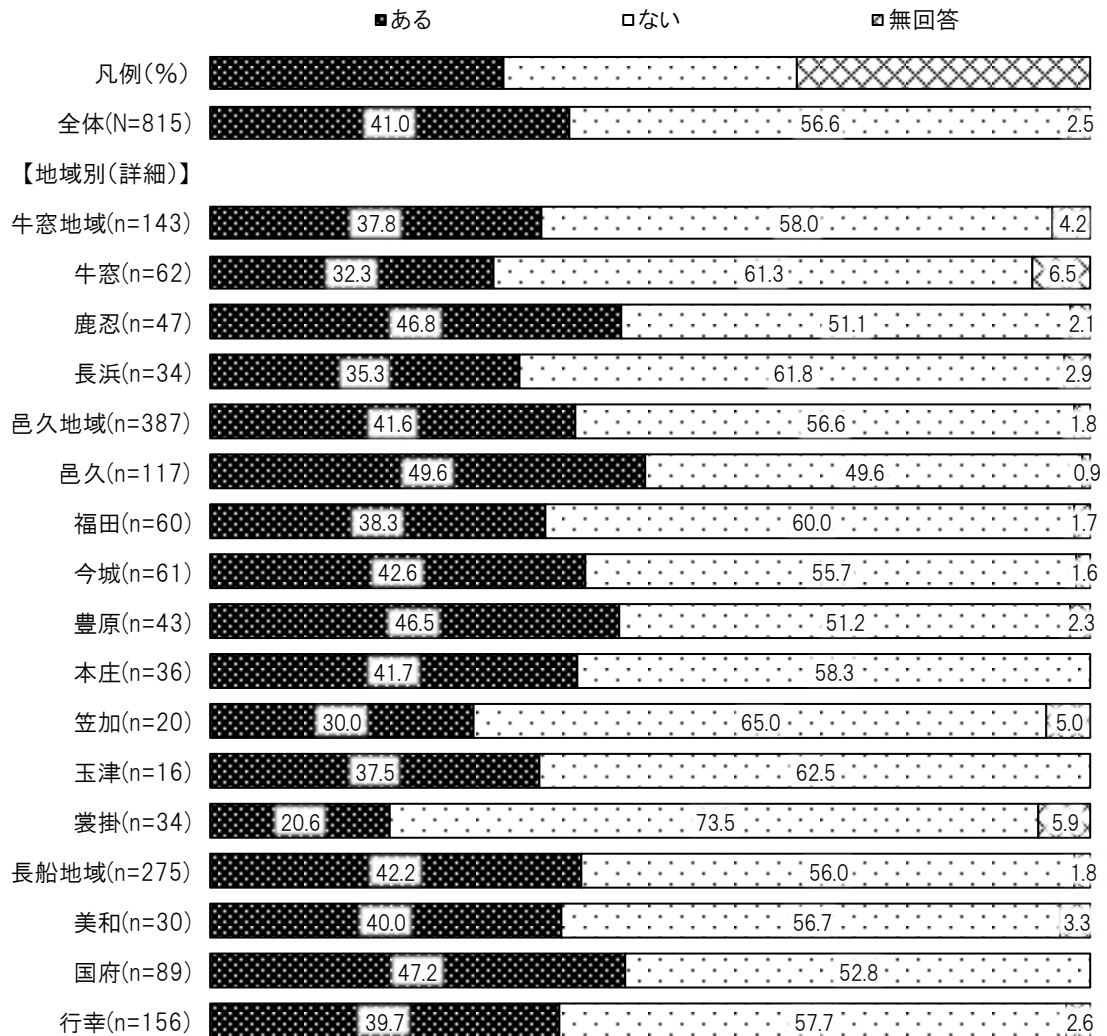
本市ホームページ閲覧状況については、「ある」が41.0%、「ない」が56.6%であった。
性別では、男性は女性に比べ「ある」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、おおむね若い年齢層ほど「ある」の割合が増える傾向にある。

本市ホームページの情報有益度別では、役立っていないと回答した層の7割以上が「ない」と回答している。

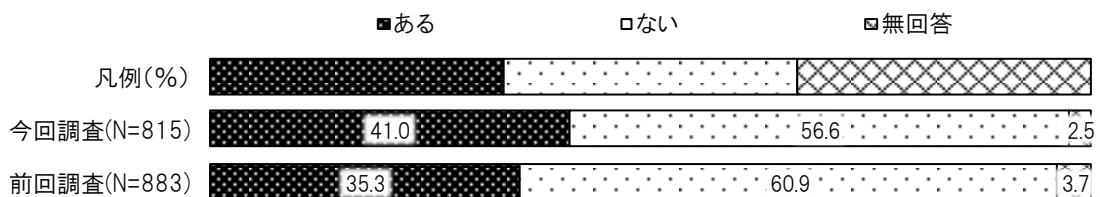


地域別でみると、「ある」は鹿忍、邑久、豊原、国府などで高く、「ない」は裳掛で高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「ある」が増加した。



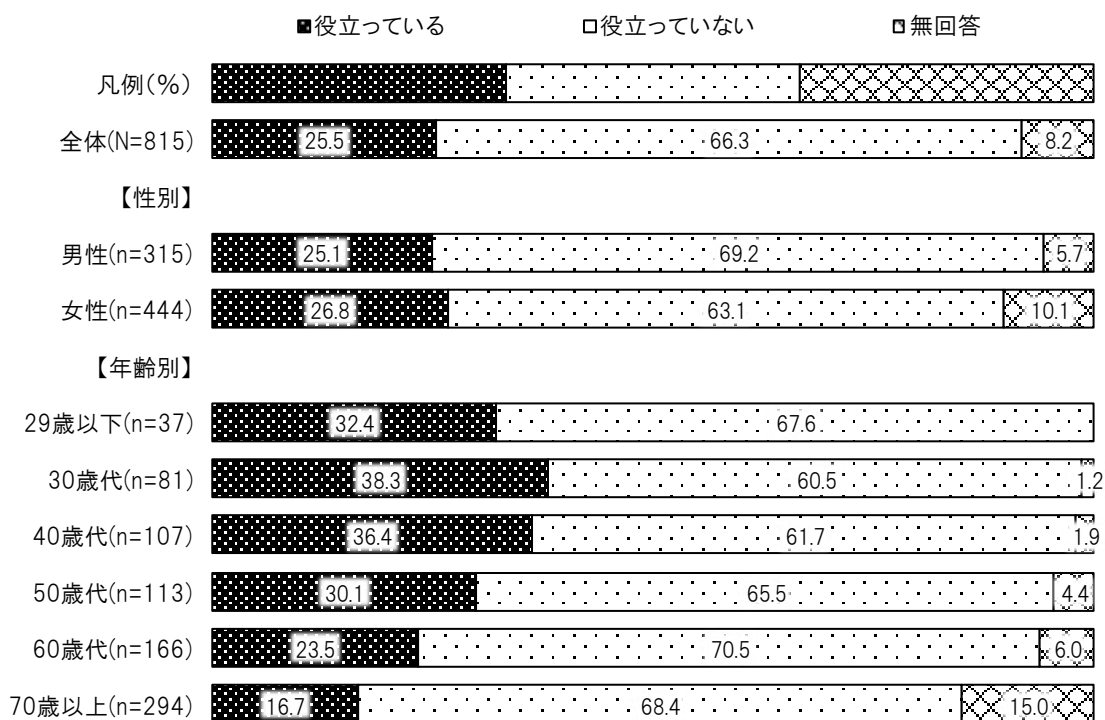
34. 本市ホームページの情報の有益度

(34) あなたにとって、瀬戸内市ホームページの情報は役立っていますか

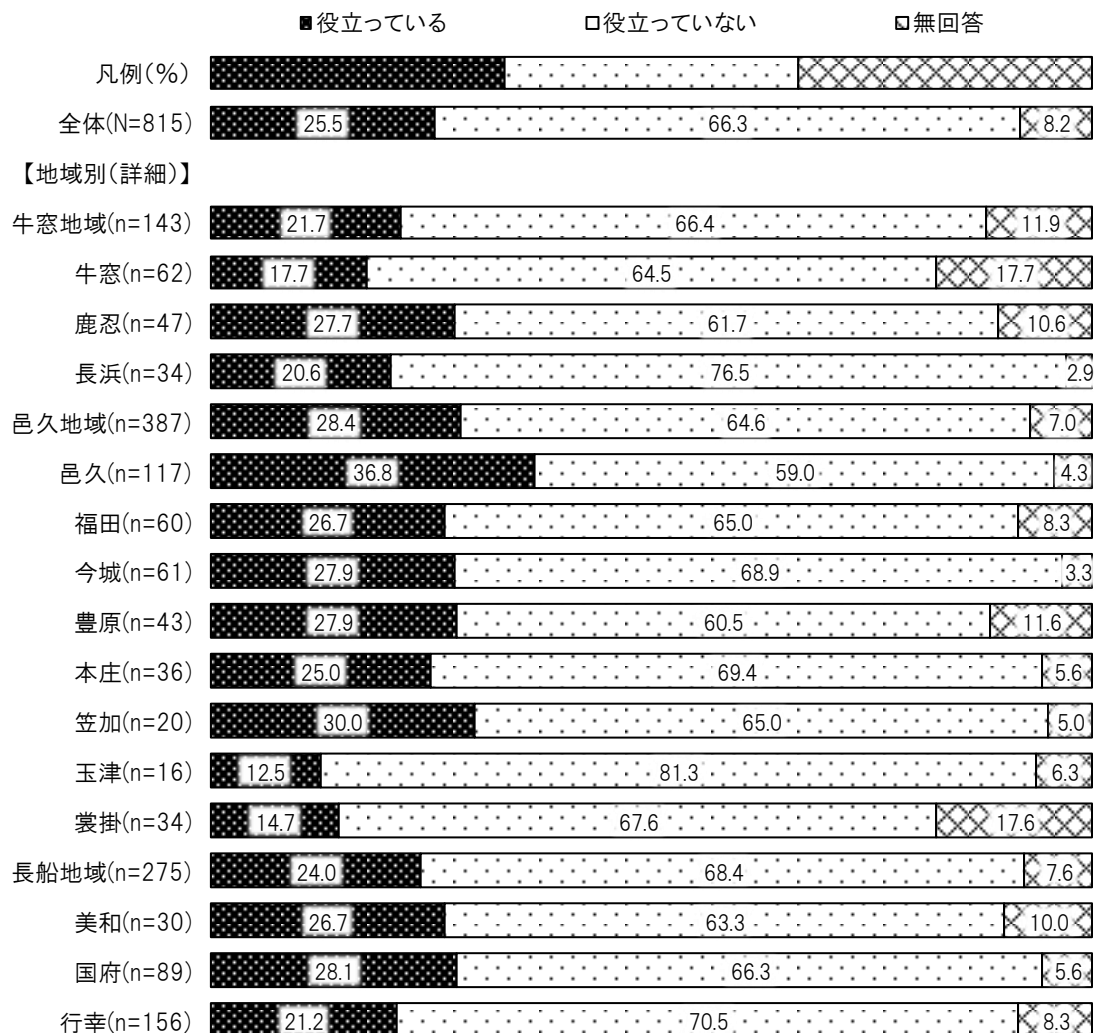
本市ホームページの情報の有益度については、「役立っている」が25.5%、「役立っていない」が66.3%であった。

性別では、男性は女性に比べ「役立っていない」の割合が高くなっている。

年齢別では、おおむね若い年齢層ほど「役立っている」の割合が増える傾向にある。

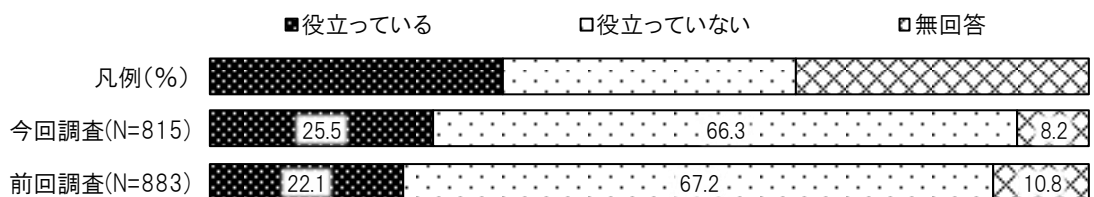


地域別でみると、「役立っている」は邑久で高く、「役立っていない」は長浜、玉津などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「役立っている」がやや増加した。



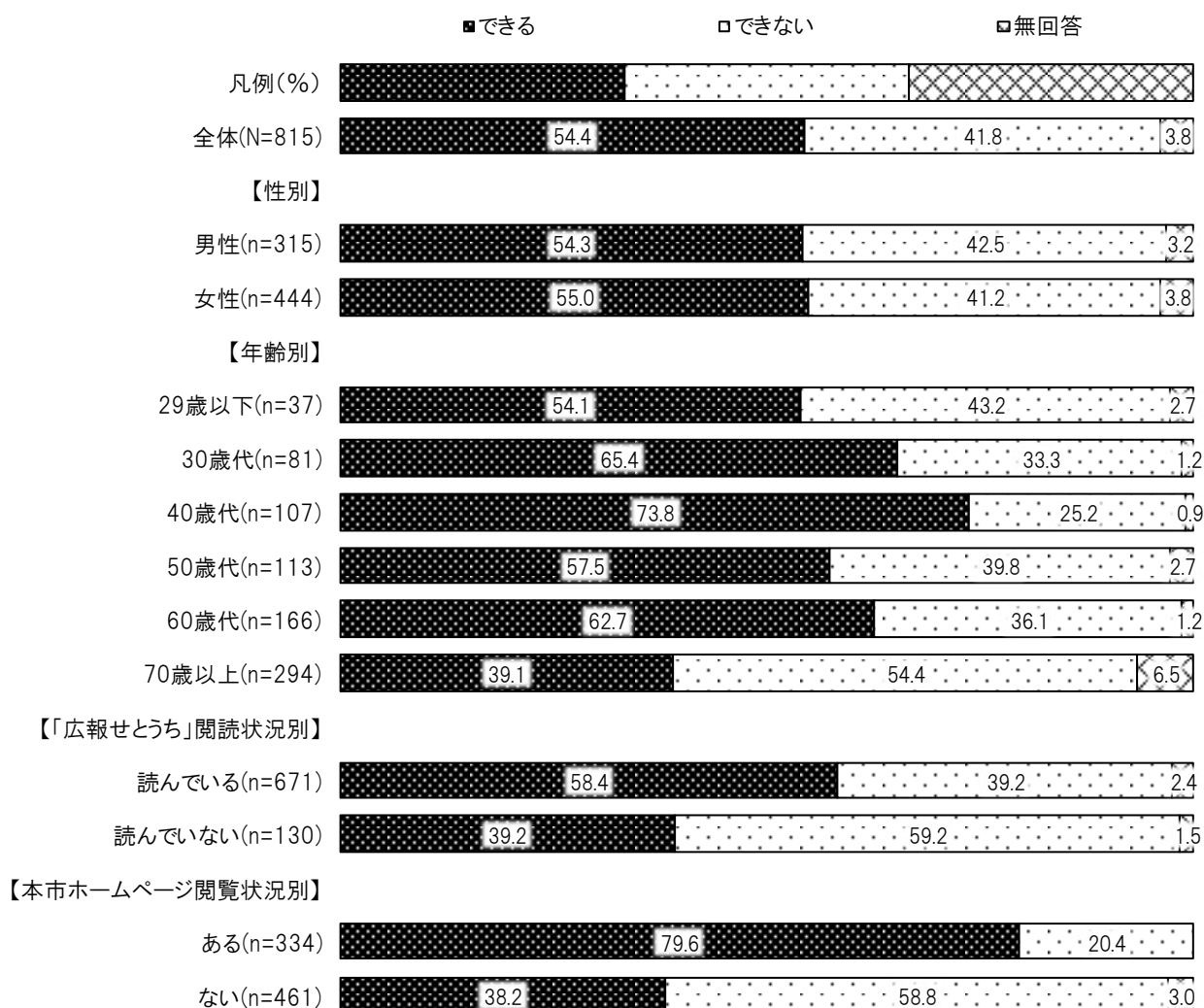
35. 広報紙やホームページにより市の情報を入手すること

(35) あなたは、広報紙やホームページで必要な市の情報を手に入れることができますか

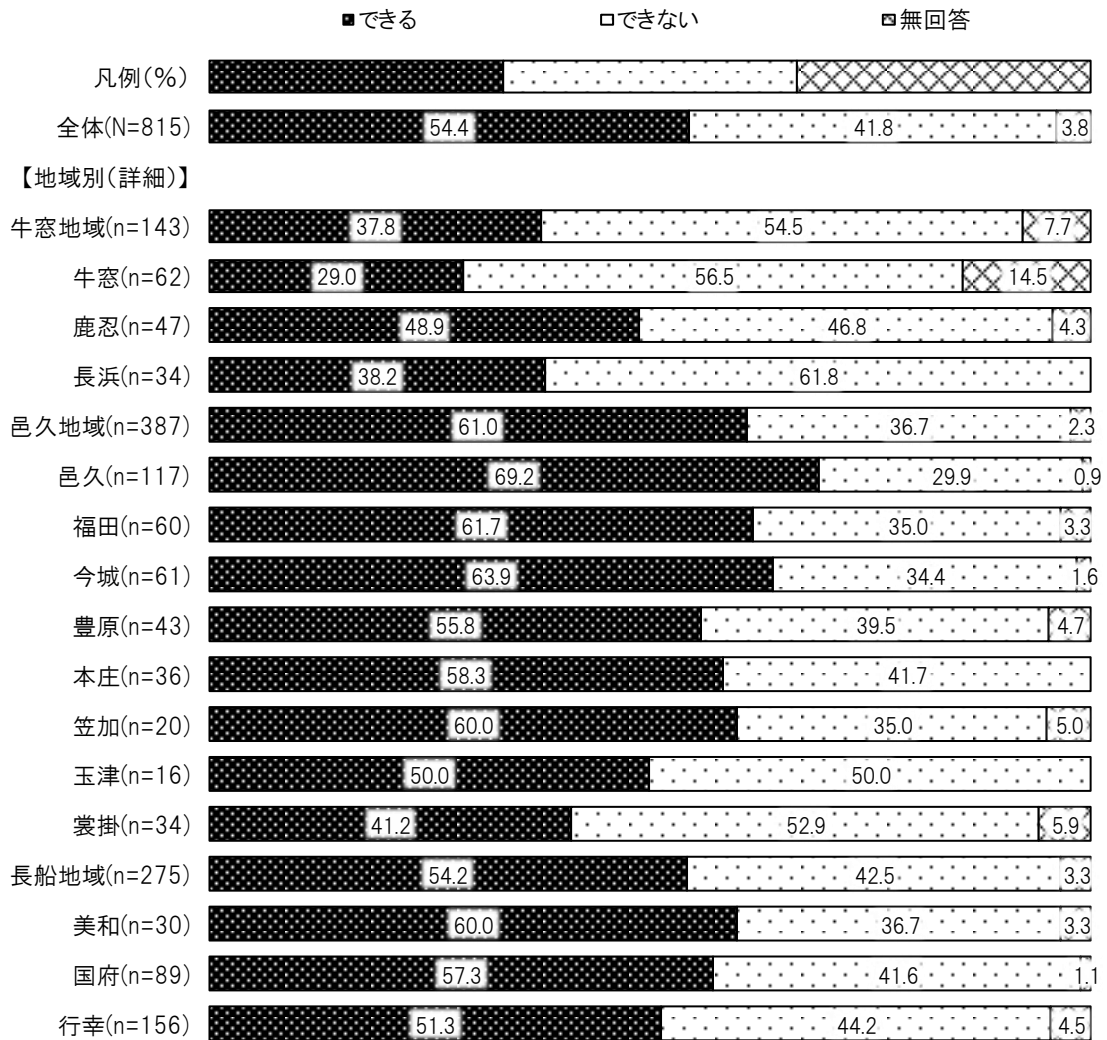
広報紙やホームページにより市の情報を入手することについては、「できる」が54.4%、「できない」が41.8%であった。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では、40歳代で「できる」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

「できる」の割合は、「広報せとうち」読者層で約6割、本市ホームページ閲覧経験がある層で約8割となっている。

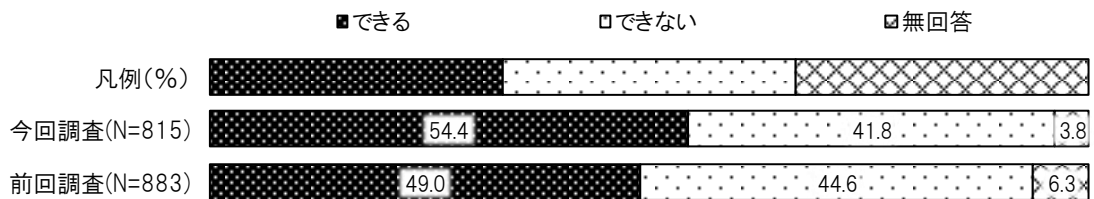


地域別でみると、「できる」は邑久、今城などで高く、「できない」は牛窓、長浜などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「できる」が増加した。



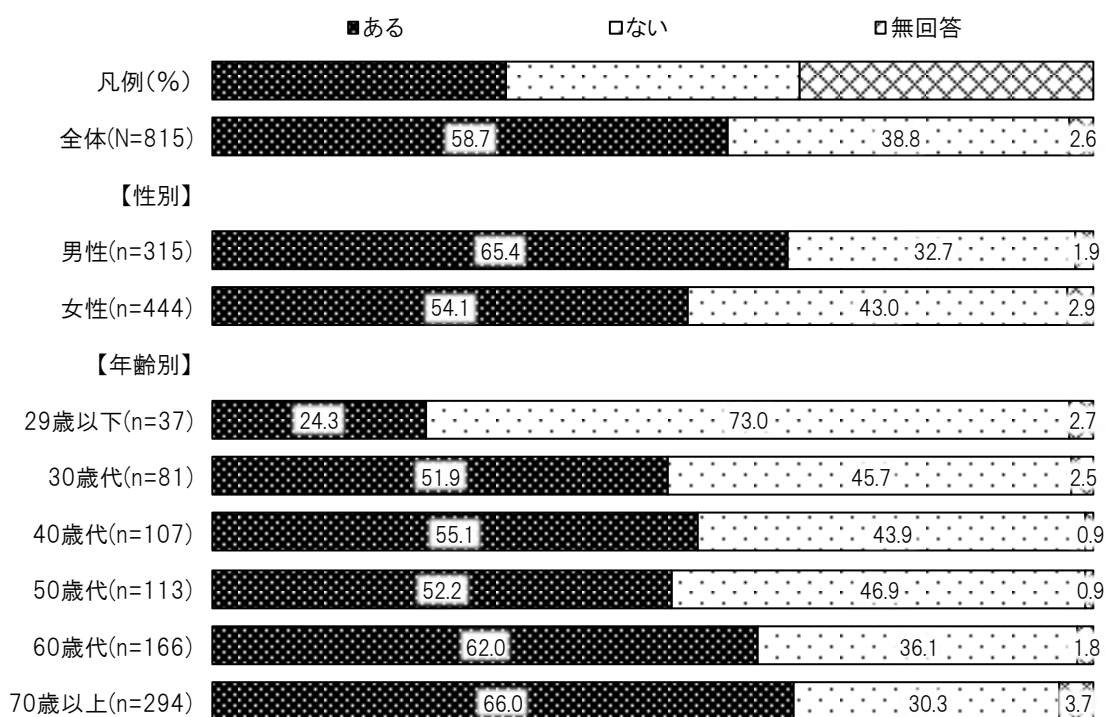
36. 市政への関心度

(36) あなたは、市政に関心がありますか

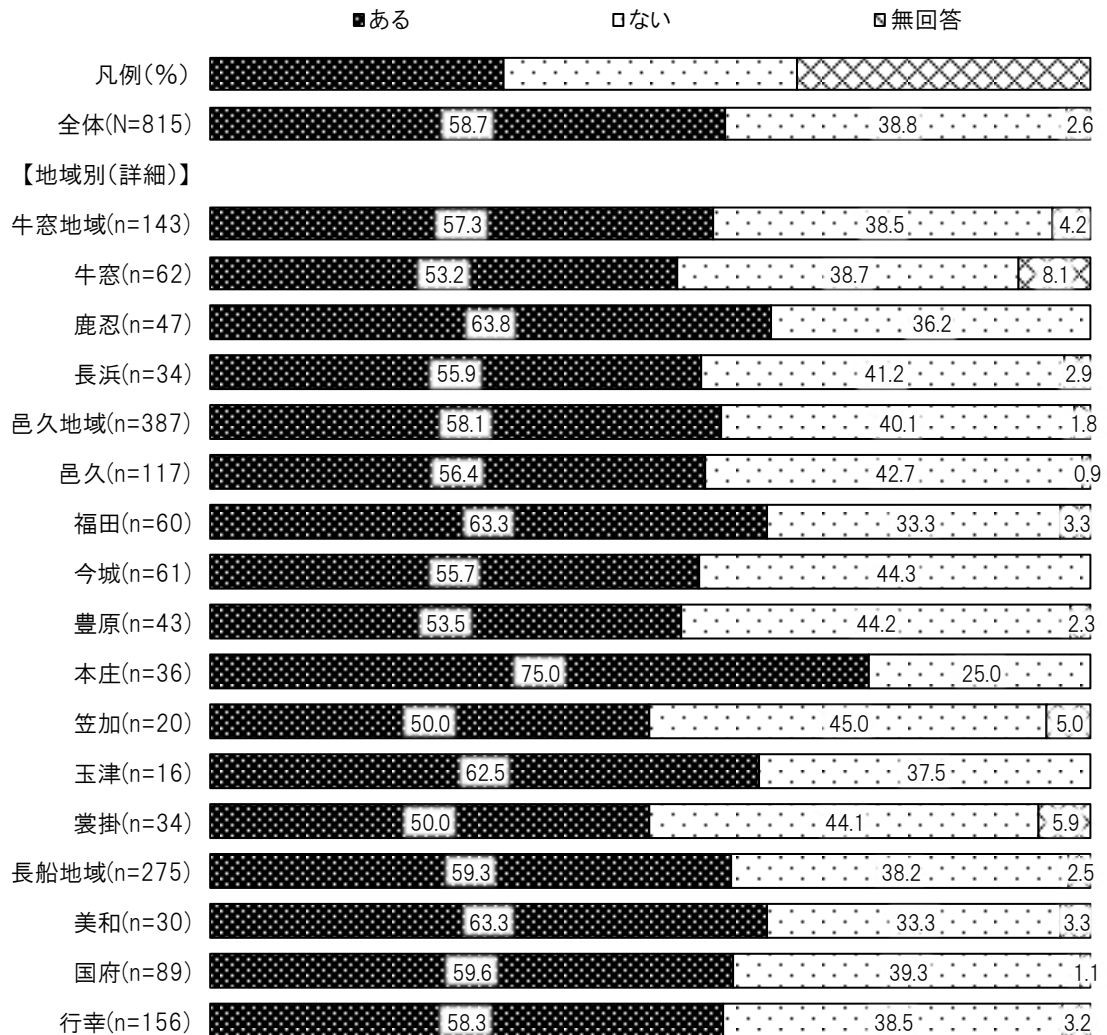
市政への関心については、「ある」が58.7%、「ない」が38.8%であった。

性別では、男性は「ある」の割合が女性を大きく上回っている。

年齢別では、おおむね年齢が上がるほど「ある」の割合が増える傾向にある。一方、29歳以下の年齢層の7割以上は「ない」と回答している。

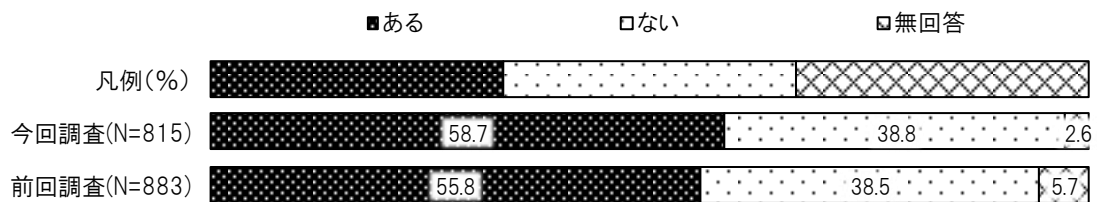


地域別でみると、「ある」は本庄で高く、「ない」は今城、豊原、笠加、裳掛などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「ある」がやや増加した。



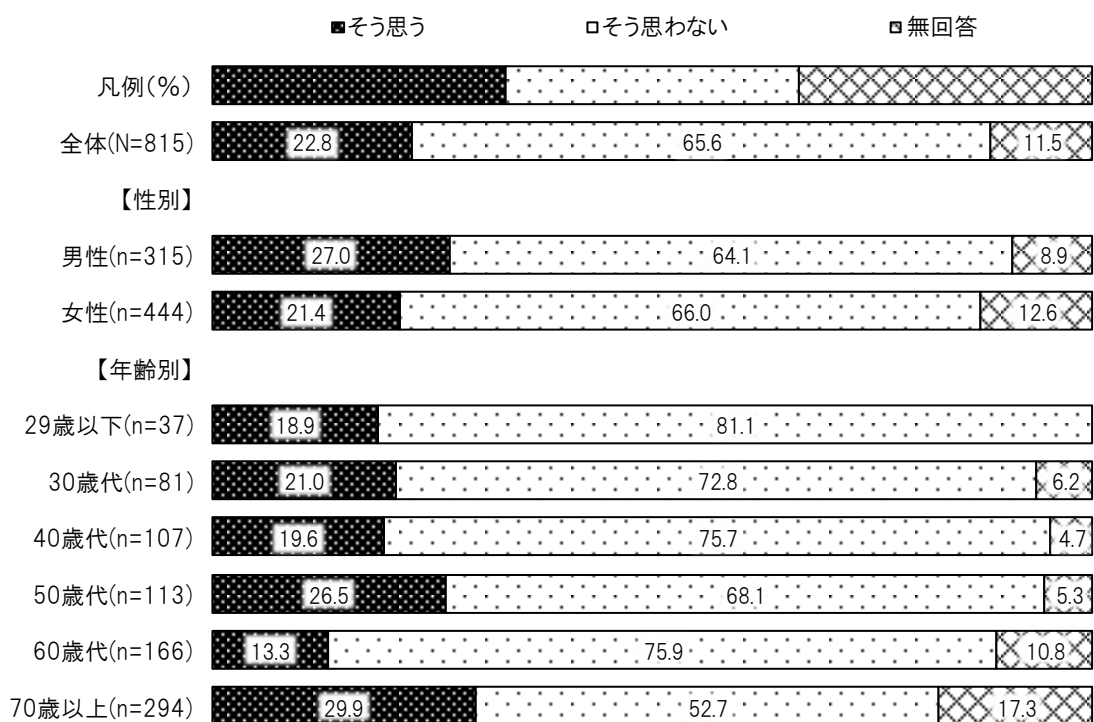
37. 市の財政改善状況について

(37) 広報紙やホームページを通じて市の財政状況を公表していますが、あなたは、市の財政が改善されていると思いますか

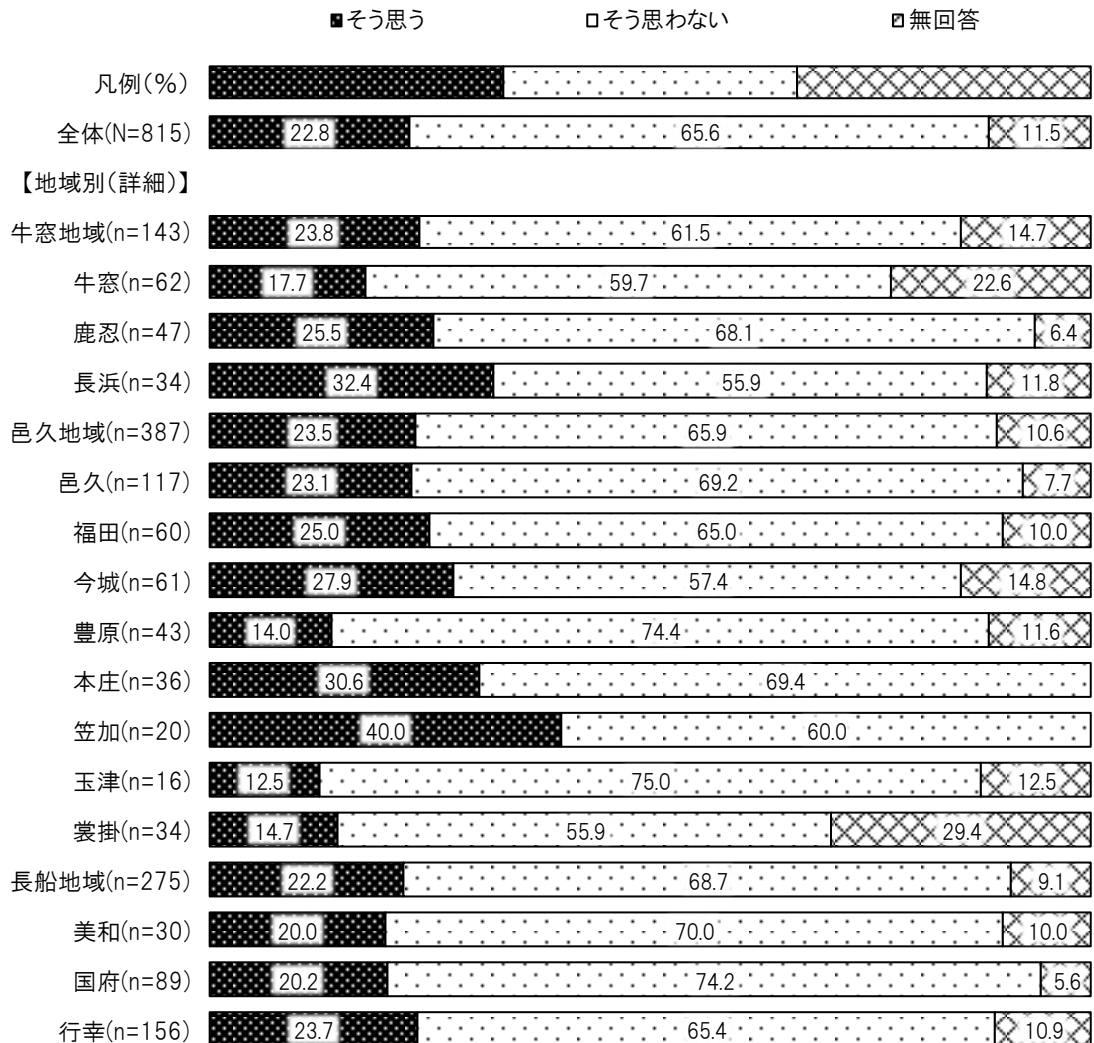
市の財政改善状況については、「そう思う」が22.8%、「そう思わない」が65.6%であった。

性別では、男性は女性に比べ「そう思う」の割合が高くなっている。

年齢別では、50歳代と70歳以上で「そう思う」の割合がそれぞれ高くなっている。

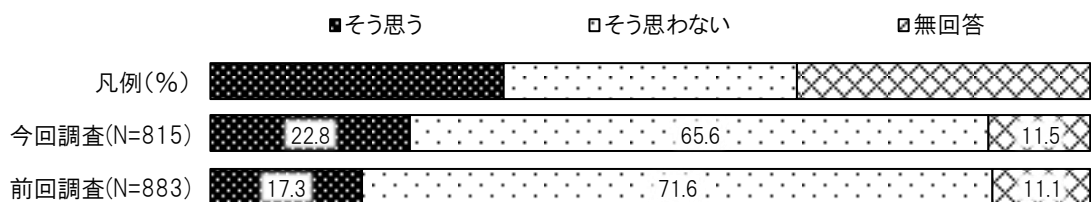


地域別でみると、「そう思う」は長浜、笠加などで高く、「そう思わない」は豊原、玉津、国府などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「そう思う」が増加した。



38. 地域コミュニティ活動参加状況

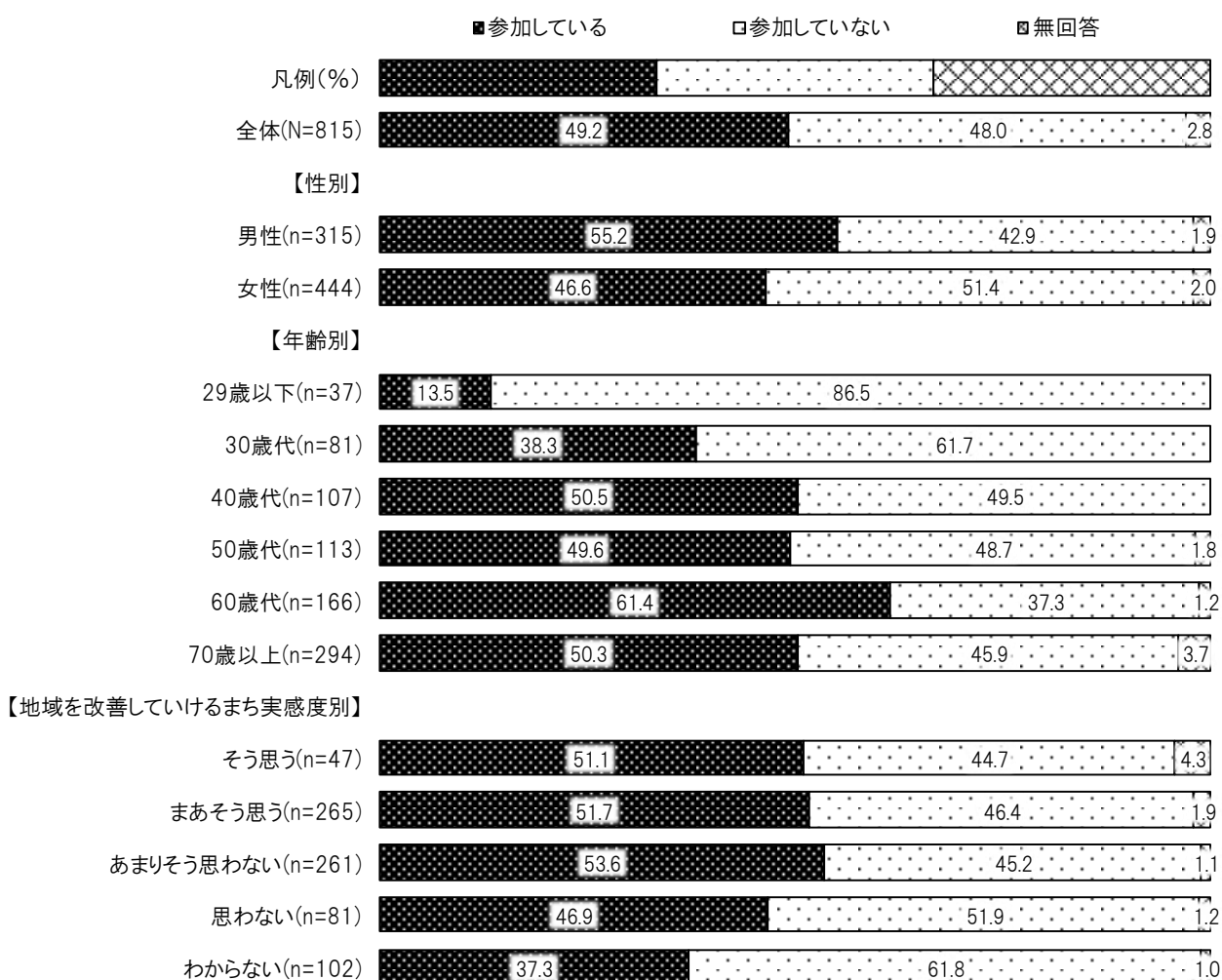
(38) あなたは、自治会などでの地域コミュニティ活動に参加していますか

地域コミュニティ活動参加状況については、「参加している」が49.2%、「参加していない」が48.0%であった。

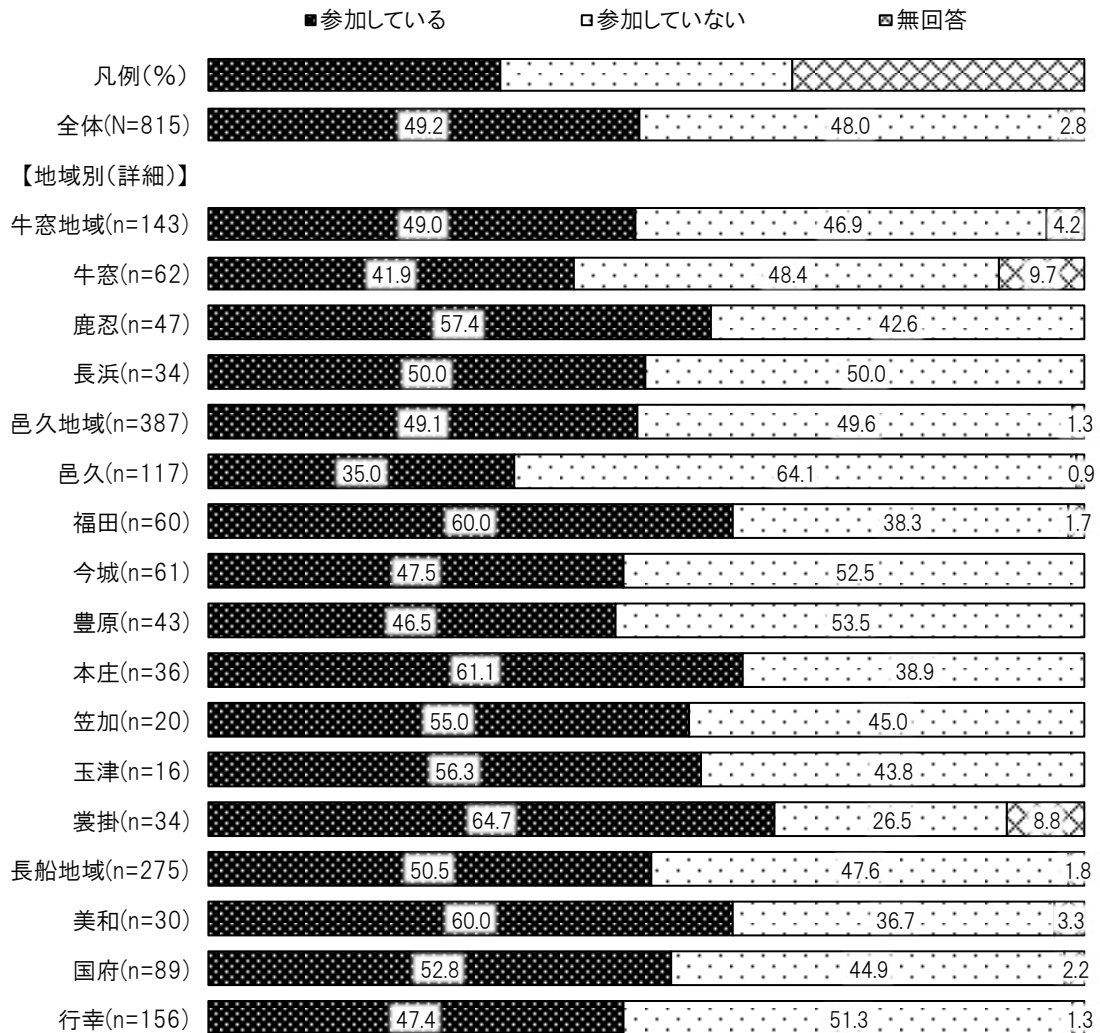
性別では、男性は「参加している」の割合が女性を大きく上回っている。

年齢別では、60歳代で「参加している」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。一方、29歳以下の年齢層の8割以上は「参加していない」と回答している。

地域を改善していけるまち実感度別では、わからないと回答した層で「参加していない」の割合が高くなっている。

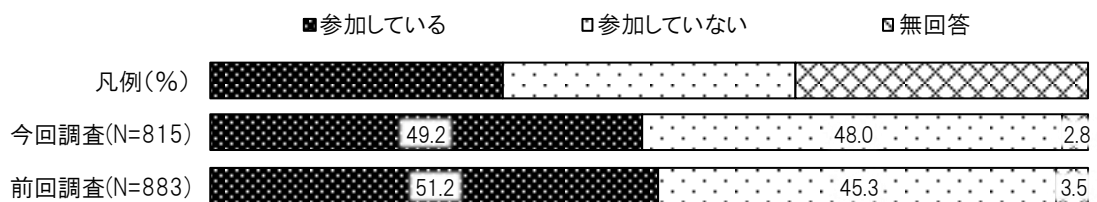


地域別でみると、「参加している」は福田、本庄、裳掛、美和などで高く、「参加していない」は邑久で高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「参加していない」がやや増加した。



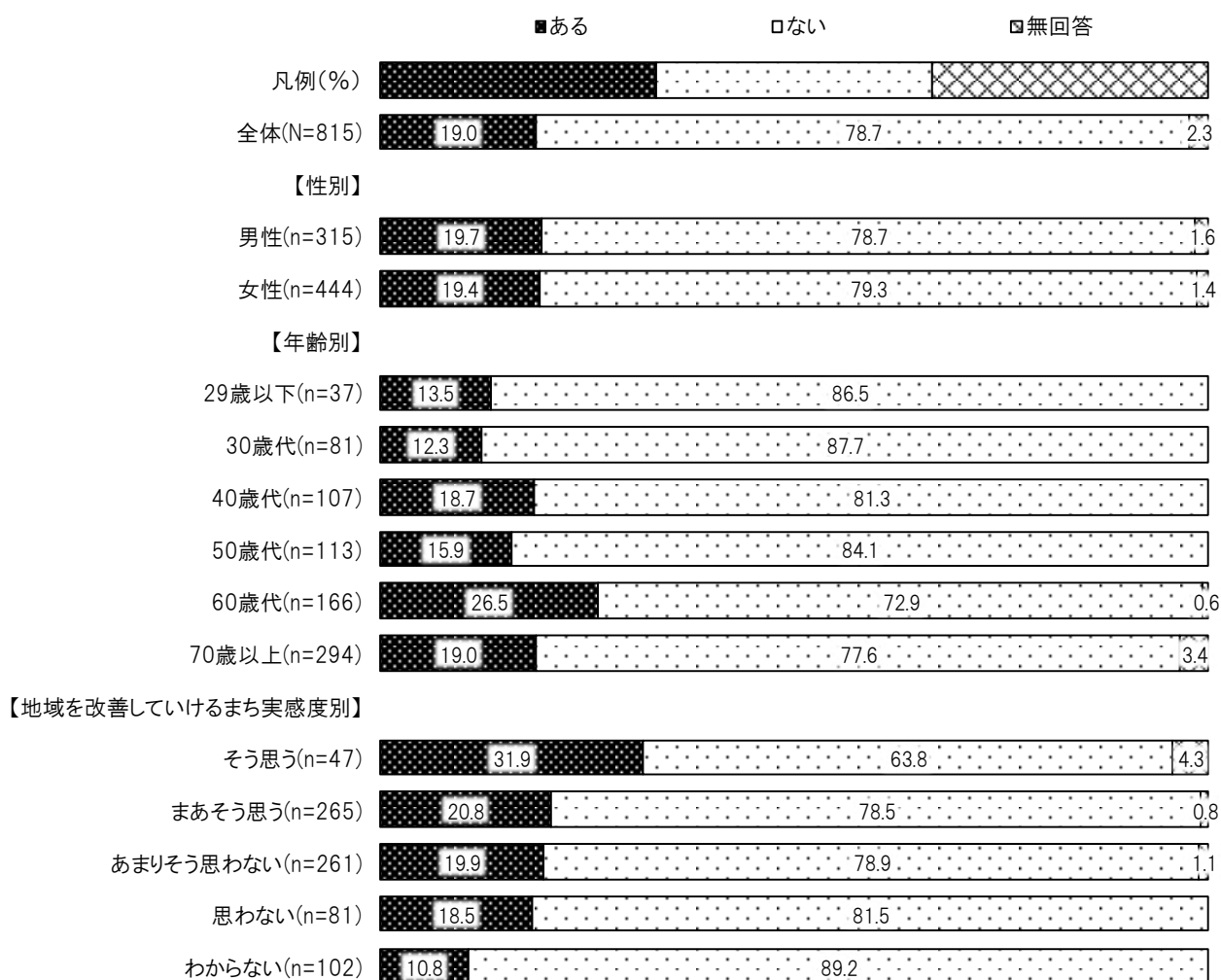
39. ボランティア・NPO活動参加経験

(39) あなたは、過去1年間にボランティア、NPO活動に参加したことがありますか

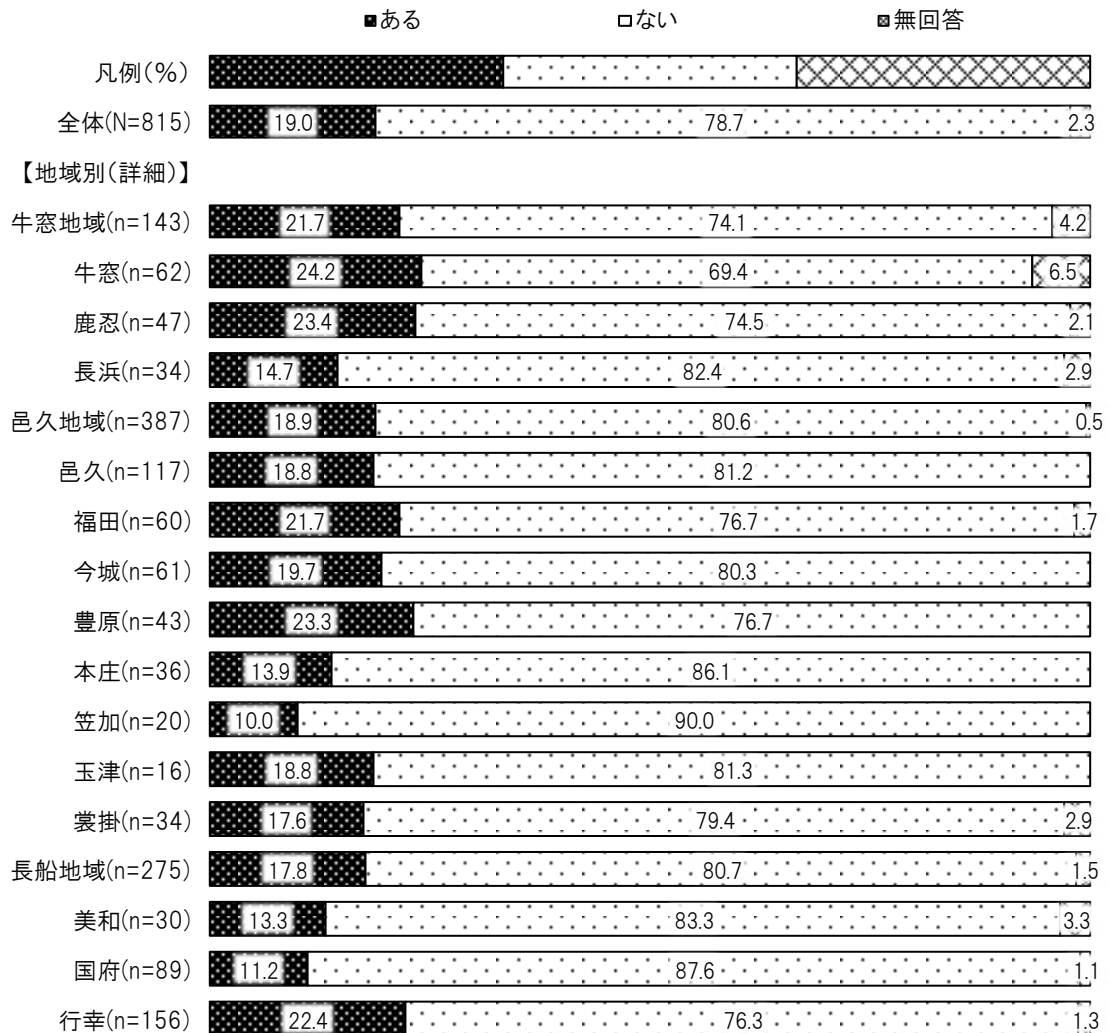
ボランティア・NPO活動参加経験については、「ある」が19.0%、「ない」が78.7%であった。

性別による大きな差はみられないが、年齢別では、60歳代で「ある」の割合が高くなっている。

地域を改善していけるまち実感度別では、そう思うと回答した層で「ある」の割合が高くなっている。

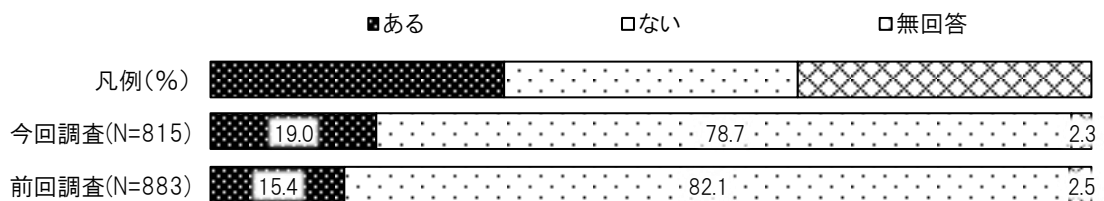


地域別でみると、「ある」は牛窓、鹿忍、豊原などで高く、「ない」は本庄、笠加、国府などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「ある」がやや増加した。



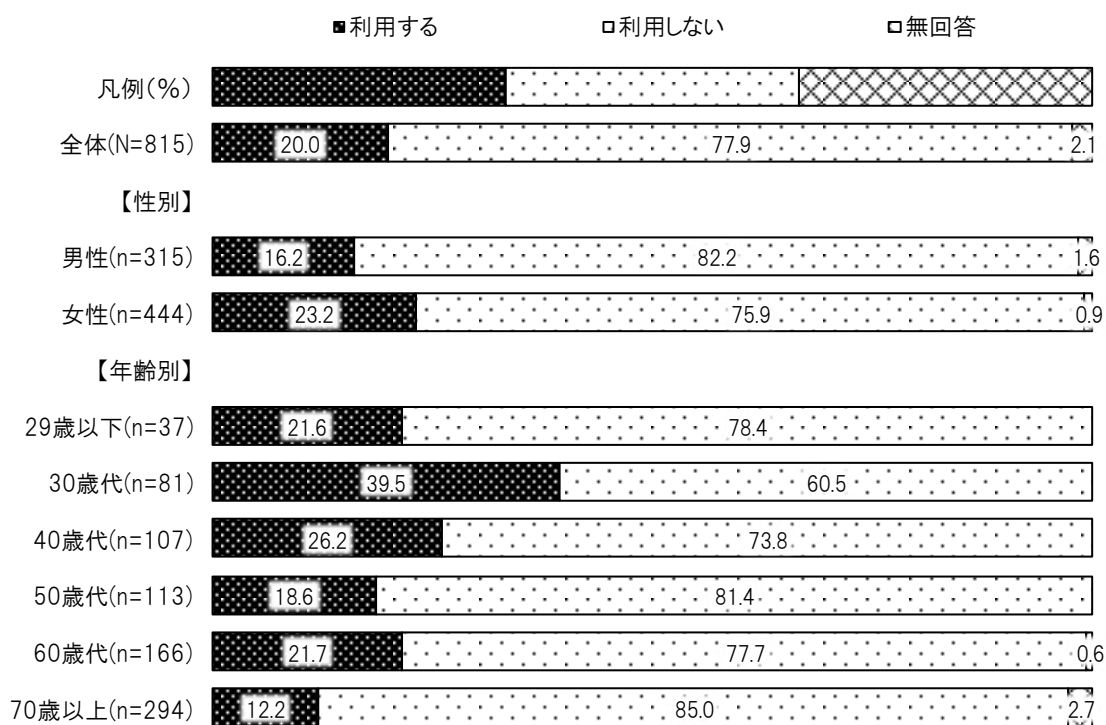
40. 市内図書館の利用状況

(40) あなたは、市内の図書館を月1回以上利用しますか

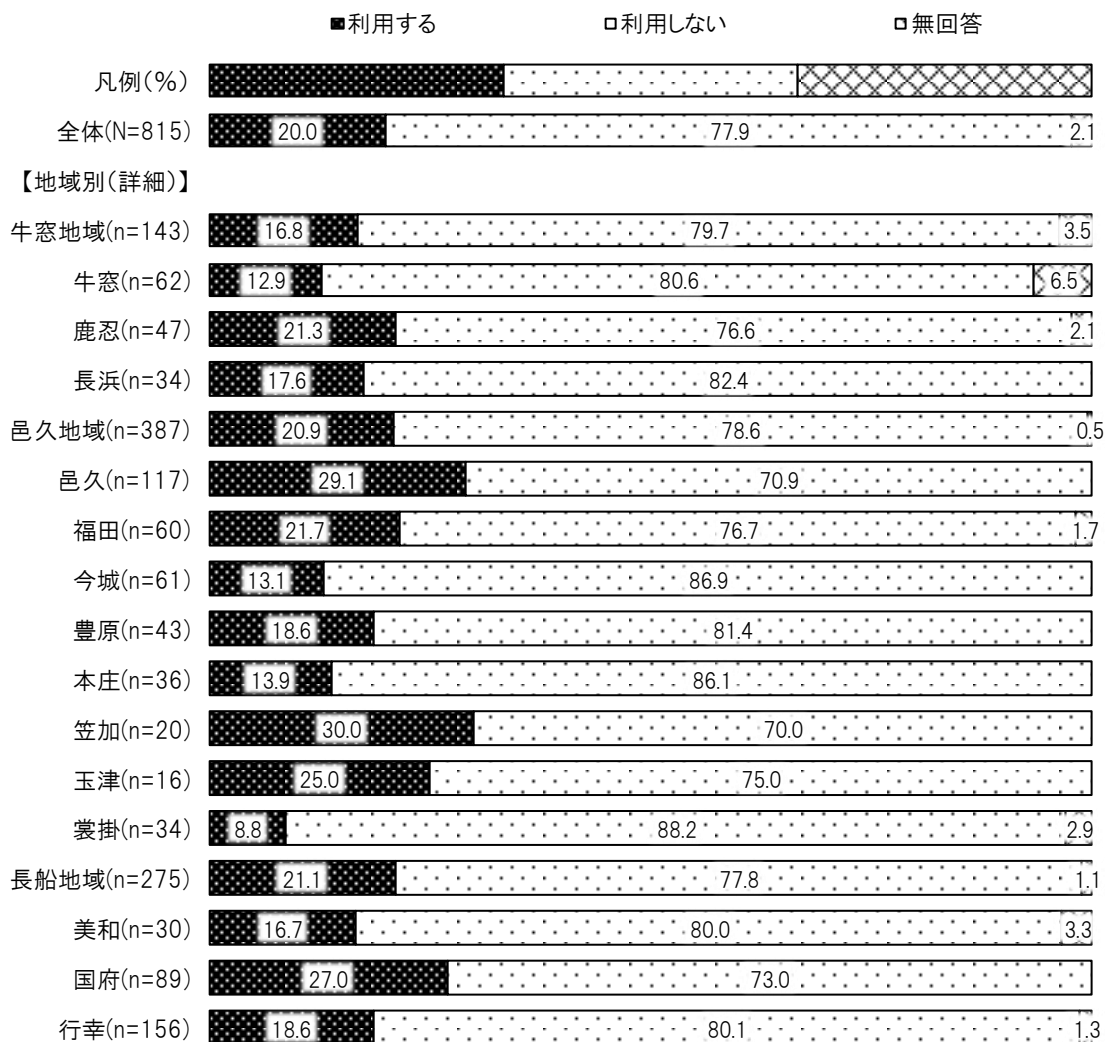
市内図書館の利用状況については、「利用する」が20.0%、「利用しない」が77.9%であった。

性別では、女性は男性に比べ「利用する」の割合が高くなっている。

年齢別では、30歳代で「利用する」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。



地域別でみると、「利用する」は邑久、笠加などで高く、「利用しない」は今城、本庄、裳掛などで高くなっている。



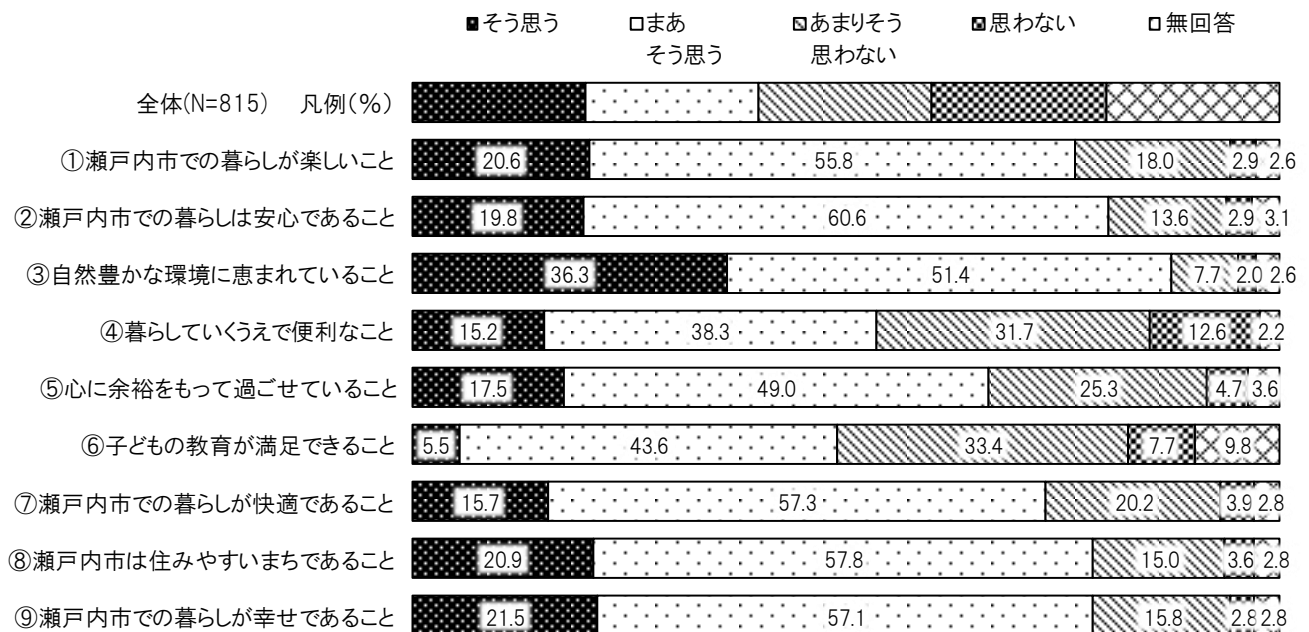
【3】瀬戸内市の暮らしについて

問3. あなたの瀬戸内市での暮らしについておたずねします。下記の(1)~(9)の質問ごとに、回答欄の4つの選択肢から、あてはまるもの1つを選んで、番号に○印をつけてください。

1. 瀬戸内市の暮らしに関する評価

本市の暮らしに関する9項目について4段階評価で回答を得たところ、「そう思う」の割合が最も高かったのは「③自然豊かな環境に恵まれていること」(36.3%)で、「まあそう思う」(51.4%)を合計した『賛成意識』は9割近く(87.7%)を占めている。

一方、「あまりそう思わない」「思わない」を合計した『反対意識』は、「④暮らしていくうえで便利なこと」(44.3%)、「⑥子どもの教育が満足できること」(41.1%)などで高くなっている。

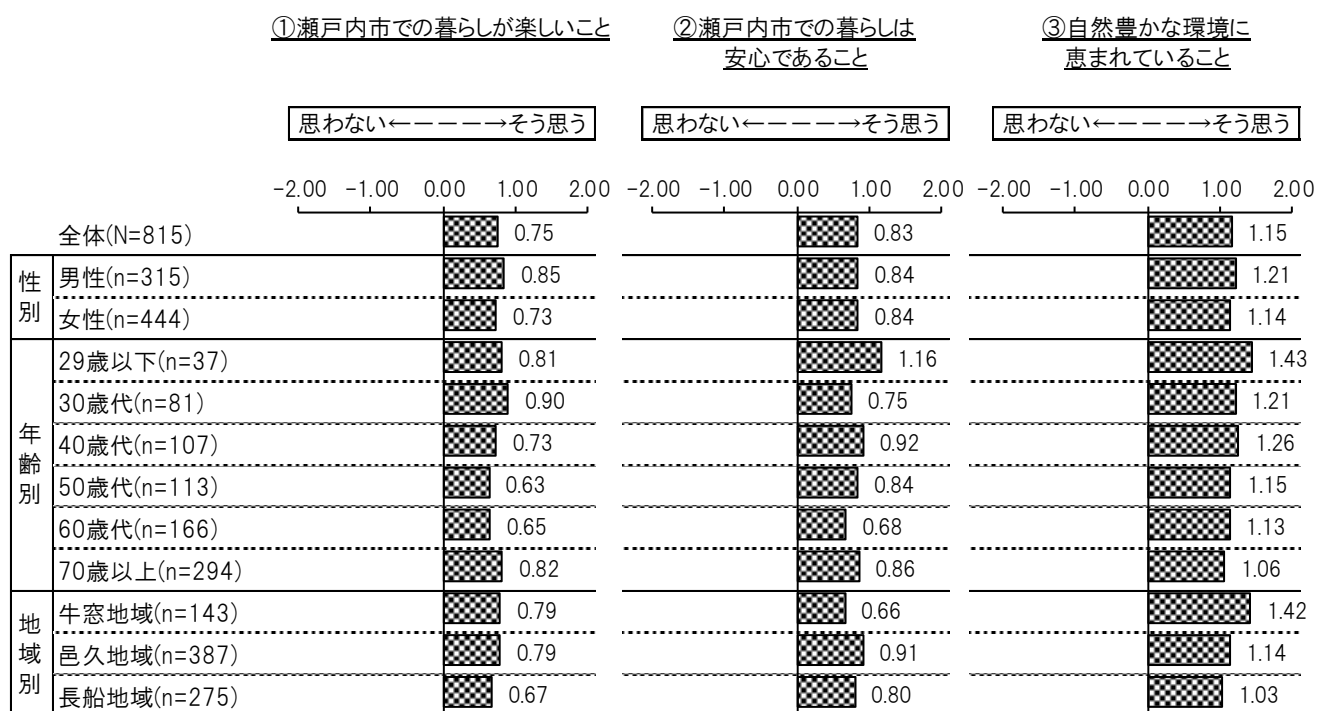


平均評定値による属性別傾向をみると、性別では「④暮らしていくうえで便利なこと」で男性の賛成意識が女性を大きく上回っている。

年齢別では、30歳代と50歳代で「④暮らしていくうえで便利なこと」、29歳以下の年齢層で「②瀬戸内市での暮らしは安心であること」「③自然豊かな環境に恵まれていること」「⑤心に余裕をもって過ごせていること」「⑥子どもの教育が満足できること」などの賛成意識が高くなっている。一方、60歳代で「⑥子どもの教育が満足できること」の反対意識が高くなっている。

地域別に賛成意識をみると、牛窓地域で「③自然豊かな環境に恵まれていること」、邑久地域で「④暮らしていくうえで便利なこと」「⑦瀬戸内市での暮らしが快適であること」「⑧瀬戸内市は住みやすいまちであること」などが高くなっている。一方、牛窓地域は「④暮らしていくうえで便利なこと」の反対意識が他の地域に比べて高くなっている。

○平均評定値（加重平均値）は、「思わない」に－2点、「あまりそう思わない」に－1点、「まあそう思う」に＋1点、「そう思う」に＋2点の係数を、それぞれの回答件数に乘じ、加重平均して算出した値で、－2に近いほど反対、＋2に近いほど賛成を示す指標である。



④暮らしていくうえで便利なこと

⑤心に余裕をもって
過ごせていること

⑥子どもの教育が満足できること

思わない←-----→そう思う

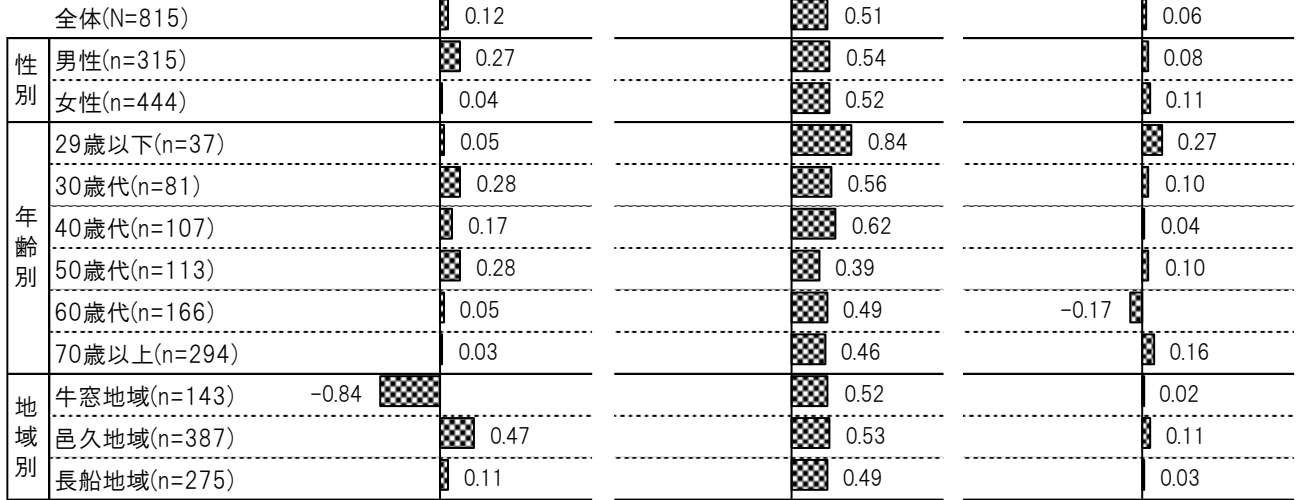
思わない←-----→そう思う

思わない←-----→そう思う

-2.00 -1.00 0.00 1.00 2.00

-2.00 -1.00 0.00 1.00 2.00

-2.00 -1.00 0.00 1.00 2.00



⑦瀬戸内市での暮らしが
快適であること

⑧瀬戸内市は住みやすい
まちであること

⑨瀬戸内市での暮らしが
幸せであること

思わない←-----→そう思う

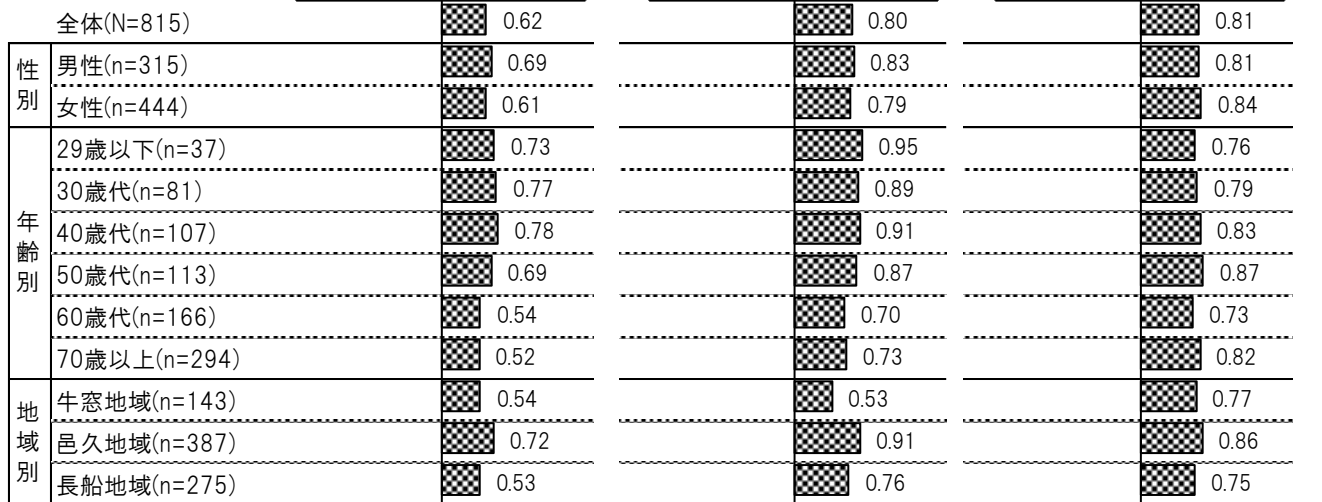
思わない←-----→そう思う

思わない←-----→そう思う

-2.00 -1.00 0.00 1.00 2.00

-2.00 -1.00 0.00 1.00 2.00

-2.00 -1.00 0.00 1.00 2.00



【4】自由意見

現在または将来に向けての市の行政やまちづくりにご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

自由意見の記述欄では、1人の回答者が、複数の意見を記入している場合は分割するなどして、総計450件近い意見がみられた。以下は、それらの内容を項目ごとに整理・分類したものである。

最も多かった意見は、「No. 21 自由に行き来できるまち」が53件で最も多く、次いで「No. 39 市民ニーズに答える市役所があるまち」(43件)、「No. 37 にぎわいと活気のある観光のまち」(31件)、「No. 10 安心して笑顔で子育てできるまち」(30件)、「No. 19 便利で快適な道路が通ったまち」(29件)、「No. 34 商業の経営の安定化に取り組むまち」(25件)などの順となっており、公共交通機関の整備を筆頭に、市民ニーズへの対応や観光などが上位に上がっている。

一方、「No. 6 国際社会にはばたく人を育むまち」「No. 20 河川・海岸・港湾が整備された安心なまち」に関する回答はみられなかった。

【自由意見集約結果】

施策大綱	分類NO	施策	今後の主な取組(略表記)	回答件数
未来に輝く文化の創造	1	みんなの思いやりがあふれるまち	人権教育・人権啓発	2
	2	子どもが楽しく学び成長が実感できるまち	学校教育	23
	3	子どもの成長をみんなで見守るまち	家庭教育	3
	4	互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	生涯教育	3
	5	スポーツを通じ健やかに暮らせるまち	スポーツ活動の場と機会	1
	6	国際社会にはばたく人を育むまち	国際理解のための学習機会	0
	7	歴史や文化を大切にすまち	文化財の保護と保存	2
健やかでいきいきの実現	8	健やかに暮らせるまち	健康づくり活動への理解と意識啓発	6
	9	質の高い医療が受けられるまち	医療体制の充実	19
	10	安心して笑顔で子育てできるまち	子育て家庭への情報提供・相談体制	30
	11	働きながらでも安心して子育てできるまち	保育サービス	3
	12	高齢者が元気なまち	高齢者の社会参加	4
	13	いくつになっても安心して暮らせるまち	ニーズに合った介護・福祉サービス	20
	14	障害者がいきいきと暮らせるまち	障がい者の自立支援	5
	15	生活に困難を覚える人が自立できるまち	生活困窮者の自立支援	4
	16	地域ぐるみで支えあうまち	地域福祉	11
安全・安心して快適な暮らしの実現	17	活力を生み調和のとれた土地利用を進めるまち	土地利用の促進	13
	18	住んでみたい・住み続けたいと思える住宅があるまち	定住促進	6
	19	便利で快適な道路を通ったまち	道路整備	29
	20	河川・海岸・港湾が整備された安心なまち	河川の改修	0
	21	自由に行き来できるまち	公共交通機関の利用促進	53
	22	便利な情報ネットワークがあるまち	行政手続きにおけるオンライン化の促進	4
	23	安全で良質な水が飲めるまち	上水道の整備	3
	24	きれいな水を未来へ渡すまち	下水道の整備	3
	25	環境に配慮したまち	ゴミの減量	7
	26	人と地球にやさしいまち	新エネルギーの導入	2
	27	光輝く自然・まちなみが残るまち	自然景観の保存	2
	28	防災意識の高いまち	防災・災害の防止	21
	29	交通事故がないまち	交通安全教育・啓発	5
	30	地域みんなで防犯に力を入れているまち	市民の防犯意識	12
	31	消費者を守り育てるまち	消費者教育の実施	1
魅力ある産業と観光の創出	32	農林業にやりがいを見出すまち	農業後継者の確保と集落営農組織の育成	4
	33	水産業に活力が生まれるまち	獲る漁業から育てる漁業への転換	1
	34	商業の経営の安定化に取り組むまち	買物環境の創出	25
	35	工業が進出しやすく経営が安定するまち	企業間の相互連携	6
	36	雇用・労働環境が整ったまち	雇用機会の創出	6
	37	にぎわいと活気のある観光のまち	にぎわいと活気のある観光	31
(※) 市民と協働	38	透明で聞かれた市役所があるまち	市民公聴会の実施	6
	39	市民ニーズに答える市役所があるまち	財政のスリム化	43
	40	みんなが知恵を出しあい助けあうまち	NPO等市民活動の支援	6
	41	その他	その他	18
			合計	443

※市民と市役所が協働で進める自主自立した都市の実現

重要な調査です★ご協力をお願いします

《市民まちづくり意識調査》

市民の皆様には、日頃から市政に対し格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

市民まちづくり意識調査は、原則として2年に一度実施しており、市民の皆様のご意見を市政全般にわたってお聞きする大変重要な調査です。

今回の調査は、瀬戸内市がめざす将来（2040年）の姿を、現在市民の皆様がどの程度実感し、あわせて、どんなまちの姿を重要視しているかについて把握するとともに、平成23年度を初年度とする第2次瀬戸内市総合計画の数値目標に対する現状値を把握するために実施するものです。

調査の実施にあたり、18歳以上の市内居住者から、2,000人を無作為に抽出したところ、あなたにお答えをお願いすることになりました。このアンケートは統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の目的、趣旨をご理解のうえ、率直なご意見をお聞かせください。なお、調査結果につきましては、市のホームページを通じてお知らせいたします。

平成30年5月

瀬戸内市長 武久 顕也

ご記入にあたってのお願い

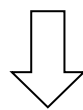
1. あて名のご本人がお答えください。
2. 回答方法は、（1つに○印）や（5つまで○印）などに指定されています。
お間違えのないようお答えください。
○印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 ①）
3. ご記入いただいた調査票は 5月25日（金）までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。（切手は不要です。）
4. ご記入は、ボールペン、鉛筆、シャープペンシルまたは万年筆でお願いします。
5. この調査票についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

瀬戸内市 総合政策部 企画振興課

電話 0869-22-1113 FAX 0869-22-3304



返送の際は、この線にそって三つ折りにして封筒にお入れください。



瀬戸内市が目指している姿に対する現在の実感度と重要度について

- 問1 瀬戸内市がめざしている将来（2040年）の姿に対する現在の「実感度」について、1～25の項目ごとに、あなたの考えに一番近いものそれぞれ1つに○印をつけてください。
また、瀬戸内市がめざしている将来（2040年）の姿のうち、あなたが重要だと思うものを、1～25の項目の中から5つまで選んで、「重要度」の欄に○印をつけてください。

		現在の「実感度」 (1つに○印)					「重要度」 (5つまで○印)
		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない	
2	記載例：子どもたちが夢を持ち続けられるまち	4	3	2	1	0	○
1	安心して子どもを産み、育てることができるまち	4	3	2	1	0	
2	子どもたちが夢を持ち続けられるまち	4	3	2	1	0	
3	市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち	4	3	2	1	0	
4	子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち	4	3	2	1	0	
5	高齢者が元気に暮らせるまち	4	3	2	1	0	
6	人権が尊重され、だれもがいきいきと明るく暮らせるまち	4	3	2	1	0	
7	互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	4	3	2	1	0	
8	外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち	4	3	2	1	0	
9	市民が健康でいきいきと暮らせるまち	4	3	2	1	0	
10	いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち	4	3	2	1	0	

		現在の「実感度」 (1つに○印)					「重要度」 (5つまで○印)
		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない	
11	障がい者が明日へ希望が持てるまち	4	3	2	1	0	
12	生活に困窮する人が自立できるまち	4	3	2	1	0	
13	市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとって、愛着が持てるまち	4	3	2	1	0	
14	地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち	4	3	2	1	0	
15	地域みんなで防犯に力を入れているまち	4	3	2	1	0	
16	防犯体制が整っており、災害に強いまち	4	3	2	1	0	
17	かしこい消費者が多いまち	4	3	2	1	0	
18	子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち	4	3	2	1	0	
19	農林水産業で生活できるまち	4	3	2	1	0	
20	商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち	4	3	2	1	0	
21	企業が進出しやすい条件が整っているまち	4	3	2	1	0	
22	にぎわいと活気のある観光のまち	4	3	2	1	0	
23	コミュニティ活動などにより、市民自らのちからで地域を改善していけるまち	4	3	2	1	0	
24	市民の納税に対する意識が高いまち	4	3	2	1	0	
25	すばらしい自然や景観、伝統、歴史、文化が引き継がれたまち	4	3	2	1	0	

あなた自身の行動や考えについておたずねします

問2 あなたの日頃の行動や考えについておたずねします。

下記の(1)～(40)の質問ごとに、回答欄の2つの選択肢（(19)については4つ）から、あてはまるもの1つを選んで、番号に○印をつけてください。

質 問	回	答
(1) あなたは、瀬戸内市に愛着がありますか	1 ある	2 ない
(2) あなたは、今後も瀬戸内市に住み続けたいと思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(3) あなたは、市役所が行うまちづくりの取り組みについて満足していますか	1 満足している	2 満足していない
(4) あなたは、ご自身の人権が守られていると思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(5) あなたは、慣習やしきたりで男女が平等になっていると思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(6) あなたは、人権問題について相談できる「なやみごと相談」の窓口を知っていますか	1 知っている	2 知らない
(7) あなたは、近所の子どもに会ったときに、あいさつや声かけをしていますか	1 している	2 していない
(8) あなたは、芸術文化活動をしていますか	1 している	2 していない
(9) あなたは、生涯学習講座などの活動に参加したことがありますか	1 ある	2 ない
(10) あなたは、学習やスポーツの指導など、地域に貢献する活動をしていますか	1 している	2 していない
(11) あなたは、週に2回以上、1回30分以上の運動を1年以上継続していますか	1 している	2 していない
(12) あなたにとって、市が発信する子育て情報は役立っていますか	1 役立っている	2 役立っていない
(13) あなたは、市内の公共施設や商業施設などで、「バリアフリー化」（障がい者や高齢者にとって不便な障がいを取り除く取り組み）が進んでいると思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(14) あなたは、身体に障がいがあったり、体調が優れないなど、日常生活に不自由を感じることはありませんか	1 ある	2 ない
(15) あなたは、経済的な理由で日常生活が困難だと感じていますか	1 感じている	2 感じていない
(16) あなたは、瀬戸内市の土地利用は、住宅や店舗、工場などが混在することなく、計画的に進められていると思いますか	1 そう思う	2 そう思わない

質 問	回	答
(17) あなたは、瀬戸内市の道路は快適だと思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(18) あなたは、バスや電車など、公共交通機関が利用しやすいと思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(19) あなたは、日常生活の中でインターネットを活用していますか	1 パソコンで活用 2 携帯電話で活用 3 両方とも活用	4 活用していない
(20) あなたは、家庭から出るごみのリサイクルを実践していますか	1 実践している	2 実践していない
(21) あなたは、日常生活で省エネを実践していますか	1 実践している	2 実践していない
(22) あなたは、瀬戸内市の景観に満足していますか	1 満足している	2 満足していない
(23) あなたは、瀬戸内市の川や海がきれいだと思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(24) あなたは、災害が起きたときのために、非常持出品を準備していますか	1 準備している	2 準備していない
(25) あなたは、災害が起きたときの、最寄りの避難場所を知っていますか	1 知っている	2 知らない
(26) あなたは、自身や親の老後について安心できますか	1 安心できる	2 安心できない
(27) あなたは、悪質商法などへの対応について相談できる市役所や県、警察などの「消費生活」に関する相談窓口を知っていますか	1 知っている	2 知らない
(28) あなたは、農産物を買うときに、地元産かどうか意識していますか	1 意識している	2 意識していない
(29) あなたは、水産物を買うときに、地元産かどうか意識していますか	1 意識している	2 意識していない
(30) あなたは、瀬戸内市は日常生活品の買い物がしやすいまちだと思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(31) あなたは、「広報せとうち」を読んでいますか	1 読んでいる	2 読んでいない
(32) あなたにとって、「広報せとうち」の情報は役立っていますか	1 役立っている	2 役立っていない
(33) あなたは、瀬戸内市のホームページを見たことがありますか	1 ある	2 ない
(34) あなたにとって、瀬戸内市ホームページの情報は役立っていますか	1 役立っている	2 役立っていない
(35) あなたは、広報紙やホームページで必要な市の情報を手に入れることができますか	1 できる	2 できない
(36) あなたは、市政に関心がありますか	1 ある	2 ない

質 問	回 答	
(37) 広報紙やホームページを通じて市の財政状況を公表していますが、あなたは、市の財政が改善されていると思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(38) あなたは、自治会などでの地域コミュニティ活動に参加していますか	1 参加している	2 参加していない
(39) あなたは、過去 1 年間にボランティア、NPO 活動に参加したことがありますか	1 ある	2 ない
(40) あなたは、市内の図書館を月 1 回以上利用しますか	1 利用する	2 利用しない

瀬戸内市の暮らしについておたずねします

問3 あなたの瀬戸内市での暮らしについておたずねします。

下記の(1)～(9)の質問ごとに、回答欄の4つの選択肢から、あてはまるもの1つを選んで、番号に○印をつけてください。

質 問	回 答			
	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	思わない
(1) あなたにとって、瀬戸内市での暮らしは楽しいですか。	4	3	2	1
(2) あなたの瀬戸内市での暮らしは、安心できるものですか。	4	3	2	1
(3) あなたの瀬戸内市での暮らしは、自然豊かな環境に恵まれていると思いますか。	4	3	2	1
(4) あなたにとって、瀬戸内市は暮らしていくうえで便利ですか。	4	3	2	1
(5) あなたは、瀬戸内市に暮らしていて、心に余裕をもって過ごせていますか。	4	3	2	1
(6) あなたにとって、瀬戸内市の子どもの教育は満足できるものですか。	4	3	2	1
(7) あなたの瀬戸内市での暮らしは、快適ですか。	4	3	2	1
(8) あなたにとって、瀬戸内市は住みやすいまちですか。	4	3	2	1
(9) あなたにとって、瀬戸内市での暮らしは幸せですか。	4	3	2	1

最後に、あなたご自身のことについておたずねします

問4 あなた自身のことについて、それぞれの項目ごとに、あてはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。

(1) 性別	1 男 2 女
(2) 年齢	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> 歳 (本調査時のあなたの満年齢を記入してください。)
(3) 居住地	1 牛窓 2 鹿忍 (鹿忍・千手) 3 長浜 4 邑久 (尾張・山手・山田庄・豊安) 5 福田 (豆田・福元・百田・宗三・福中) 6 今城 (大富・福山・向山・北島) 7 豊原 (東谷・豊原・大窪) 8 本庄 (本庄・上山田・下山田) 9 笠加 (上笠加・下笠加・箕輪・北池) 10 玉津 (尻海・庄田) 11 裳掛 (福谷・虫明) 12 美和 (西須恵・東須恵・飯井) 13 国府 (牛文・磯上・福里・土師) 14 行幸 (福岡・服部・八日市・長船)
(4) 居住年数	1 1年未満 2 1年以上5年未満 3 5年以上10年未満 4 10年以上20年未満 5 20年以上
(5) 職業等 ※主なもの	1 農林水産業 2 自営業、会社経営 3 勤め人 (会社員、公務員等) 4 パート、アルバイト 5 家事従事 6 学生 7 無職 8 その他 ()
(6) 現住所への 居住のきっかけ	1 生まれたときから 2 就職・就学・転勤・転職のため 3 結婚のため 4 親や子どもと同居・近居するため 5 住宅を住み替えたため 6 その他 ()
(7) 家族構成	1 ひとり暮らし 2 夫婦のみ 3 2世代 (親・子) 4 3世代 (親・子・孫) 5 その他 ()
※あてはまる方は、付問にもお答えください。	付問1 <u>すべての方におたずねします。</u> ご家族の中に (自身を含む) 65歳以上の方はいらっしゃいますか。 1 いる 2 いない
	付問2 <u>問(7)で「3 2世代 (親・子)」または「4 3世代 (親・子・孫)」を選んだ方のみお答えください。</u> ご家族の中に20歳以下の子どもはいらっしゃいますか。 1 いる 2 いない
	付問3 <u>付問2で「1 いる」を選んだ方のみお答えください。お子さんは次のどの年代にあてはまりますか。(あてはまるものすべてに○印)</u> 1 未就学児 (6歳未満) 2 小学生・中学生 3 高校生・大学生・専門学校生・予備校生 4 その他 ()
(8) 主な移動手段 ※旅行など特別な場合を除く	1 本人運転の自動車 2 家族運転の自動車 3 タクシー 4 バス 5 電車 6 自転車 7 徒歩 8 その他 ()

自由意見

現在または将来に向けての市の行政やまちづくりにご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

<自由意見欄>

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、5月25日（金）までに同封の返信用封筒にてご返送願います。
(切手は不要です。)